

**鎌倉市スポーツ振興基本計画
(素案)**

令和8年（2026年） 月（改定）

鎌 倉 市

平和都市宣言

われわれは、日本国憲法を貫く平和精神に基いて、核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、全世界の人々と相協力してその実現を期する。

多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、ここに永久に平和都市であることを宣言する。

昭和33年8月10日 鎌倉市

鎌倉市民憲章

制定 昭和48年11月3日

前 文

鎌倉は、海と山の美しい自然環境とゆたかな歴史的遺産をもつ古都であり、
わたくしたち市民のふるさとです。すでに平和都市であることを宣言した
わたくしたちは、平和を信条とし、世界の国々との友好に努めるとともに、
わたくしたちの 鎌倉がその風格を保ち、さらに高度の文化都市として発展する
ことを願い、ここに市民憲章を定めます。

本 文

- 1 わたくしたちは、お互いの友愛と連帯意識を深め、すすんで市政に参加し、
住民自治を確立します。
- 1 わたくしたちは、健康でゆたかな市民生活をより向上させるため、教育・
文化・福祉の充実に努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉の歴史的遺産と自然及び生活環境を破壊から守り、
責任をもってこれを後世に伝えます。
- 1 わたくしたちは、各地域それぞれの特性を生かし、調和と活力のあるまち
づくりに努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉が世界の鎌倉であることを誇りとし、訪れる人々に
良識と善意をもって接します

鎌倉市共生社会の実現を目指す条例（平成 31 年（2019 年）4 月 1 日施行）

前文

「すべて国民は、個人として尊重される。」からはじまる日本国憲法第 13 条は、個人の尊厳及び幸福追求権について規定しています。私たちの年齢、性別、性的指向や性自認、障害及び病気の有無、家族のかたち、職業、経済状況、国籍、文化的背景などは、それぞれ異なります。多様な人々が尊重され、どのような立場になろうとも、自分らしくいられる社会が、私たちの目指す共生社会です。

近くにいる人の生きにくさに思いをめぐらせてみましょう。

自分らしく生活したくとも、多くの人にとっての「ふつう」や「当たり前」を前提とした社会に、生きにくさや居心地の悪さを感じる人がいます。「ふつう」や「当たり前」の意味は人によって違うからです。互いの違いを思いやり、配慮することで、人はみな、共に生きられます。目に見える事物はもとより、目に見えない、あるいは言葉にできない生きにくさに気づくことが、共生社会への一歩となります。

私たちは、多様性を認め、互いを思い、自分らしく安心して暮らせる社会を、鎌倉市において実現するために、この条例を制定します。

目 次

第 1 章	計画の策定にあたって	
1	策定趣旨と背景	
	(1) 鎌倉市スポーツ振興基本計画とは	
	(2) これまでの計画について	
	(3) 本計画の計画期間	
2	国・神奈川県 of 動向	
	(1) 国の動向	
	(2) 神奈川県の動向	
3	鎌倉市のスポーツの現状	
	(1) スポーツ施設	
	(2) スポーツ推進の担い手	
	(3) これまでの取組	
	(4) スポーツに関する市民意識（令和 5 年 11 月実施）	
4	本計画におけるスポーツの捉え方と新たな視点	
	(1) 本計画におけるスポーツの捉え方	
	(2) 本市が取り入れる新たな視点	
第 2 章	基本理念と基本方針	
1	基本理念	
2	基本方針	
3	達成するための指標	
4	基本方針に基づく主な取組	
第 3 章	計画の実現に向けて	
1	計画の体系	
2	計画の推進体制	
3	計画の評価と進捗管理	

（参考資料）令和 5 年 11 月実施アンケート調査結果

鎌倉市スポーツ振興基本計画

【第1章 計画の策定にあたって】

1 策定趣旨と背景

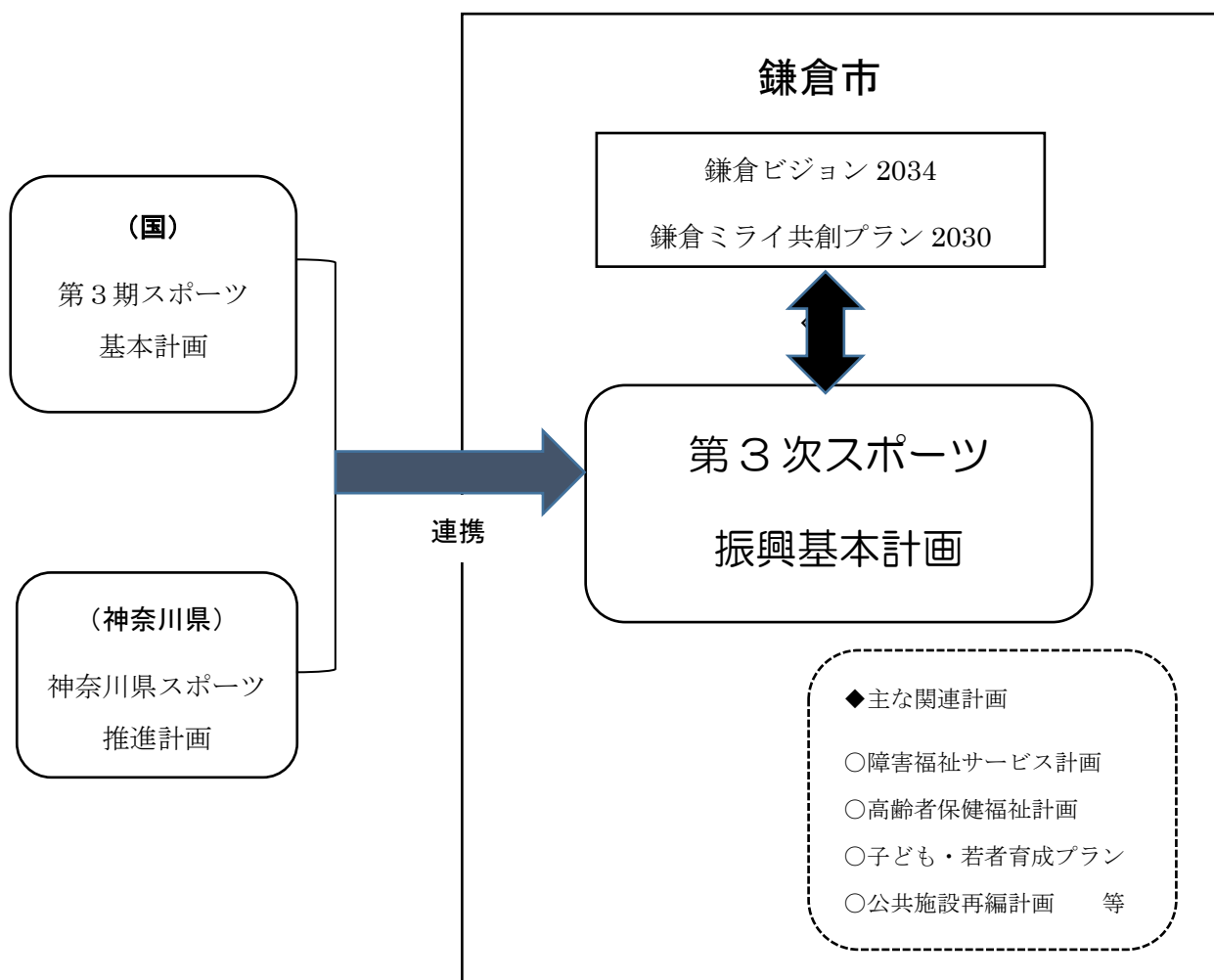
(1) 鎌倉市スポーツ振興基本計画とは

鎌倉市スポーツ振興基本計画は、本市のスポーツの将来像及び、スポーツ関連施策の指針となるものです。

本計画は、スポーツ基本法第10条第1項に規定する「地方スポーツ推進計画」であり、本市におけるスポーツ推進の基本的な方向性を定める計画ですが、今回、スポーツ基本法の改正(令和7年9月施行)、今後改定予定の第4期「スポーツ基本計画」(令和9年(2027年)4月)及び神奈川県スポーツ推進計画(令和8年(2026年)4月)の改定に向けた審議を踏まえて見直しを行うものです。

なお、鎌倉ミライ共創プラン2030(以下、「共創プラン」という。)では、鎌倉ビジョン2034(以下、「基本構想」という。)の実現に向け、市として取り組むべき施策の一つとして「ひとの共創」を掲げており、市民の誰もがスポーツやレクリエーションに親しみ、楽しみながら健康的な生活を送ることができるまちを「目標とするまちの姿」としています。本計画は、この目標の実現に向け、関連する他の個別計画と連携し、上位計画である基本構想・共創プランを補完していくための個別計画という位置づけになります。

計画の位置づけ



(2)これまでの計画について

鎌倉市スポーツ振興基本計画は、スポーツ振興法に基づき平成12年度(2000年度)に国が策定したスポーツ振興基本計画を参酌して、平成17年(2005年)に策定された計画(以下、「第1次基本計画」という。)です。

その後、国において平成23年(2011年)6月に「スポーツ基本法」が制定(公布)されたことに伴い、本市は平成26年(2014年)3月に鎌倉市スポーツ振興基本計画改

定版(以下、「第2次基本計画」という。)を策定し、めざすべき市の姿である、「Enjoy “鎌倉”スポーツライフ」の実現に向け様々な取り組みを進めてきました。

第2次基本計画の計画期間は令和7年度(2025年度)までであり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や新型コロナウイルス感染症の影響、スポーツの社会的役割の増大やそれに伴う市民ニーズの変化など、スポーツを取り巻く環境が大きく変化していることから、これまでのスポーツ施策を継承しつつ、スポーツによるまちづくりの視点を踏まえた見直しを行い、新たに第3次基本計画(以下、「本計画」という。)として策定します。

(3)本計画の計画期間

本計画の計画期間は、令和8年度(2026年度)から令和17年度(2035年度)までの10年間とします。なお、新たな課題や今後の社会情勢等の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

2 策定趣旨と背景

(1)国の動向

ア スポーツ基本法改正

平成23年(2011年)にそれまでの「スポーツ振興法」に代わって新たに制定されたのが「スポーツ基本法」です。少子高齢化や健康寿命の延伸、国際競技力強化など、スポーツを取り巻く環境が大きく変わる中、時代に即した政策推進のための基本法として誕生しました。

誕生から14年が経過し、気候変動の深刻化、スポーツ現場でのハラスメント、地域の人口減少、多様性や共生社会への価値観の浸透などの大きな社会変化の背景を受けてスポーツの価値や機能の再定義する必要があるとして令和7年に改正が行われました。改正の主な点は次のとおりです。

スポーツに親しむことのできる機会を確保し、多様な国民一人一人の生きがい・区
福を実現する

視点1：「スポーツの価値」の再定義

スポーツの果たす役割について、これまでのいわゆる「する」
「見る」「支える」に「集まる」「つながる」を加える。

視点2：社会課題解決への貢献

健康長寿社会や共生社会の実現、地域や経済の活性化等、スポーツ
を通じて社会課題の解決を図る。

視点3：「アスリートの権利保護・ドーピング防止活動の推進」

アスリートに対する「暴力」を国・地方公共団体、スポーツ団体で
防止する。またドーピングの防止活動を推進するための連携体制を
一層強化する。

イ スポーツ基本計画

文部科学省では、令和4年(2022年)3月、スポーツ基本法に基づく「第3期
スポーツ基本計画(令和4年(2022年)から令和8年度(2026年度))」を策定
し、この中で、スポーツの活動を高め、国民がスポーツを「する」「みる」「ささえ
る」ことを真に実現できる社会を目指すためには、新たに次の「3つの視点」が
必要としています。

視点1：「つくる／はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す。

視点2：「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。

視点3：「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違い等によって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成。

また、スポーツによる社会活性化・社会課題の解決を図るための施策として、「スポーツによる地方創生、まちづくり」、「スポーツを通じた共生社会の実現」といった施策が盛り込まれています。

(2) 神奈川県の動向

神奈川県では、東京 2020 大会等の開催による県民意識の高まりや、新型コロナウイルス感染症等の影響を踏まえ、令和 5 年(2023 年)国の第 3 期スポーツ基本計画を参酌し、令和 5 年(2023 年)「神奈川県スポーツ推進計画」の見直しが行われています。

また、県の計画の目標年度も令和7年度(2025 年度)までであることから、神奈川県では改定に向けた審議を進めており、改定にあたってのポイントとしては、スポーツを通じて、誰もが生き生きと喜びを実感できる共生社会の実現」を基本目標の1つとして追加されることとなっています。

3 鎌倉市のスポーツの現状

(1) スポーツ施設

① 公共スポーツ施設

施設名	主な施設
鎌倉体育館	卓球室、トレーニング室、格技室、競技場
鎌倉武道館	剣道場、弓道場、柔道場、多目的室
大船体育館	競技場、格技室
見田記念体育館	体育室、多目的室
笛田公園庭球場	テニスコート 4 面
笛田公園野球場	野球場 1 面
鎌倉海浜公園水泳プール	25m プール、幼児用プール ※50m プール及び児童用プールは閉場
西御門テニスコート	テニスコート 6 面
こもれび山崎温水プール	25m プール、サブプール、幼児プール、ジャクジー、トレーニングルーム
山崎浄化センタースポーツ等広場	広場 1 面

② 学校施設

ア 校庭・グラウンド

上記スポーツ施設のほか、市民のスポーツ活動の場として、市内の小・中学校の校庭や体育館を、学校の休校日及び夜間のうち、学校が使用していないときに開放しています。

小学校:16 校 中学校:9 校

※校庭の夜間利用は、深沢中学校、関谷小学校で実施。

イ 学校プール

夏季休業期間中、小中学校の水泳プールを一般開放しています。

(2) スポーツ推進の担い手

① 鎌倉市スポーツ協会・鎌倉市レクリエーション協会

鎌倉市スポーツ協会は、「市民スポーツの普及・振興に寄与し、もって市民の体力を向上させ、健全なスポーツ精神を養成すること」を目的に設立され、市民大会や各種競技会の開催、スポーツ指導者の育成など、本市のスポーツ振興施策を推進するけん引役を担っています。

昭和 28 年(1953 年)に前身の「鎌倉市体育協会」が設立され、令和 5 年(2023 年)に「鎌倉市スポーツ協会」に改名されています。令和 7 年 9 月現在、同協会には、30 のスポーツ競技団体が加盟しています。

鎌倉市レクリエーション協会(昭和 40 年(1965 年)設立)には令和 7 年 9 月現在、9 種目の種目別協会が加盟しており、各種目別団体による大会・普及講習会等の開催、レクリエーション指導者の養成などを通して、本市のスポーツ・レクリエーションの裾野を広げる役割を果たしています。

② スポーツ推進委員

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法第 32 条の規定により、鎌倉市長から委嘱を受けた非常勤特別職の地方公務員で、委員の定数は 64 人となっています。地域でのスポーツ・レクリエーション活動の推進者として、本市のスポーツ振興の重要な役割を担っています。

委員相互の連絡を密にして意見を交換し、研修に努めて職務の遂行を図ることを目的に、スポーツ推進委員をもって組織される鎌倉市スポーツ推進委員連絡協議会が設置されています。

③ 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブは、誰もが身近な地域でスポーツを気軽に楽しむことができるようにと生まれたスポーツクラブで、幅広い年代(多世代)、様々な種目(多種目)、様々な志向・レベル(多志向)に対応し、地域住民によって自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

市内では、令和7年9月現在、NPO法人湘南ルベントスポーツクラブ、鎌倉インターナショナルスポーツクラブ及び特定非営利法人鎌倉スポーツアカデミーの3団体が、総合型地域スポーツクラブとして活動しています。

④ その他スポーツ関連団体、スポーツリーダー等

鎌倉市地区スポーツ振興協議会や鎌倉市生涯スポーツ普及実行委員会といった市民のスポーツ活動を普及啓発する団体や、市民のスポーツ活動をサポートするスポーツリーダーなどが、各種スポーツ行事の開催や様々な普及啓発活動、地域スポーツの活動支援等、幅広い活動を展開しています。

4 これまでの取組

第2次基本計画では、市民のスポーツ実施率の向上を実現するため、様々な取組をおこなってきました。それらの取組及び評価について、第2次基本計画の目標である「スポーツ活動の振興」及び「スポーツ基盤づくり」の合計64の主な取組を「◎ 目標を達成した」、「○ 目標は達成していないが改善傾向にある」、「△ 維持」、「× 未実施」の4段階で評価しました。

表示	評価基準	数	比率
◎	目標を達成した	14	21.9%
○	目標は達成していないが改善傾向にある	22	34.3%
△	維持	18	28.1%
×	未実施	10	15.7%

その結果「◎目標を達成した」、「○目標は達成していないが改善傾向にある」が合わせて 56.2%となっており、一定の成果はあったものと評価しています。

一方で「維持」、「未実施」が約 45%弱となっており、改善の余地もあったものと認識しています。各取組の評価は次のとおりです。

スポーツ活動の振興			
あらゆる市民のスポーツ	主な取組	評価	コメント
■市民スポーツへの参加促進	地域やスポーツ施設などで、スポーツ教室や家族がともに参加できるスポーツ・イベントの充実を図ります。また、スポーツ施設の開館時間の延長を図り、働く人たちが時間がない人達がスポーツに取り組みやすい環境を整えます。	○	指定管理者主催によるスポーツ教室を開催しました。 鎌倉体育館の開館延長を実施しました。
■個々の目的に応じたスポーツプログラムの提供	関係課や指定管理者と連携を図り、運動の目的や趣味に合った教室の開催をするともにスポーツに時間をかけられない人やスポーツが苦手な人に、日常生活の中でできるスポーツプログラムを提供します。	◎	指定管理者などと連携しながらシニア向け、また初心者向けのための講座など(ヨガ教室、ダンス、健康体操、ストレッチ)を開催しました。
■総合型地域スポーツクラブの育成と支援	既存クラブをスポーツ情報誌などでPRするなどし、総合型地域スポーツクラブの活性化を図るとともに、新たに創設しようとするクラブに助言や県の広域センターへ紹介します。	○	鎌倉インターナショナルスポーツクラブに対して総合型地域スポーツクラブ設立の支援を目的とした補助金を交付しました。既存クラブをスポーツ情報誌などでPRするには至っていませんが、新たに登録しようとするクラブに助言や県の広域センターへ紹介を実施しました。
■鎌倉の歴史や自然を生かしたスポーツの活性化	家族で参加できる歴史探訪ウォークや休日に行うマリンスポーツまた、武道体験教室などを開催し、あらゆる市民の参加の機会をつくります。	◎	歴史探訪ウォーク、海の魅力発信事業や指定管理者主催の武道体験会により実施しました。
■学校施設の開放による市民のスポーツ活動の促進	学校施設の新築や改築等に伴い、地域住民に限定しない幅広い市民が利用できるよう利用の拡大を図ります。	◎	学校開放の利用団体は増加傾向にあり、幅広い市民が利用しています。
■障害者のスポーツ参加の促進	障害児者福祉施設の職員や通所者(保護者)のスポーツに対するニーズ把握に努め、関係課や障害者ボランティア団体及びスポーツ関連団体と連携を図り、健康体操やレクリエーションのイベントを開催しスポーツのきっかけづくりをします。 また、用具の貸出等を行うなどスポーツに取り組みやすい環境をつくります。	○	ニーズ把握は行っていないものの、指定管理者等によるスポーツ教室を開催し、障害のある方へのスポーツの参加機会を提供しました。
■スポーツにおける安全対策	スポーツにおける事故・外傷・障害等に対する救急処置等の講習会、また心肺蘇生法や自動体外式除細動器(AED)の使用方法など救命講習会を開催し安全対策に努めます。	◎	鎌倉市消防局の職員の指導によるAEDの操作方法、心肺蘇生法の注意点等を学ぶ救急措置等の講習会などを実施しました。
■鎌倉の歴史やオープンスペースを活かしたスポーツの活性化	関係課と連携し地域住民の意見を反映した公園を住民の遊びや健康づくりの場として、あらゆる年齢層が身近な場所でスポーツに触れられるよう、環境づくりに努めます。	△	笛田公園を中心に、テニスなどを通じてスポーツに接する機会の場の環境づくりに努めましたが、笛田公園のみにとどまっています。
■「Enjoy“鎌倉”スポーツライフ」手帳の配布	「Enjoy“鎌倉”スポーツライフ」手帳を作成し、鎌倉の歴史や史跡、自然を紹介したマップを掲載するとともに、歴史探訪コースやウォーキングコースを紹介します。また、歩く距離や速度、年齢による運動量と消費カロリー、それに伴う1日の栄養所要量を明記し、運動日誌ページに体重、体脂肪、運動量、1日の食事内容などを記載することによりスポーツの継続化を図ります。	○	手帳の普及に至らなかったものの、他課でウォーキングコースの紹介やウォーキングアプリの普及をおこなっています。

スポーツ活動の振興			
子どものスポーツ	前計画の主な取組	評価	コメント
■子どものスポーツのきっかけづくり	子育て支援施策と連携した子どもへのスポーツ教室の開催として、子どもの発育・発達に応じた運動プログラムを提供します。また、小学生を中心に鎌倉の自然環境を活かして海や山で体と精神の基礎体力を育む子どもの体づくり教室などを開催することや地域の見守りボランティアの活用で安全・安心した活動と異世代交流を図ります。	△	こどもの日イベントにて親子体操教室を実施しました。
■障害のある子どものスポーツのきっかけづくり	関係課や障害児施設と連携を図り、遊びを通して基礎体力づくりをすすめます。	○	障害のある児童・生徒向けのパラサーフィン体験会、ブラインドサッカー体験会を実施しました。
■親子で参加しやすい環境づくり	体育館や武道館施設を親子で利用しやすいよう、指定管理者と協議し環境づくりに努めます。	△	指定管理者主催による親子参加型の体操教室を実施しました。
■ジュニアタイムの設定	体育館や武道館でジュニアの個人開放日を設け、遊びを通して運動のきっかけづくりをします。	×	実施していません。
■保護者や地域の大人向け講習会の開催	子どもがスポーツをするうえで保護者のライフスタイルが大きく影響することから保護者や子どもの育成に携わる大人を対象に子どもの運動・スポーツの取組みに関して、講習会を開催します。	×	実施していません。
■学校の体育・保健体育授業等への指導者派遣と紹介	学校の要請に応じて体育・保健体育授業や運動部活動へスポーツ関連団体の指導者や地域在住の指導者を紹介・派遣します。	△	部活動の地域移行に向けて、関係課やスポーツ関連団体とともに検討しています。
■学校の放課後にニュー・スポーツの体験会	ニュー・スポーツで体を動かし、仲間づくりと遊びながら基礎体力づくりを行います。	△	体験会を定期的に開催していないものの、カローリング体験会やスポーツレクリエーションフェアを通じて、ニュー・スポーツの機会の提供を行いました。
■運動部活動の支援	地域のスポーツ団体やスポーツ関連団体と交流会を設け、合同チームでのゲームや練習などの場を提供します。	×	実施していません。
■学校のスポーツ活動への支援	スポーツ施設の優先使用や運動用具の貸出をします。	◎	スポーツ施設の優先使用や運動用具の貸出を実施しました。

スポーツ活動の振興			
高齢者のスポーツ	前計画の主な取組	評価	コメント
■高齢者のスポーツ参加の促進	関係課と連携して、身近な場所で気軽に参加ができる趣味や体力に応じた教室の開催やフィットネスサロンを開催し、測定等を兼ねた健康講座と運動の紹介をします。	○	健康講座や体組成測定とその結果を基に栄養講座を実施しました。
■個々の目的に応じたスポーツプログラムの提供	指定管理者と連携して、スポーツを安全に、より効果的に行うために年齢やからだの状態、運動経験など個々にあったスポーツプログラムを提供します。	◎	個々にあったスポーツプログラムを提供しました。
■ボランティア活動を通じた、生きがいづくりの取組み	高齢者の社会経験を活かして、幼児・小学生・障害のある方たちのスポーツを支えるボランティア活動を通して、世代間交流を図るとともに、地域社会に積極的に参加し役割を得ることで高齢者の生きがいとなるようなスポーツ教室やイベントを開催します。	×	行っていません。
■スポーツを通じた体力・健康づくり、介護予防の促進	医療機関や市の関係課、福祉団体などと連携し、年齢や身体の状態に合わせて安心して運動に取り組めるような体制をつくります。	○	市の関係課や民間企業などと協力し、運動教室などを行ったものの、体制作りまでには至っていません。
■シニアタイムの設定	体育館や武道館でシニアタイムを設定し、一人参加でも気軽に取り組める場を提供します。	×	実施していません。

スポーツ活動の振興			
競技スポーツ	前計画の主な取組	評価	コメント
■競技スポーツの活性化のための啓発	・活動場所の確保、指導者の派遣などにより各種スポーツ関連団体への支援を充実します。	△	活動場所などについては場所に制限もあることから十分といえる支援ができませんでした。
	・スポーツ指導者、スポーツ団体及びジュニアアスリートの保護者を対象にトレーニング科学、スポーツ栄養学、スポーツ心理学など各分野の専門家による講習会を開催します。	×	実施していません。
■トップアスリートから指導を受ける機会の拡大	・教室の開催やスポーツイベント開催時にトップアスリートの指導を受ける機会を提供します。	◎	鎌倉インターナショナルスポーツクラブなどイベント開催時にはトップアスリートによる指導の機会を設けました。 社会人ソフトボールチームによるソフトボール教室を開催しました。
■ジュニアの競技力向上に向けた支援	・スポーツの分野で活躍する子どもに対して表彰を行い、子どもたちがより強い意欲をもってスポーツに取り組めるよう支援します。	◎	毎年、市内に居住または通学している中学生以下を対象に「鎌倉市ジュニアスポーツ栄誉表彰」を行いました。
■ジュニアの指導体制の確立	・ジュニア期にアスリートを目指す志のある子どもの育成を目的とした指導体制を確立します。	◎	指導をおこなったものの、指導体制を確立するには至りませんでした。
■地域が中心となるスポーツクラブでの活動の推進	・各種競技団体、学校、総合型地域スポーツクラブの取組みを支援することにより、競技力向上につながる手法を検討します。	○	グラウンドの貸出などにより、チーム力の向上を支援しました。 総合型地域スポーツクラブの自立支援補助金を交付しました。
■スポーツ関連団体による指導体制の確立	・ジュニア期からの一貫指導体制の確立など、スポーツ関連団体が効率的な指導が行える体制の構築を検討します。	△	鎌倉インターナショナルスポーツクラブなどの総合型地域スポーツクラブにおいては、ジュニア期から一貫した指導体制が構築されており、市は総合型地域スポーツクラブに対して自立支援補助金を交付しています。
■指導者の養成・支援体制の確立	・地域から次世代のアスリートを戦略的に発掘、育成し、将来的に育成されたアスリートが指導者となり技術や経験を地域に還元する人材の好循環を図ります。	△	指導者の発掘、育成までには至りませんでした。

スポーツ振興の基盤づくり			
スポーツの拠点づくり	前計画の主な取組	評価	コメント
■スポーツ施設の整備	●水泳プール(短期) ・海浜公園水泳プールは、老朽化とともに津波等の災害対策が課題となっていますが、仮設管理棟の有効活用と津波避難訓練等の災害対策を講じる中で、施設及び設備が利用可能な間は運営を継続します。	◎	裏の崖地の崩落により、令和3年度から50mプールと児童プールの利用は中止していますが、25mプール及び幼児プールは継続しています。管理棟及び更衣室についてはプレハブ型の仮設で運用しています。
	●グラウンド(短期) ・深沢多目的スポーツ広場暫定利用期間終了後の代替グラウンドとして、近隣企業が所有するグラウンドの借用について協議を進めるとともに、市有地の活用について関係課と協議調整を進めます。 ・市民要望の高い多目的スポーツ広場の新規整備に向けた取り組みを進めます。	△	山崎浄化センタースポーツ等広場の利用を開始しました（令和8年度まで）。民間企業としてはアイパークの借用は開始したものの、その他の企業との協議は進んでいません。多目的スポーツ広場の新規整備については、浄化センター以外は進んでいません。
	●テニスコート(短期) ・テニスコートの新規整備に向けた取り組みを進めます。 ・既存テニスコートの改修の検討にあたっては、市民や関係団体等へのアンケート結果を踏まえ、コートの種類や改修方法について関係課と協議調整を進めます。	△	テニスコートの新規準備は進んでいません。笛田公園及び既存の西御門テニスコートについては、利用可能な状態で修繕は行ってきたものの、改修までには至っていません。
	●スポーツ施設建設基金への寄附の要請(短期) ・市民ニーズの高い総合体育館やグラウンドの整備に向けたスポーツ施設建設基金の積立てについて、財源確保のため、一般市民から寄附を募るとともに、体育協会、レクリエーション協会及び関係団体や企業等に協力を得られるよう、要請していきます。	○	ふるさと寄附金制度の活用により寄付金を募り、174,532,220円を積み立てました（令和7年6月5日現在）。スポーツ協会、関係団体及び企業への協力要請は不十分で、十分な寄附金が集まったとは言えませんでした。
	●スポーツ施設の利用環境の向上(短期) ・施設の開場時間の延長や、小・中学校体育施設の改築等の際には、利用の拡大を図ります。	○	大船中学校の改築等はおこなったものの、他の学校施設の改築は行っていません。鎌倉体育館の開場時間の延長を実施しました。
	●総合体育館(中長期) ・同時に複数の試合が可能な拠点施設となり得る総合体育館の整備を目指し、引き続き、適地に係る情報収集など、中長期的視野に立った取り組みを進めます。	△	情報収集は行うものの、検討には至っていません。
	●水泳プール(中長期) ・海浜公園水泳プールの再整備については、津波等の被災を勘案すると現在（坂ノ下）の場所に再整備することは現実的ではないことから、新たな水泳プールの整備に向け、整備適地の検討を進めるとともに、公共施設再編計画基本方針※1を踏まえ、施設の複合化や民間活力の導入を視野に入れた整備についての検討を進めます。	△	裏の崖地の崩落により、令和3年度から50mプールと児童プールの利用は中止しており、整備の必要性は認識しているものの、検討には至っていません。
	●グラウンド(中長期) ・公式競技が可能なグラウンドの整備については、引き続き中長期的視野に立った取り組みを継続します。	△	情報収集は行うものの、検討には至っていません。
	●高齢者や障害のある方に配慮した施設のバリアフリーの推進(中長期) ・バリアフリー法※2（平成18年法律第91号）第1条の規定に基づき、新たな施設の建設時及び既存施設の改修時には、障害者の意見を十分に聴取し、利用しやすいスポーツ施設の整備を行い、バリアフリー化を推進します。	○	各体育館についてバリアフリー化を概ね実施しました。

スポーツ振興の基盤づくり			
スポーツのシステムづくり	前計画の主な取組	評価	コメント
■地域の公共施設におけるスポーツ活動の促進	・地域住民の要望等に応えるため、生涯学習センターや老人福祉センター等と連携し、気軽にスポーツができる環境を整備します。	△	一部スポーツに関する教室などを開催するものの、環境の整備までには至っていません。
■他の自治体との施設相互利用の拡大	・県や近隣市町と施設の相互利用の拡大を検討し、市民が気軽にスポーツを楽しめる環境を整備します。	×	相互利用についての環境づくりは進んでいません。
■企業とのパートナーシップの構築	・企業が所有する施設を市民の利用に供せよう、企業との連携を図ります。 ・施設の維持管理のためネーミングライツを導入します。	△	アイパークのグラウンド利用など一部連携ができましたが、その他の企業との連携は出来ていません。ネーミングライツについては導入に至っていません。
■ボランティアとのパートナーシップの構築	・市民等が互いに協力し合い、スポーツをサポートする機会を提供することにより、ボランティア精神を醸成し、スポーツの担い手を育成するなどの方策を検討します。	×	市でボランティアの育成には至っていません。
■市のスポーツへの取組みの促進	・スポーツの意義をより効率的・効果的にPRし、関係課との事業連携を強化するとともに、各種行政計画へスポーツ施策を盛り込み、各施策の実現に向け取り組みます。	○	市及び施設の指定管理者で、スポーツ教室やイベントを開催することで、スポーツの意義をPRしました。また、関連する行政計画のスポーツ施策に盛り込み、施策の実現に向けて取り組みました。
■地域のスポーツ指導者の充実	・スポーツ推進委員や生涯スポーツリーダーの研修、養成を行い更なる資質の向上を図ります。	○	スポーツ推進委員の資質向上に向けて研修会を行いました。
■さまざまな人びとが集まる組織づくりや場所の提供	・学校体育施設や公共スポーツ施設等が「新しい公共」を担う地域コミュニティの核となる機能を充実・強化し、情報の発信や情報交換等を活発に行えるよう、地域住民の交流の場を整備します。	△	地域住民の交流の場となっている部分はあるものの、地域コミュニティの核とまではなっていません。
■私立学校とのパートナーシップの構築	・スポーツ施設の不足により地域住民の要望に応えるため、学校の教育に支障のない範囲で、学校体育施設の効率的な利用を協力要請します。	×	時折協議はしてきたものの、パートナーシップの構築は行われていません。
■民間活用による施設整備・運営などの充実・促進	・施設整備運営にあたっては、PFI/PPPなど民間のノウハウを活用し、施設整備・運営などに努めます。	○	こもれび山崎温水プールでPFI事業を実施し、民間のノウハウを活用していますが、1施設にとどまっています。
■医療機関などとのパートナーシップ	・医療機関や関係課と連携をとり、体力・健康相談・運動処方など相談体制を整備します。	○	指定管理者により健康に関する教室などは開催されていますが、十分ではありません。

スポーツ振興の基盤づくり			
スポーツの情報提供	前計画の主な取組	評価	コメント
■市民への情報提供体制の充実	・市として情報発信手段である広報かまくらや地域の広報板、ツイッターなどのソーシャルメディアを活用した情報提供の充実を図ります。	◎	様々な媒体を活用し、情報提供を行いました。
	・スポーツをする仲間や対戦相手を探しやすくするため、スポーツ団体ガイドブックの定期的な更新を行うとともに、指導者の情報を種目や運動のレベルなどに応じて分かりやすくまとめ、ホームページなどで公開します。	◎	スポーツ団体ガイドブックの定期的な更新を行い、指導者やスポーツ団体の情報提供を行っています。
	・指定管理者やスポーツ団体が発行する情報誌やホームページなどと相互に情報を提供し、幅広く発信します。	○	指定管理者と連携し、情報を発信しました。
	・スポーツイベントや競技会、大会結果等の情報提供の充実を図るため、スポーツ関連団体等にホームページの作成を要請します。	○	現在、イベントや団体などはホームページ、SNS等で発信しています。
	・スポーツ教室やイベントの開催情報を店舗や鉄道駅構内などの民間施設に掲出し、多くの市民の目に留まるように情報提供の手法を工夫します。	△	必要に応じて民間施設を利用した掲出を行いました。幅広い情報提供は出来ませんでした。
	・新しく市民になった人に対して施設の場所や利用方法を周知するため、住民登録手続きの際に案内を配布するなどの情報提供に努めます。	◎	転入された方向けの生活に関する情報「くらしの手続きガイド」の中で、施設の場所の案内などを行っています。また、SNSなどでも発信しています。
	・自治会・町内会の協力を得て、地域住民にきめ細かいスポーツ施設やイベント等の情報を提供します。	△	地区スポーツ振興会やスポーツ推進委員を通じて、町の広報板などを使いイベントの情報提供を行いました。
	・スポーツ以外のイベント開催時にスポーツ施設やイベント等の案内を配布し、スポーツに親しみのない市民への情報提供の拡充を図ります。	×	どこまで十分な情報提供ができたか不明瞭です。
■施設予約のシステムの充実	・インターネット、施設や地区への掲示や案内により、スポーツに対するニーズ、スポーツ団体や指導者の情報を収集する体制を充実します。 また、ソーシャルメディアなどを利用して市民のスポーツ施策に対する評価を収集します。	○	各施設にご利用された方の声などを聴ける箱を用意し、施設運営に活かすとともに、令和5年には市内の18歳以上2,000人に対し「運動・スポーツに関するアンケート調査」を実施し、市民の皆様のご意見を聞く機会を設けました。
	・より利便性の高いスポーツ施設の予約システムを構築し、確実に運営します。	△	予約システムは導入しているものの、さらに利便性の高いシステムの構築には至りませんでした。

4 スポーツに関する市民意識(令和5年11月実施)

本計画の改定にあたり、市民の運動・スポーツの実施状況や今後のスポーツの振興のあり方などに対する市民の意見等を把握することを目的に令和5年(2023年)11月1日時点で、鎌倉市在住の18歳以上の市民2,000人を無作為抽出し、アンケート調査を行いました

(1) アンケート期間

令和6年(2024年)1月25日～2月8日

(2) 調査方法

- ① 郵送にて調査票を配布(依頼文面にWeb上のアンケート回答フォームのURL、二次元バーコード等を記載)
- ② 回答は調査票への記入・郵送回答、Web回答フォームによる回答を併用

(3) 回答状況

配布	回収			回収率
配布数	回収数	うち	うち	
		郵送回答	WEB回答	
2,000	815	591	224	40.8%

(4) 主な調査結果

調査結果における特徴的な点は次のとおりです。

質問項目		回答
	この1年間に運動やスポーツを行ったことがある と回答した人の割合	69.3%
	1日30分以上の運動・スポーツを週1日以上やっている人の割合	47.4%
	(参考) 神奈川県「令和4年度県民の体力・スポーツに関する調査」 令和3年度時点 成人の週1回以上のスポーツ実施率は48.8%	
	新型コロナ感染症の影響を受けて運動・スポーツ 習慣の変化があった人の割合 ※ このうちスポーツをやめたと回答59.6%	34.6%
	新型コロナ感染症の影響を受けて運動・スポーツ 習慣の変化がなかった人の割合	61.6%
	運動スポーツを行った理由	
	「健康・体力づくり」	69.4%
	「楽しみ・気晴らし・気分転換」	60.2%
	「運動不足の 解消」	60.2%
	(参考) 令和5年度 横浜市民スポーツ意識調査より 健康・体力の維持・増進 71.6% 気分転換・ストレス解消 40.0% 運動不足を感じるから 35.6%	
	運動・スポーツを行った場所	
	「野外（山、川、海、街路）」	45.5%
	(参考) 令和5年度 横浜市民スポーツ意識調査 道路 44.8% 自宅43.0% 自然14.7%	

質問項目		回答
	スポーツボランティア活動をおこなったことがある	11.8%
	スポーツボランティア活動をおこなったことがない	83.7%
	※ どうすれば参加するか 「好きなスポーツの普及・支援」	27.4%
	(参考) 令和5年度 横浜市民スポーツ意識調査 18歳以上の参加率5.6%	
	○ パラスポーツにかかわったことがない	90.4%
	(参考) 令和5年度 横浜市民スポーツ意識調査 パラスポーツイベント観戦率 4.8%	
	東京2020パラリンピック等をきっかけに、パラスポーツに対する関心が高まった割合	30.8%
	東京2020パラリンピック等をきっかけに、パラスポーツに対する関心が変わらない割合	50.9%
	○ パラスポーツの振興をするためには 「スポーツ施設のバリアフリー化の推進」が必要 37.9%	
	○ 子供の環境に求めること	
	「安全に運動・スポーツが行える環境」 と答えた割合	70.1%
	「子どものやる気や能力を引き出す育成環境」 と答えた割合	40.9%
	「子どもの社会性・協調性の醸成」 と答えた割合	37.2%

質問項目		回答
○ 鎌倉市のスポーツ情報の入手先		
「広報かまくら」		45.6%
「町内会・自治会の回覧や掲示板」		22.5%
「新聞・タウン誌等」		15.5%
ただし※3分の1以上が「入手していない」		
○ 鎌倉市主催のスポーツイベントの参加状況		
参加したことある		18.9%
参加したことがない		80.9%
○過去にスポーツ利用をしたことがある施設		
「こもれび山崎温水プール」		27.1%
「鎌倉海浜公園水泳プール」		18.3%
「鎌倉体育館」		15.2%

【総評】

- 「スポーツをする」という視点では、「この１年間に運動やスポーツをおこなったことがある」が回答者の約 70%程度の方が行われており、また「１日 30 分以上の運動・スポーツを週 1 日以上やっている」という回答者の方が 50%弱となっており、神奈川県と同様の調査項目と比較しても差異がありません。スポーツに取り組まれている方の目的は「健康づくり」が最も多く、スポーツ種目としては「ウォーキング・散歩」、「ストレッチ・筋力トレーニング・ヨガなど」の順に取り組まれており、今後取り組みたいスポーツもこの２つに高い回答率となっています。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて「運動・スポーツ習慣に変化があった人」が約 35%程度でその半分の方がコロナ前の状況に戻っていないと回答されており、大きな影響があったことがうかがえます。また「鎌倉市主催のスポーツイベントなどへの参加状況」では約 80%の方が参加したことがないということで、その点についても課題として挙げられます。
- 「スポーツをみる」という視点では、会場で「ほとんど観戦しない人」が約 60%となっており会場でスポーツに親しむ習慣がない方の割合が高いです。また、よく観戦されているスポーツは「野球」、「サッカー」となっています。
- 「スポーツを支える」という視点では、「スポーツボランティア活動を行ったことがある」回答が約 12%程度となっており、「支える」という面では十分ではありません。また「パラスポーツ」への関わりについても約 90%の回答者が「関わったことがない」と回答されている一方で東京 2020 パラリンピックをきっかけに「パラスポーツに対する関心の変化」で約 30%以上の回答者がパラスポーツに対する理解が深まったと回答しています。
- その他では鎌倉市のスポーツの情報の入手先については回答者の 3 分の 1 が入手していないとなっています。
- 鎌倉市のスポーツの推進のために市が力を入れるべき取組として高い回答率となっているのが、「スポーツ施設・設備の充実」、「スポーツ教室・イベント開催」が挙げられています。
- スポーツ振興に期待する効果については、「地域コミュニティの醸成・活性化」が最も回答率が高く、次に「高齢者の生きがいづくり」が挙げられています。

4 本計画におけるスポーツの捉え方と新たな視点

(1) 本計画におけるスポーツの捉え方

スポーツ基本法では、「スポーツは、世界共通の人類の文化」と記されており、スポーツは、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と広く捉えられています。

本計画でも、「スポーツ」の範囲を広く捉え、勝敗や記録を競い合い自らの限界に挑戦する運動競技だけでなく、健康維持や仲間との交流、レクリエーションなど多様な目的で行う身体活動も含むこととします。

また、これまでスポーツ実際に「する」スポーツだけではなく、競技の観戦等を通じた「みる」形での参画、指導者やスポーツボランティアなどスポーツを「ささえる」形での参画も、さらに令和7年に改正されたスポーツ基本法の中で追加された価値である人と人との「つながる」、「集まる」という部分についても全てスポーツ活動として捉えます。

このように、スポーツが持つ多面的な価値を活かして、スポーツ施策を推進していきます。

(2) 本市が取り入れる新たな視点

① スポーツを通じた共生社会の実現

本市は、「つながる鎌倉条例」、「鎌倉市共生社会の実現を目指す条例」を制定し、それぞれの多様性を認め、お互いを思い、誰もが自分らしく、安心して暮らすことのできる共生社会の構築を目指しています。

令和8年(2026年)を初年度とする新たな総合計画基本構想である「鎌倉ビジョン2034」及び基本計画である「鎌倉ミライ共創プラン2030」においても、「生涯にわたって、誰もが安心して、自分らしく暮らせるまち＝共生社会」を軸に据えながら、将来目標を掲げています。

今後のスポーツ施策においても、この視点に配慮し、年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関わらず、誰もがスポーツに親しめる環境を整備し、スポーツ活動を通じた共生社会の実現を図っていく必要があります。

【第2章 基本理念と基本方針】

1 基本理念

前期計画を引継ぎつつ、これまでの内容を踏まえ第3次鎌倉市スポーツ振興基本計画の基本理念を次のとおりとします。

Enjoy " 鎌倉 " スポーツライフ

～スポーツに触れ、スポーツでつながり、スポーツで育つまち～

2 基本方針

本計画の基本理念である「Enjoy " 鎌倉 " スポーツライフ ～スポーツに触れ、スポーツでつながり、スポーツで育つまち～」の実現に向けて、スポーツを「する、みる、支える」を主な柱に、基本理念にある「スポーツに触れる」、「スポーツでつながる」、「スポーツで育つ」を基本方針としてスポーツ施策を推進することにより、地域の活力を育み、コミュニティの醸成を促し、地域活性化を進めていきます。

【基本方針1】 スポーツに触れる

性別や年齢、障害、経済・地域事情でスポーツに触れる機会に大きな隔たりが発生しないまちの実現を目指し、多様な人々がスポーツに参加し、触れる機会を創出し、コミュニティの一体感を育みます。

【基本方針2】 スポーツでつながる

立場・背景・特性の異なる市民、団体がスポーツを通じて、人と人の触れ合いや感動を分かちあい、人がつながり、支えあうまちの実現を目指します。

【基本方針3】 スポーツで育つ

あらゆる場面でスポーツに触れ、スポーツで多くの人々となつなぐことで人を育てるまちを目指し、個人の成長をサポートし、地域全体の活力を引き出す原動力とします。

3 達成するための指標

本市のスポーツ推進の効果や進捗状況を客観的に把握することができるよう、次のとおり指標と目標値を設定します。なお、計画期間は令和8年度（2026年度）から令和18年度（2036年度）までの10年間となることから、計画期間中に社会動向の変化や審議会による意見等により、必要に応じて指標及び目標値の変更を行います。

(1) 「【基本方針1】 スポーツに触れる」の指標

- ア 週1回以上、運動をしている市民の割合
- イ 市民のスポーツ観戦の割合
- ウ 鎌倉市（鎌倉市スポーツ協会なども含む。）主催のスポーツ競技会、スポーツ教室などのスポーツイベントへの参加の割合

(2) 「【基本方針2】 スポーツにつながる」の指標

- ア 市民の「運動やスポーツにだれもが親しめる機会や場が身近に整っていること」の満足度

イ パラスポーツの認知度

ウ スポーツによる地域コミュニティの醸成・活性化が進んでいると感じている割合

(3) 「【基本方針3】 スポーツで育つ」の指標

ア 鎌倉市出身の国際大会、全国大会など出場者数

イ スポーツに関する指導や協力、大会運営などスポーツボランティア活動の参加の割合

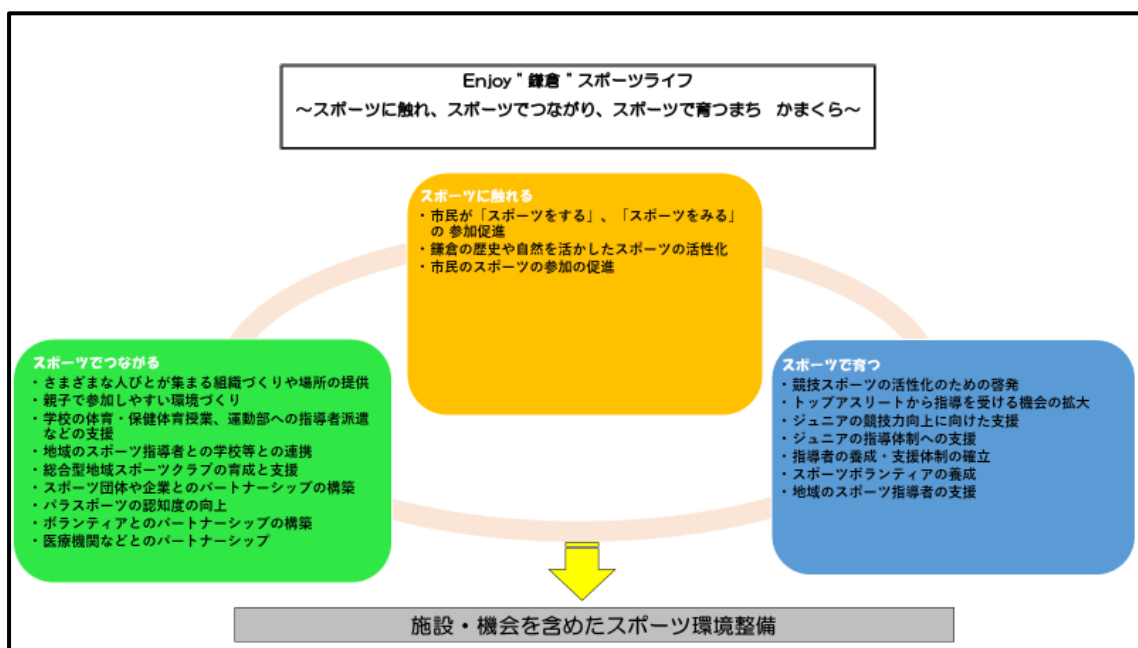
ウ スポーツに関する指導や協力、大会運営などスポーツボランティア活動にこれから参加したいと思う割合

エ スポーツを行うことで自分の肉体的な自己成長、精神的成長、自分の尊厳を感じられた割合

4 基本方針に基づく主な取組

基本理念及び基本方針を達成するための主な取組は以下のとおりです。

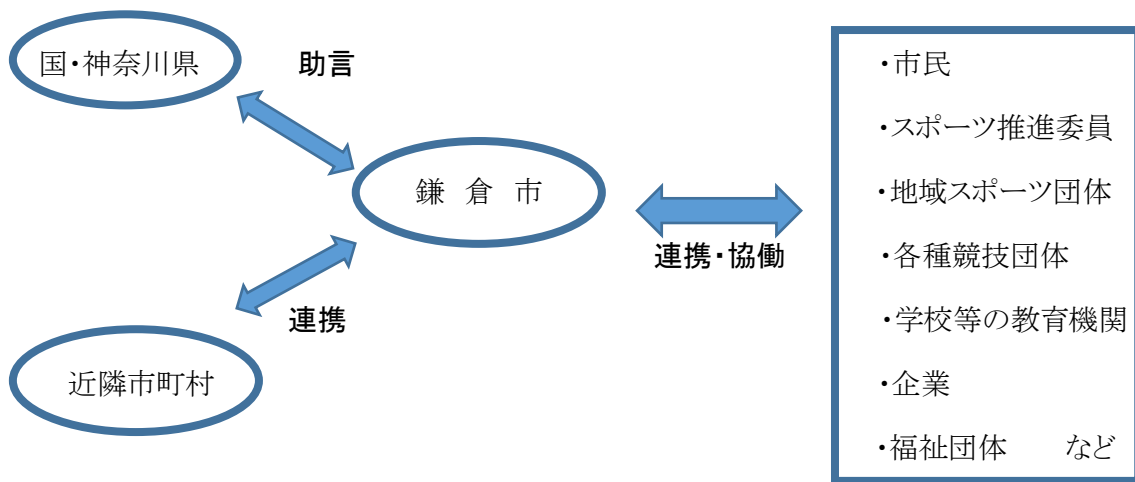
なお、指標及び目標値と同様、計画期間は令和8年度(2026年度)から令和18年度(2036年度)までの10年間となることから、計画期間中に社会動向の変化や審議会による意見等により、必要に応じて取組の変更を行います。



【第3章 計画の実現に向けて】

1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、市民、スポーツ推進委員や地域スポーツ団体、各種競技団体、学校等の教育機関、福祉施設・団体、民間企業などと連携・協働して計画の実現を目指します。



2 計画の評価と進捗管理

各施策の進捗状況については、計画(Plan)、実行(Do)、その効果・成果の評価(Check)、見直し・改善(Action)のサイクルによる進行管理を行い、着実に推進します。

効果・成果については、毎年度「鎌倉市スポーツ推進審議会」において、点検・評価を行い、必要に応じて取り組みの見直し、改善を図ってまいります。

また、本市の運動・スポーツを取り巻く社会情勢に大きな変化などがあった場合は、柔軟に計画を見直していくこととします。

参考資料(運動・スポーツに関するアンケート調査結果報告書)

運動・スポーツに関するアンケート調査結果報告書【概要版】

令和6年4月 鎌倉市

I. 調査の概要

本調査は、鎌倉市スポーツ振興基本計画の改定にあたり、市民の運動・スポーツの実施状況や今後のスポーツの振興のあり方などに対する市民の意見等を把握することを目的に実施したものです。

(1) 調査対象

令和5年11月1日現在、鎌倉市在住の18歳以上の市民2000人（無作為抽出）

(2) アンケート期間

令和6年1月25日～2月8日

(3) 調査方法

- ・郵送にて調査票を配布（依頼文面にWEB上のアンケート回答フォームのURL、二次元バーコード等を記載）
- ・回答は調査票への記入・郵送回答、WEB回答フォームによる回答を併用

(4) 回答状況

配布	回収			回収率
配布数	回収数	うち	うち	
		郵送回答	WEB回答	
2,000	815	591	224	40.8%

II. 主な調査結果

【運動・スポーツの実施状況について】

- この1年間に運動やスポーツを行ったことがあると回答した人は69.3%で、さらに1日30分以上の運動・スポーツを週1日以上やっている人の割合は47.4%となっています。前回の調査（平成26年度）で1日30分以上の運動・スポーツを週1日以上やっている人の割合は46.4%であり微増にとどまっています。
- この1年間に行った運動・スポーツの上位5種目は次のとおりです。

ウォーキング・散歩（ペットの散歩を含む）	50.7%
ストレッチ・筋力トレーニング・ヨガなど	32.8%
自転車・サイクリング	12.8%
アウトドアスポーツ	11.4%
ジョギング・ランニング	10.9%

- 運動・スポーツを行った理由は、「健康・体力づくり」が最も多く、次いで「楽しみ・気晴らし・気分転換」、「運動不足の解消」と続いています。健康づくりや気分転換、運動不足の解消など心身の健康のためにスポーツ・運動を行っている人が多く見られます。
- 運動・スポーツを一緒に行う人についての問いでは、自分ひとりでやっている人が63.7%と最も高くなっています。
- 運動・スポーツを行った場所は、「野外（山、川、海、街路など）」が最も高く、次いで「民間スポーツ施設」、「自宅」となっています。
- この1年間に運動やスポーツを行わなかったと回答した人（29.7%）について、その理由を尋ねたところ、「仕事・家事が忙しいから」が42.6%と最も高くなっています。特に30歳代では93.1%の方が「仕事・家事が忙しいから」と回答しています。
- 年齢層が上がるにつれ、「病気・ケガ」「体力・健康」を理由に運動・スポーツをやらない傾向が高くなっています。
- 今後行ってみたい運動・スポーツの上位5種目は次のとおりです。

ストレッチ・筋力トレーニング・ヨガなど	22.3%
ウォーキング・散歩（ペットの散歩を含む）	17.4%
水泳・水中運動	12.9%
アウトドアスポーツ	11.0%
マリンスポーツ	7.5%

【スポーツとの関わり方について】

- 鎌倉市主催のスポーツイベントなどへの参加状況については、「参加したことがある」が18.9%、「参加したことがない」が80.0%となっています。参加したことがある人は前回調査の26.4%に比べて減少していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、一定の間、イベントなどの開催が行われていなかったことなどがその背景にあると考えられます。
- 過去にスポーツ利用をしたことがある施設については、「こもれび山崎温水プール」が27.1%で最も高くなっており、次いで「鎌倉海浜公園水泳プール」が18.3%、「鎌倉体育館」が15.2%と続いています。なお、「利用したことがない」という回答も3分の1（36.7%）を超えています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて運動・スポーツ習慣の変化があった人は34.6%、変化がなかった人は61.6%となっています。変化があったと回答した人の半数（50.0%）が、コロナ感染症の5類感染移行後も、運動・スポーツ習慣がコロナ前の状況には戻っていないと回答しています。
- スポーツボランティア活動を行ったことがある人は11.8%、8割以上の方が「ない」と回答して

います。

○スポーツボランティア活動に参加する上での動機づけについては、「好きなスポーツの普及・支援」、「社会貢献・地域貢献」、「出会い・交流の場」などの回答が多くなっています。

【「みる」スポーツについて】

○スポーツ観戦（試合・競技会・練習など。テレビでの観戦は除く。）の頻度について尋ねたところ、「ほとんど観戦しない人」が 57.1%、次いで「年に数日程度」という人が 20.4%となっています。
よく観戦されているスポーツは、「野球」、「サッカー」と回答した人が非常に多く見られます。

【パラスポーツについて】

- パラスポーツへの関わりについては 90%以上の人が「関わったことがない」と回答しています。
パラスポーツを支援する活動を行ったことがある人は 1.6%と、極めて低い回答状況になっています。
- 東京 2020 パラリンピック等をきっかけに、パラスポーツに対する関心の変化があったかを尋ねたところ、50.9%の人が特に変化はないと答えていますが、一方で 30%以上の人がパラスポーツに対する理解が深まったと回答しています。
- パラスポーツや障がいのある人の運動・スポーツの普及・振興のために必要なことについては、「スポーツ施設のバリアフリー化の推進」、「障がいのある人も参加できる事業の実施」、「パラスポーツの観戦や体験会などの実施」が上位にあげられています。

【子どもの運動・スポーツについて】

○子どもの運動・スポーツ環境に求めることを尋ねたところ、「安全に運動・スポーツが行える環境」をあげる人が最も多く、これに次いで「子どものやる気や能力を引き出す育成環境」、「子どもの社会性・協調性の醸成」、「子どもの体力・技術力の向上」などが上位になっています。

【鎌倉市におけるスポーツの推進について】

- 鎌倉市のスポーツ情報の入手先については、「広報かまくら」が 45.6%と最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧や掲示板」、「新聞・タウン誌等」と続いています。
一方で、3分の1以上の人が「入手していない」と答えています。
- スポーツ情報を入手した人に対して、その活用方法を尋ねたところ、60%以上の人が「特に活用していない」と回答しています。活用したと答えた人の中では、「スポーツ施設の利用」、「スポーツ教室への参加」の回答が多くなっています。
- 知りたいスポーツ情報は、「スポーツ施設の利用案内」、「健康や体力づくりに関する情報」、「スポーツ教室の情報」が上位になっています。
- 身近にあればいいと思う運動・スポーツの場は、「器具運動（ウエイト・マシントレーニング・ランニングマシンなど）」、「屋内球技（バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球など）」、「屋内スポーツ（武道・格闘技、ダンス、体操など）」が上位になっています。
- 鎌倉市のスポーツの推進のために市が力を入れるべき取り組みについて尋ねたところ、「市のスポ

ーツ施設・設備の充実」をあげる人が最も多く、これに次いで「スポーツ教室・イベントの開催」、「高齢者のスポーツ活動の推進」、「子どものスポーツ活動の推進」、「スポーツによる健康づくり」が上位にあげられています。

○スポーツ振興に期待する効果については、「地域コミュニティの醸成・活性化」が最も多く、次いで「高齢者の生きがいつくり」、「地域の健康水準の向上」、「子どもの体力づくり」が上位になっています。

運動・スポーツに関するアンケート調査 結果報告書

令和6年4月
鎌倉市

アンケート調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、鎌倉市スポーツ振興基本計画の改定にあたり、市民の運動・スポーツの実施状況や今後のスポーツの振興のあり方などに対する市民の意見等を把握することを目的とするものです。

2. 調査の概要

(1) 調査対象

令和5年11月1日現在、鎌倉市在住の18歳以上の市民2000人（無作為抽出）

※鎌倉市の人口構成（性別・年代別・地区別）に応じて対象者を抽出。

	配布数	回収数	回収率
男性	908	357	39.3%
女性	1092	452	41.4%
10歳代	41	15	36.6%
20歳代	172	45	26.2%
30歳代	223	84	37.7%
40歳代	305	114	37.4%
50歳代	393	166	42.2%
60歳代	248	104	41.9%
70歳代	294	165	56.1%
80歳代以上	324	122	37.7%
鎌倉地区	536	282	52.6%
腰越地区	268	102	38.1%
深沢地区	385	121	31.4%
大船地区	528	202	38.3%
玉縄地区	283	100	35.3%

(2) アンケート期間

令和6年1月25日～2月8日

(3) 調査方法

- ・郵送にて調査票を配布（依頼文面にWEB上のアンケート回答フォームのURL、二次元バーコード等を記載）
- ・回答は調査票への記入・郵送回答、WEB回答フォームによる回答を併用

(4) 回答状況

配布	回収			回収率
配布数	回収数	うち	うち	
		郵送回答	WEB回答	
2,000	815	591	224	40.8%

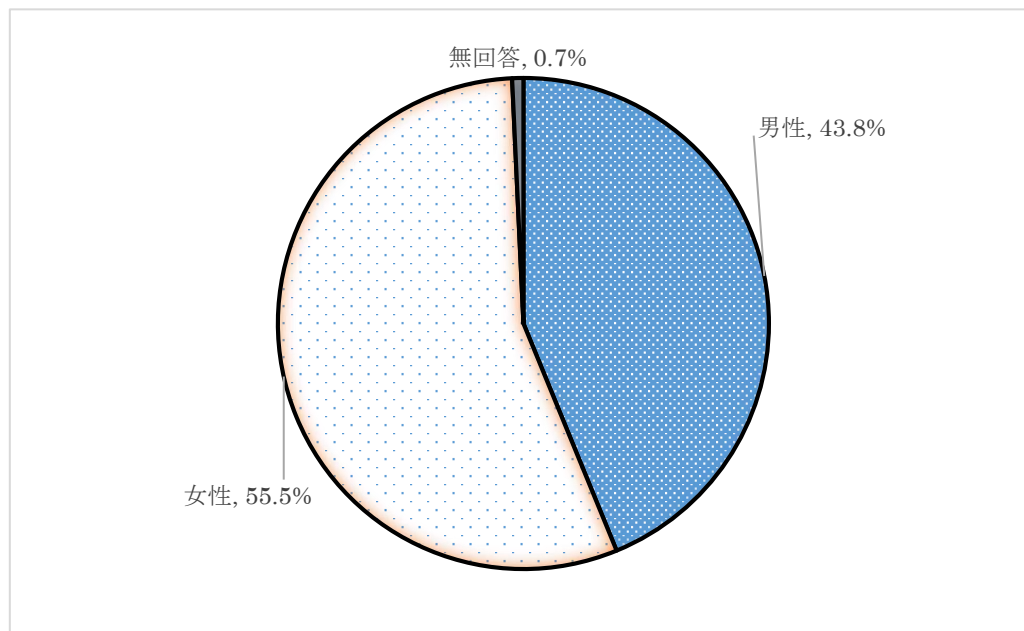
※1 (n) は、当該設問に対する回答の合計数（母数）である。

※2 集計にあたり、小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%にならない場合がある。

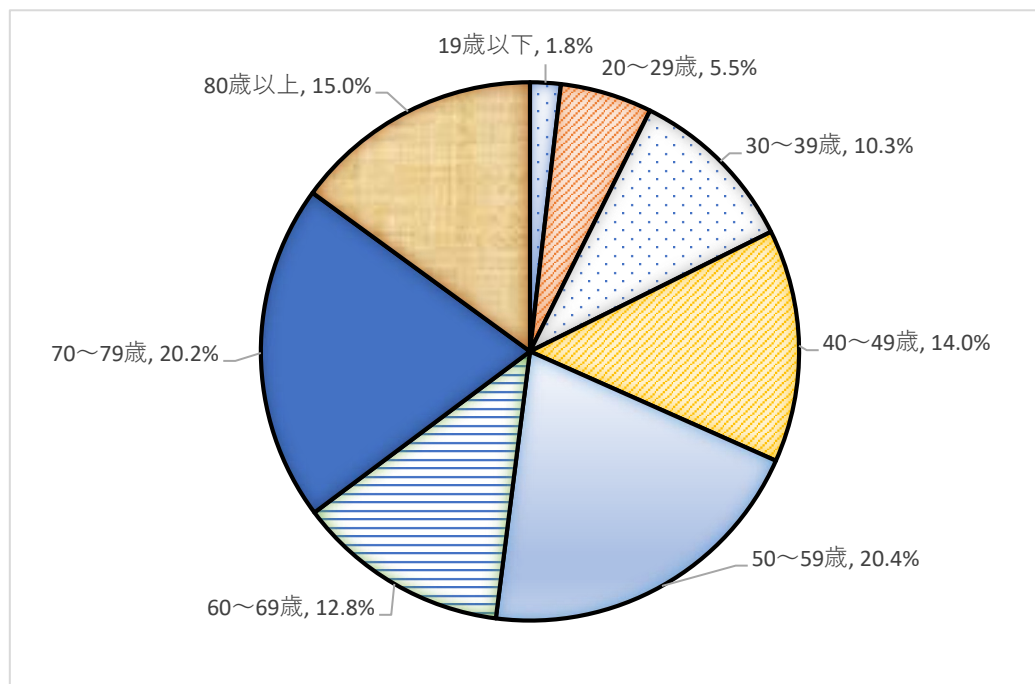
※3 複数回答が可能な設問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

ご自身について

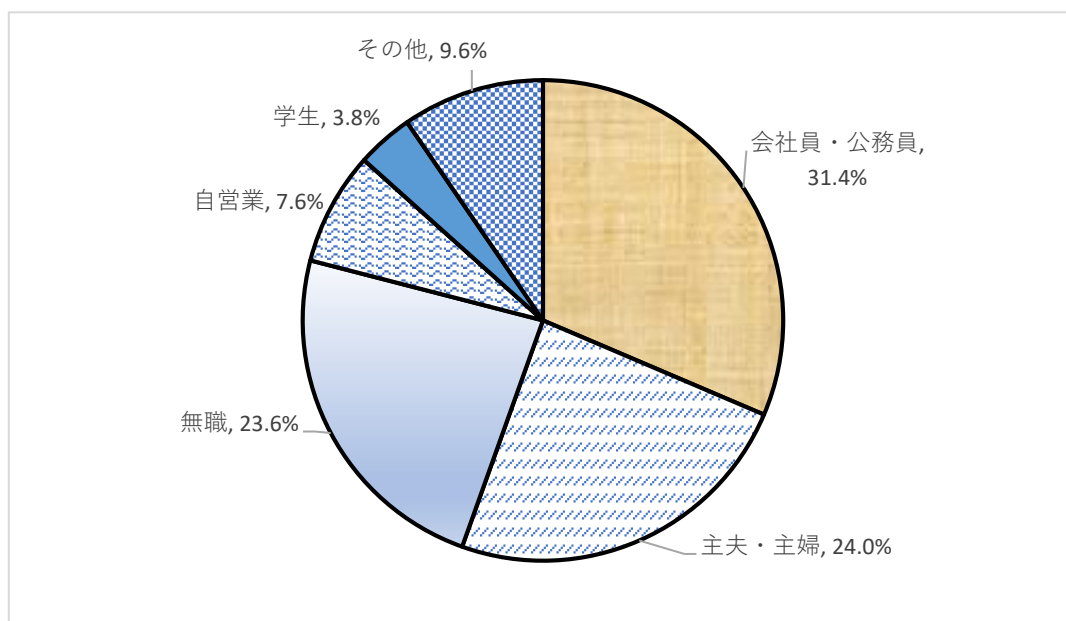
問1 あなたの性別を教えてください。(n=815)



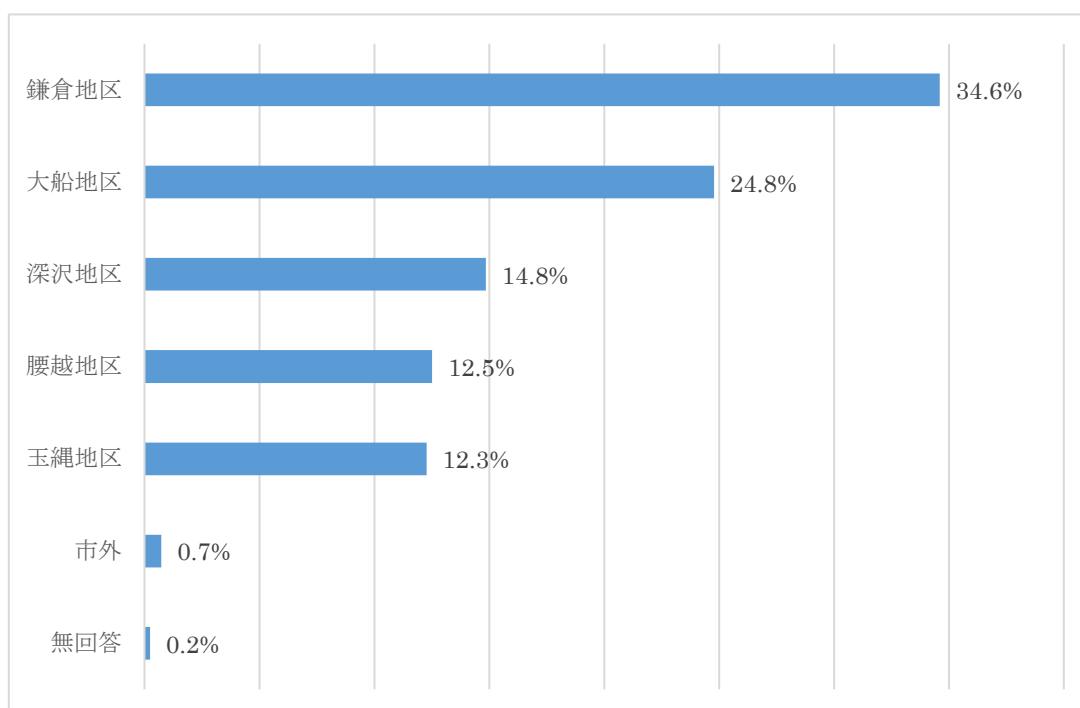
問2 あなたの年齢を教えてください。(n=815)



問3 あなたの職業を教えてください。(n=815)

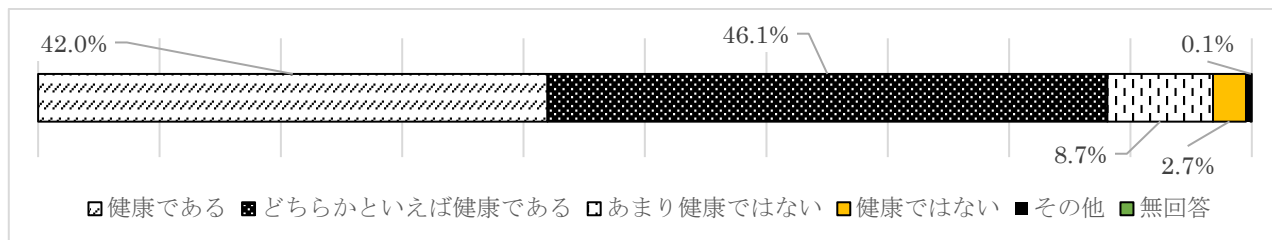


問4 あなたのお住いの地区を教えてください。(n=815)



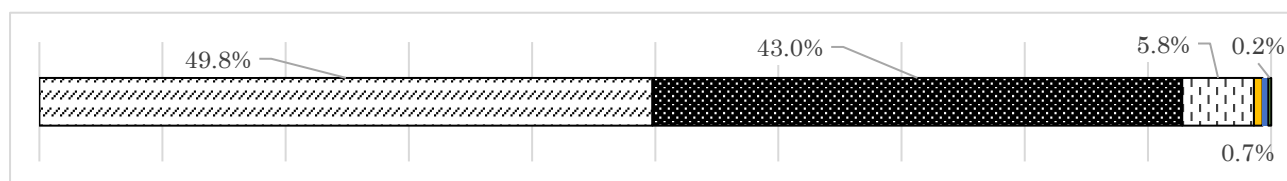
問5 あなたは、ご自身の健康状態をどのように感じていますか。(n=815)

「どちらかといえば健康である」が46.1%と最も高く、次いで「健康である」が42.0%、「あまり健康ではない」が8.7%となっています。

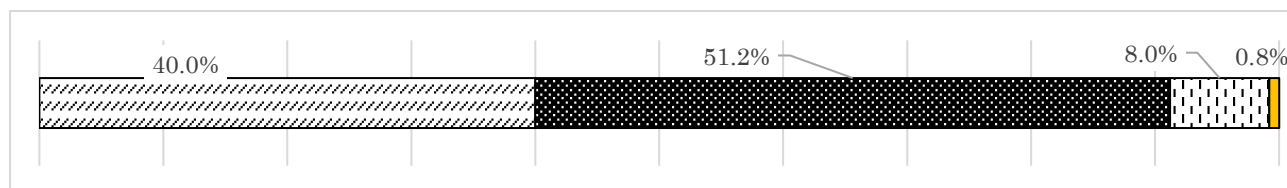


【運動・スポーツ頻度別】

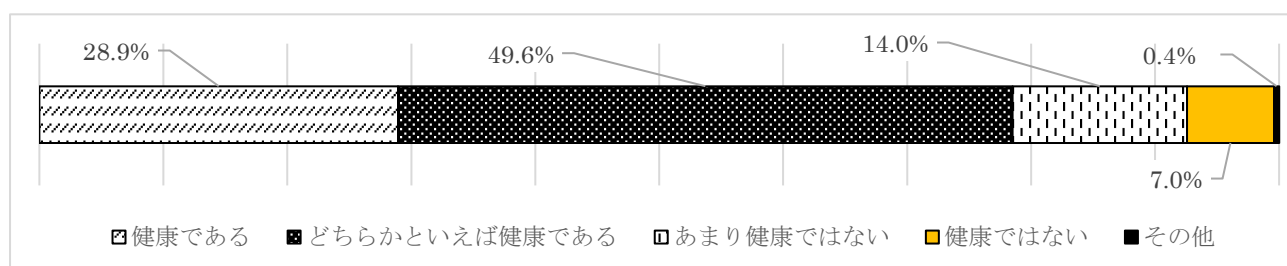
週に1日以上(n=430)



月・年に何日か(n=125)



運動・スポーツをしていない(n=242)

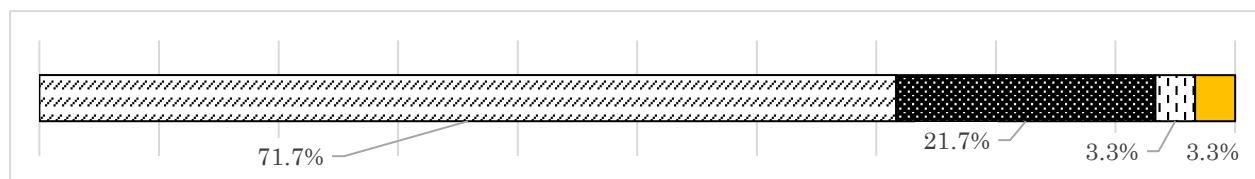


『週に1日以上』運動・スポーツをしている人は「健康である」との回答率が49.8%と、全体平均の42.0%より高くなっています。

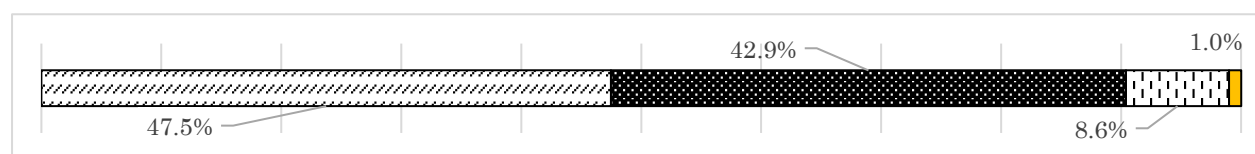
「運動・スポーツをしていない人」は、「健康である」との回答率は28.9%と低くなっている一方、「あまり健康ではない」と「健康ではない」を合わせた回答率は21.0%と、全体平均の11.4%よりも高くなっています。

【年代別】

10 歳代・20 歳代 (n=60)



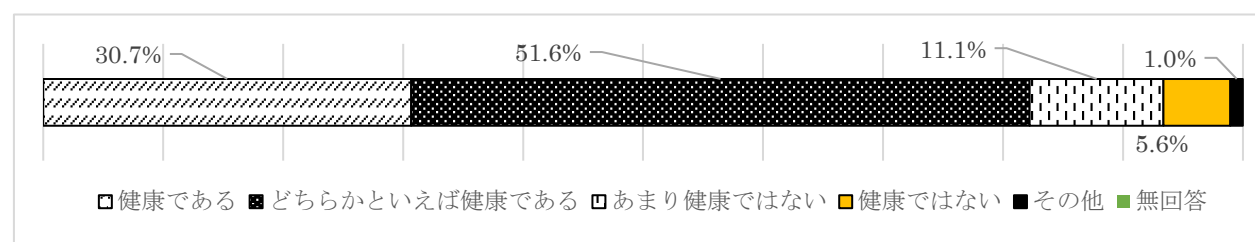
30 歳代・40 歳代 (n=198)



50 歳代・60 歳代 (n=270)



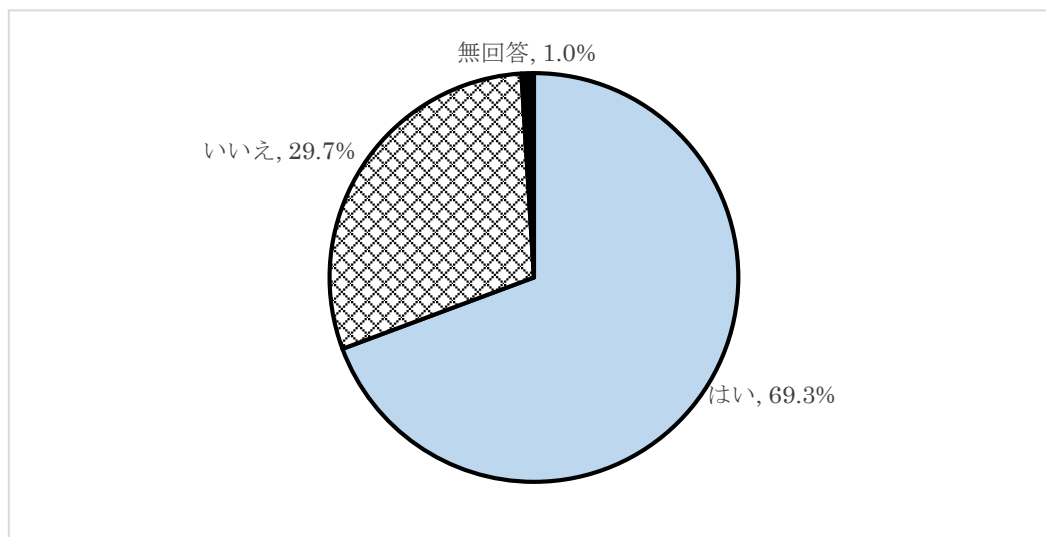
70 歳代・80 歳以上 (n=287)



年代が上がるにつれ「健康である」の回答率は低くなっています。

運動・スポーツの実施状況について

問6 あなたはこの1年間に運動やスポーツを行いましたか。(n=815)

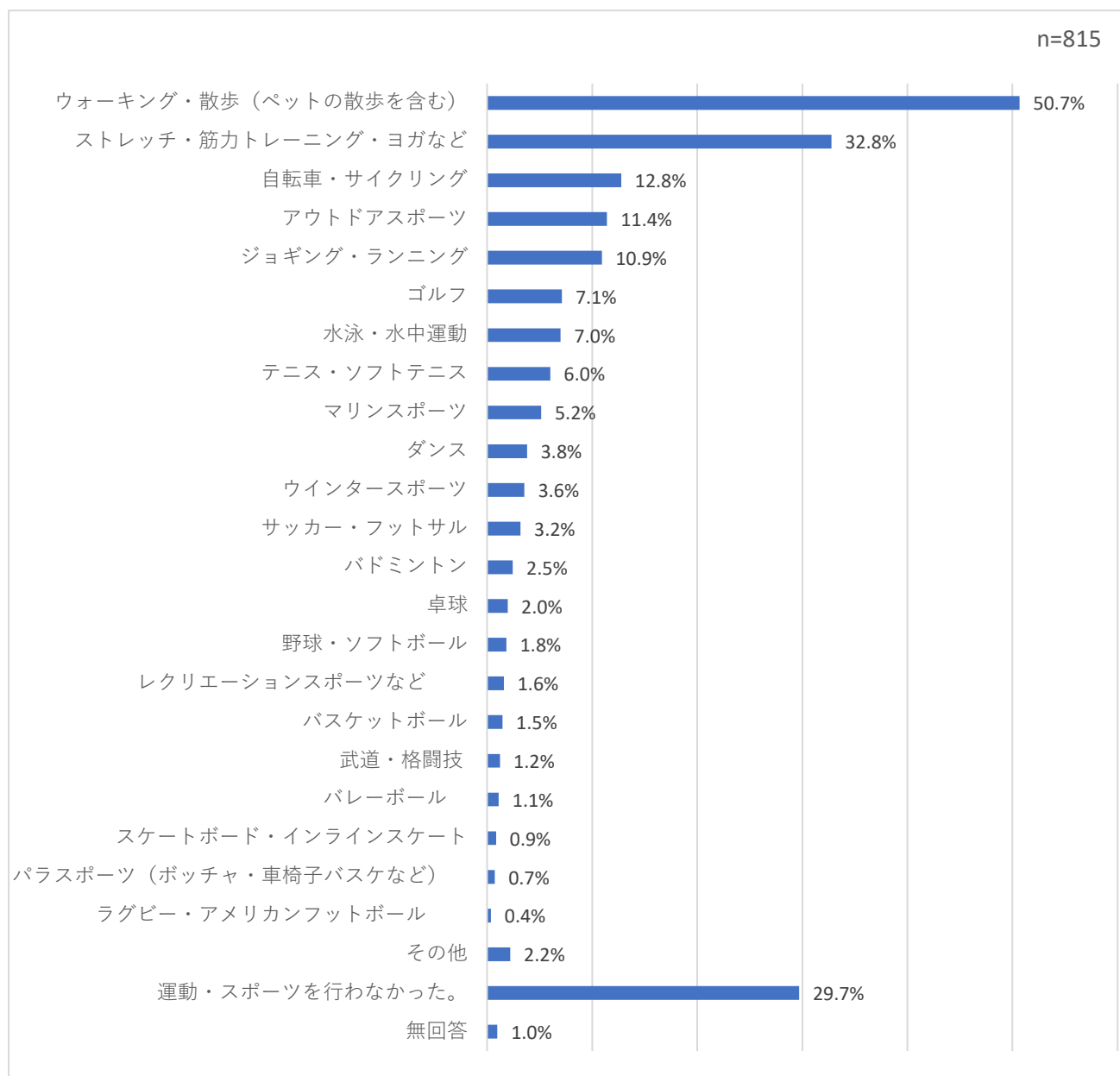


【性別・年代別】

		はい	いいえ	無回答
男性	n=357	72.0%	26.9%	1.1%
女性	n=452	67.7%	31.4%	0.9%
10歳代	n=15	73.3%	26.7%	0.0%
20歳代	n=45	75.6%	24.4%	0.0%
30歳代	n=84	65.5%	34.5%	0.0%
40歳代	n=114	74.6%	24.6%	0.9%
50歳代	n=166	74.1%	25.3%	0.6%
60歳代	n=104	67.3%	32.7%	0.0%
70歳代	n=165	69.1%	29.1%	1.8%
80歳代以上	n=122	59.8%	37.7%	2.5%

問6-1 あなたが、この1年間に行った運動・スポーツはどのようなものですか。(複数回答可)

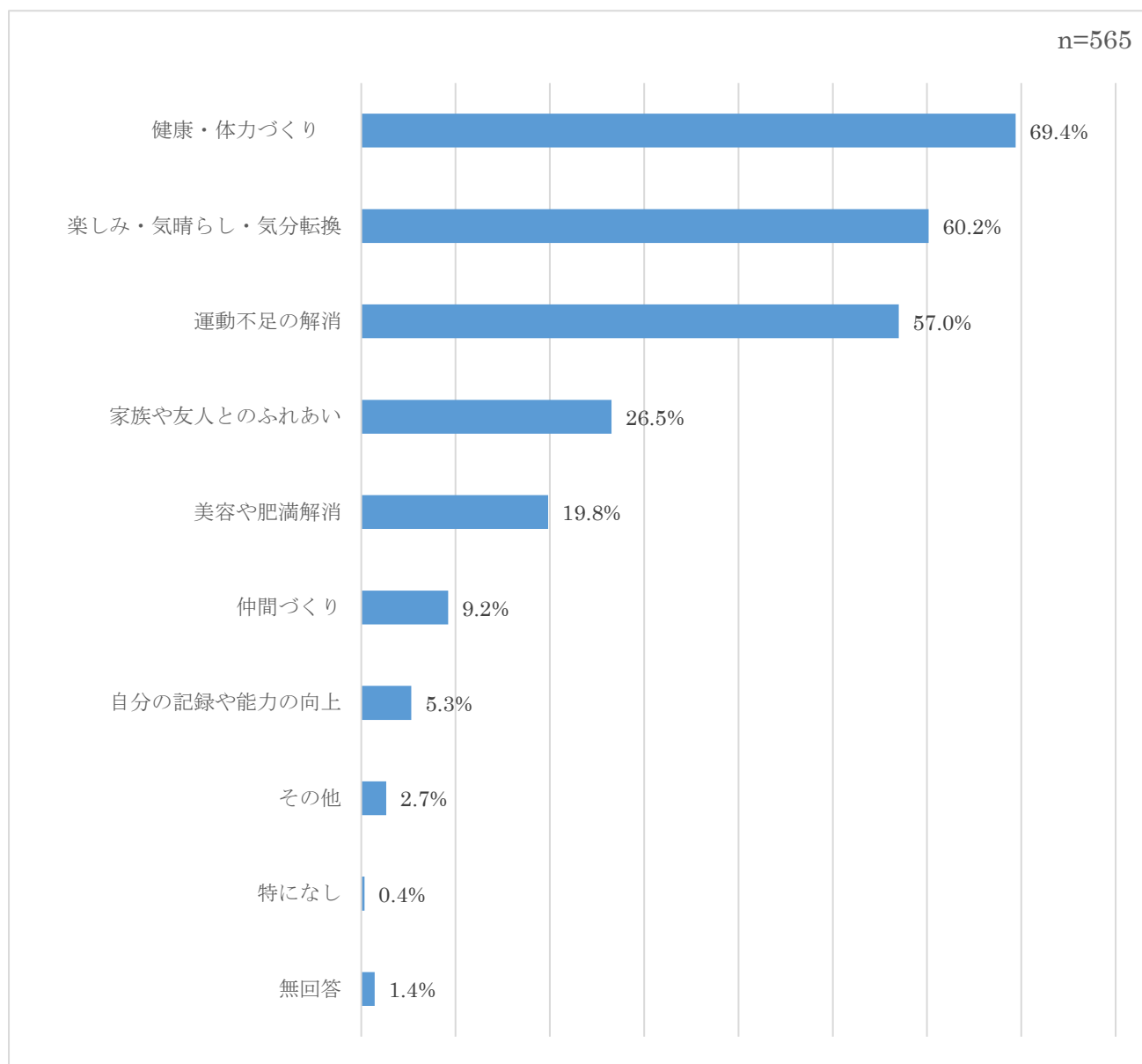
「ウォーキング・散歩（ペットの散歩を含む）」が50.7%と最も多く、次いで「ストレッチ・体操・筋力トレーニング・ヨガなど」が32.8%、「自転車・サイクリング」が12.8%となっています。



問6—2 運動・スポーツを行った理由は何ですか。(複数回答可)

「健康・体力づくり」が69.4%と最も多く、次いで「楽しみ・気晴らし・気分転換」が60.2%、「運動不足の解消」が60.2%となっています。

健康づくりや気分転換、運動不足の解消など心身の健康のためにスポーツ・運動を行っている人が多い状況です。



【年代別】

40歳代までは、「楽しみ・気晴らし・気分転換」の割合が最も高くなっています。

一方で、50歳代からは「健康・体力づくり」の割合が最も高くなっており、気分転換等よりもむしろ健康維持のために運動・スポーツを行っている傾向がうかがえます。

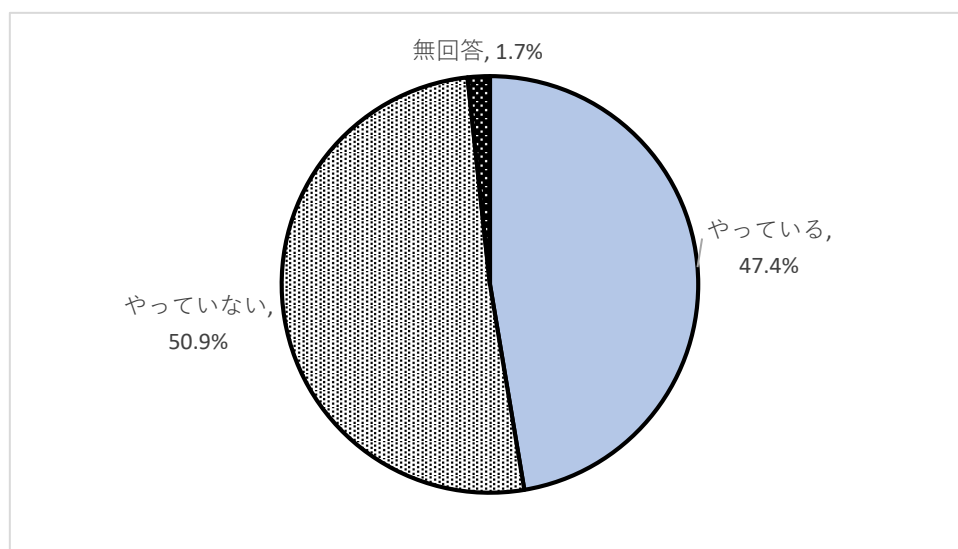
(n=565)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
	n=11	n=34	n=55	n=85	n=123	n=70	n=114	n=73
健康・体力づくり	45.5%	52.9%	63.6%	60.0%	69.1%	80.0%	75.4%	76.7%
運動不足の解消	45.5%	44.1%	61.8%	55.3%	63.4%	52.9%	54.4%	60.3%
楽しみ・気晴らし・気分転換	72.7%	61.8%	78.2%	68.2%	52.8%	62.9%	56.1%	50.7%
家族や友人とのふれあい	54.5%	35.3%	47.3%	37.6%	22.8%	20.0%	16.7%	17.8%
美容や肥満解消	27.3%	32.4%	36.4%	34.1%	24.4%	12.9%	7.9%	1.4%
自分の記録や能力の向上	27.3%	8.8%	5.5%	7.1%	5.7%	1.4%	2.6%	5.5%
仲間づくり	9.1%	5.9%	3.6%	8.2%	6.5%	11.4%	11.4%	15.1%
その他	18.2%	0.0%	1.8%	2.4%	1.6%	5.7%	1.8%	2.7%
特になし	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	9.1%	0.0%	0.0%	1.2%	1.6%	0.0%	0.9%	4.1%

問6—3 1日30分以上の運動・スポーツを週1日以上やっていますか。(n=815)

「やっている人」の割合は47.4%、「やっていない人」の割合は50.9%となっています。

平成25年(2013年)に実施した「市民のスポーツ活動に関するアンケート調査結果」(以下、「前回調査」という。)では、「やっている人」の割合が46.4%であり、この間に1%増加していますが、微増にとどまっており、平成26年(2014年)3月に策定した「鎌倉市スポーツ振興基本計画」の目標値として掲げていた、60%には達していません。



【性別・年代別・地区別】

性別では、男性の方が女性よりも「やっている人」の割合が高く、前回調査と比べると男性は約4%増加している一方、女性は約2%減少しています。

46.4%に比べ約5ポイント増加しています。一方、女性は45.1%となっており、前回調査の46.8%よりも下落しています。

年代別では、70歳代、80歳代以上が高くなっていますが、20歳代、30歳代の比較的若い世代は低い傾向にあります。

地区別では、腰越地区、深沢地区において、「やっている人」の割合が50%を上回っています。

			や っ て い る	や っ て い な い	無 回 答
全体			47.4%	50.9%	1.7%
性別	男性	n=357	50.7%	47.6%	1.7%
	女性	n=452	45.1%	53.1%	1.8%
年代	10歳代	n=15	60.0%	40.0%	0.0%
	20歳代	n=45	33.3%	66.7%	0.0%
	30歳代	n=84	29.8%	70.2%	0.0%
	40歳代	n=114	40.4%	58.8%	0.9%
	50歳代	n=166	48.8%	49.4%	1.8%
	60歳代	n=104	50.0%	49.0%	1.0%
	70歳代	n=165	55.2%	41.8%	3.0%
	80歳代以上	n=122	54.9%	41.8%	3.3%
地区	鎌倉地区	n=282	48.9%	48.9%	2.1%
	腰越地区	n=102	54.9%	44.1%	1.0%
	深沢地区	n=121	51.2%	47.9%	0.8%
	大船地区	n=202	43.6%	54.5%	2.0%
	玉縄地区	n=100	39.0%	59.0%	2.0%
	市外	n=6	33.3%	66.7%	0.0%
	無回答	n=2	50.0%	50.0%	0.0%

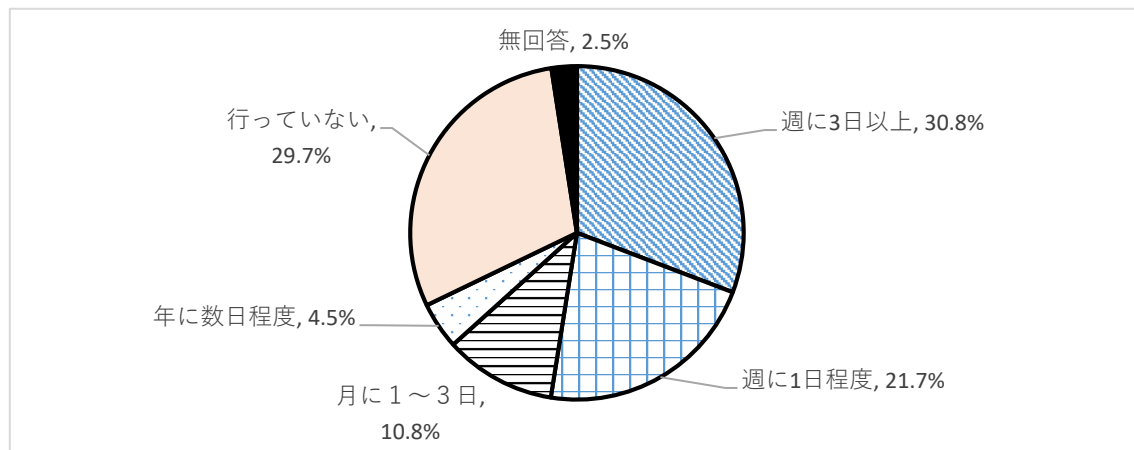
参考:【性別・年代別・地区別】

前回調査(平成 25 年 5 月)

			や っ て い る	や っ て い な い	無 回 答
全体		n=707	46.4%	51.1%	2.5%
性別	男性	n=331	46.5%	51.7%	1.8%
	女性	n=363	46.8%	51.0%	2.2%
年代	10歳代・20歳代	n=72	41.7%	56.9%	1.4%
	30歳代	n=96	42.7%	56.3%	1.0%
	40歳代	n=104	40.4%	58.7%	1.0%
	50歳代	n=131	50.4%	48.9%	0.8%
	60歳代	n=157	55.4%	44.6%	0.0%
	70歳代以上	n=134	43.3%	49.3%	7.5%
地区	鎌倉地区	n=205	44.9%	52.2%	2.9%
	腰越地区	n=104	41.3%	56.7%	1.9%
	深沢地区	n=138	53.6%	44.9%	1.4%
	大船地区	n=84	50.0%	48.8%	1.2%
	玉縄地区	n=152	45.4%	51.3%	3.3%

問6—4 運動・スポーツを行った日数を合わせるとどのくらいの頻度になりますか。(n=815)

「週に3日以上」が30.8%と最も高く、次いで「行っていない」が29.7%、「週に1日程度」が21.7%と続いています。



令和4年3月25日に文部科学省が策定したスポーツ基本計画においては、令和3年度の成人の週1回以上のスポーツ実施率は56.4%、週3回以上の実施率は30.4%であり、政策目標として、これをそれぞれ65%、30%程度となることを目指すとしています。

また、神奈川県が令和5年3月に見直しを行った「神奈川県スポーツ推進計画」では、令和4年度の成人の週1回以上の実施率48.8%を令和7年度までに70%以上に、週3回以上の実施率21.9%を35%以上にすることを数値目標として設定しています。

鎌倉市の「週に1日以上」の実施率は52.5%、「週に3日以上」の実施率は30.8%となっています。

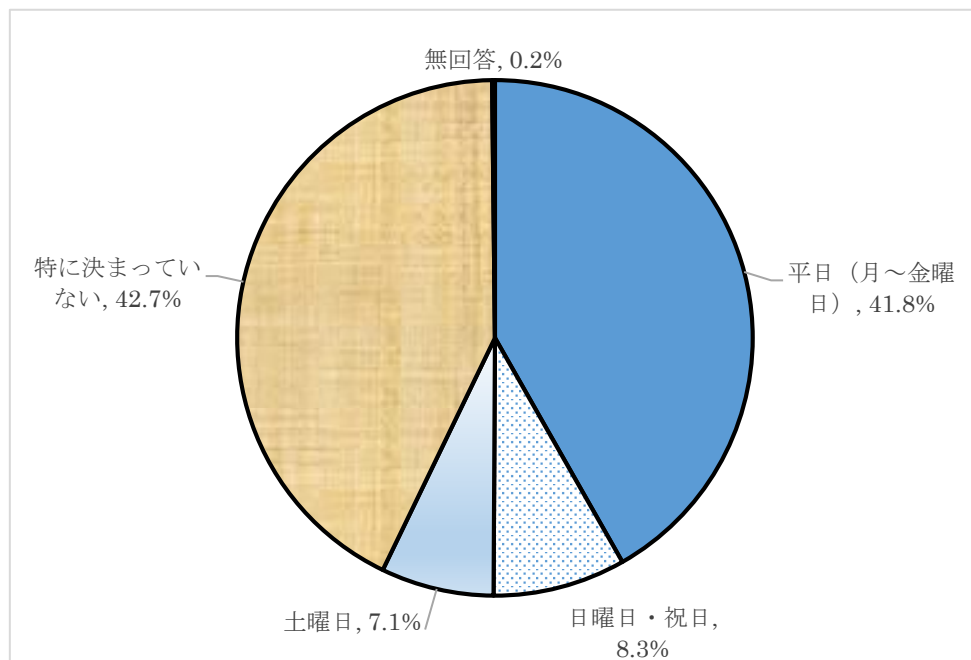
【年代別】

60歳代以上（10歳代を除く）から「週に3日以上」運動・スポーツをする人の割合が50%を超えており、また、「週に1日程度」以上、運動・スポーツをする人の割合も概ね80%以上となっています。高い年齢層では、運動・スポーツを行う頻度が高く、習慣化していることがうかがえます。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
	n=11	n=34	n=55	n=85	n=123	n=70	n=114	n=73
週に3日以上	54.5%	17.6%	27.3%	27.1%	42.3%	54.3%	62.3%	54.8%
週に1日程度	36.4%	35.3%	25.5%	37.6%	36.6%	25.7%	23.7%	34.2%
月に1～3日	9.1%	26.5%	30.9%	23.5%	13.8%	12.9%	7.9%	8.2%
年に数日程度	0.0%	17.6%	14.5%	10.6%	4.1%	5.7%	4.4%	0.0%
無回答	0.0%	2.9%	1.8%	1.2%	3.3%	1.4%	1.8%	2.7%

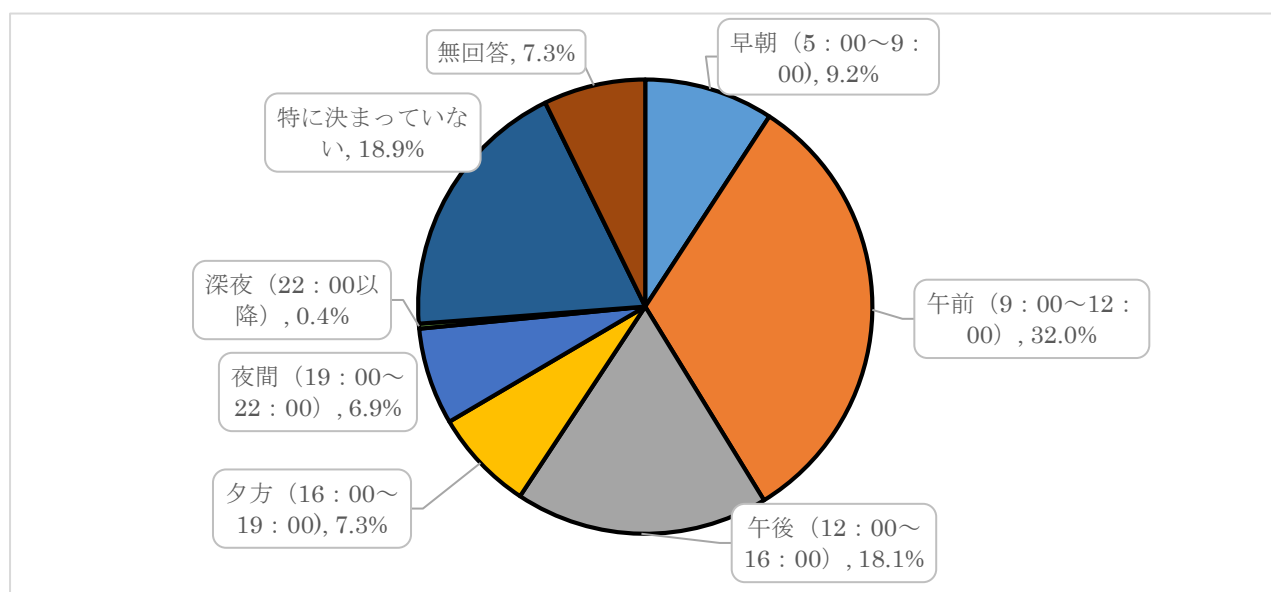
問6—5 あなたは主にいつ運動・スポーツをしますか。(n=565)

「特に決まっていない」が42.7%と最も多く、次いで「平日（月～金曜日）」が41.8%、「日曜日・祝日」が8.3%となっています。



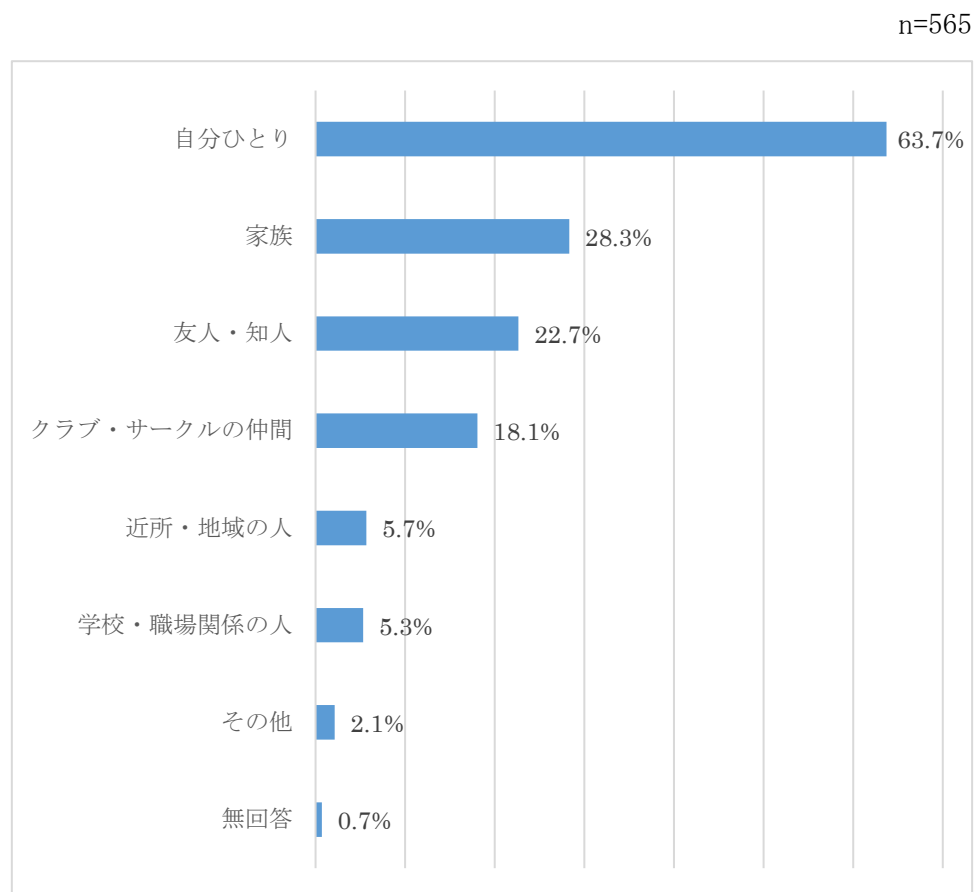
問6—6 あなたが主に運動・スポーツをする時間帯はいつですか。(n=565)

「午前（9：00～12：00）」が32.0%と最も多く、次いで「特に決まっていない」が18.9%、「午後（12：00～16：00）」が18.1%となっています。



問6—7 あなたは主に誰と運動・スポーツをしていますか。(複数回答可)

誰と運動・スポーツをするかは「自分ひとり」が 63.7%と最も高く、次いで「家族」が 28.3%、「友人・知人」が 22.7%となっています。



【年代別】

		自分ひとり	学校・職場関係の人	家族	クラブ・サークルの仲間	友人・知人	近所・地域の人	その他	無回答
10歳代	n=11	27.3%	45.5%	27.3%	36.4%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	n=34	61.8%	11.8%	8.8%	17.6%	47.1%	0.0%	2.9%	0.0%
30歳代	n=55	67.3%	10.9%	38.2%	9.1%	23.6%	7.3%	0.0%	0.0%
40歳代	n=85	69.4%	4.7%	47.1%	11.8%	17.6%	3.5%	0.0%	1.2%
50歳代	n=123	74.0%	6.5%	31.7%	12.2%	17.9%	1.6%	2.4%	0.8%
60歳代	n=70	58.6%	1.4%	32.9%	15.7%	20.0%	4.3%	2.9%	0.0%
70歳代	n=114	57.0%	1.8%	19.3%	28.9%	22.8%	7.9%	2.6%	0.9%
80歳代以上	n=73	58.9%	0.0%	12.3%	24.7%	24.7%	15.1%	4.1%	1.4%

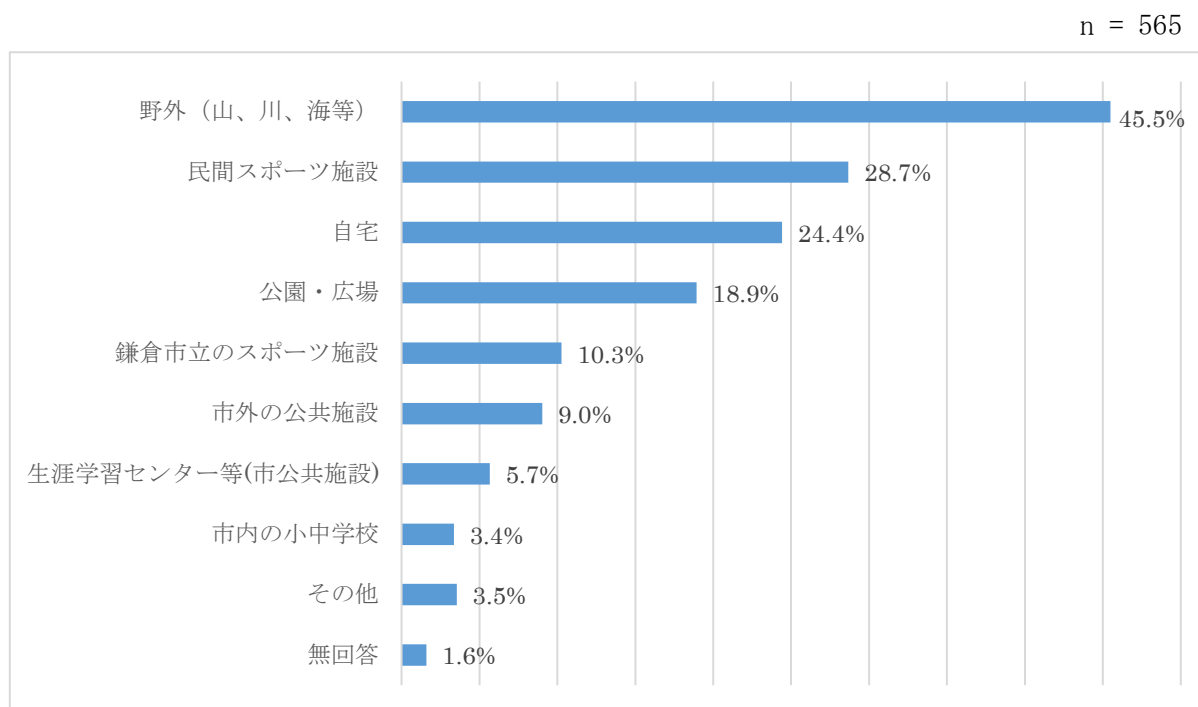
「30 歳代」、「40 歳代」は「家族」の割合が高くなっています。「70 歳代」、「80 歳代以上」は「クラブ・サークル」の割合が高くなっています。

問6—8 あなたは主にどのようなところで運動・スポーツを行いましたか。(複数回答可)

「野外（山、川、海等）」（街路等を含む）が 45.5%と最も多く、次いで「民間スポーツ施設」が 28.7%、「自宅」が 24.4%となっています。

市の施設では、「公園・広場」18.9%、「鎌倉市立のスポーツ施設」10.3%、「生涯学習センター等の鎌倉市の公共施設」5.7%、「市内の小中学校」3.4%の順となっています。

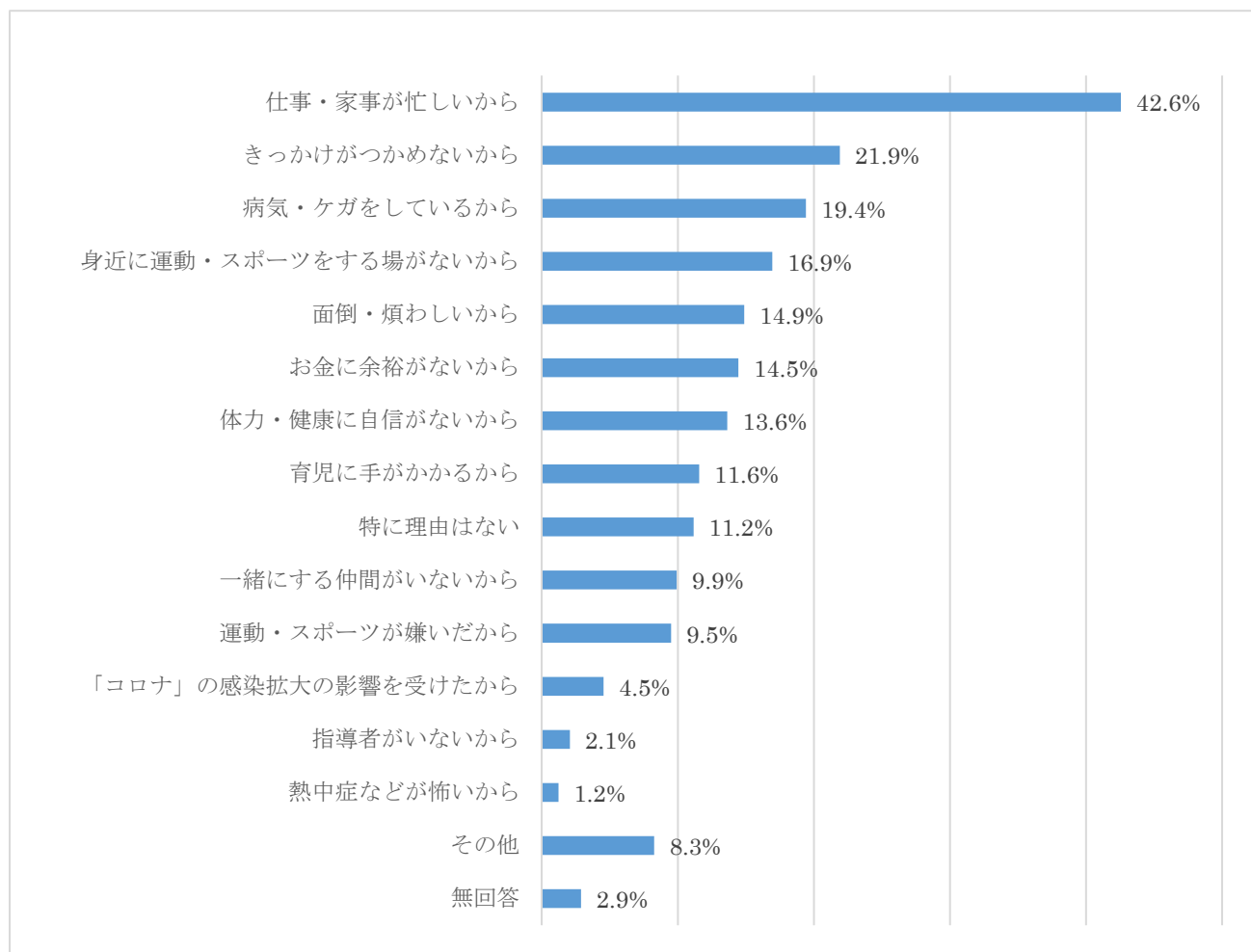
なお、スポーツ・運動に際して、上記の市の施設のいずれかを利用した人の割合は、33.5%となっています。



問7 あなたが、運動・スポーツを行わなかった理由は何ですか。(複数回答可)

「仕事・家事が忙しいから」が42.6%と最も高く、次いで「きっかけがつかめないから」が21.9%、「病気・ケガをしているから」が19.4%となっています。

n=242



運動・スポーツを行わなかった理由の中で、「身近に運動・スポーツをする場がないから」を選んだ方の地区別の傾向は、鎌倉地区にお住まいの方で17.6%、腰越地区は25.9%、深沢地区は13.5%、大船地区は12.1%、玉縄地区は19.4%となっています。

【性別・年代別】

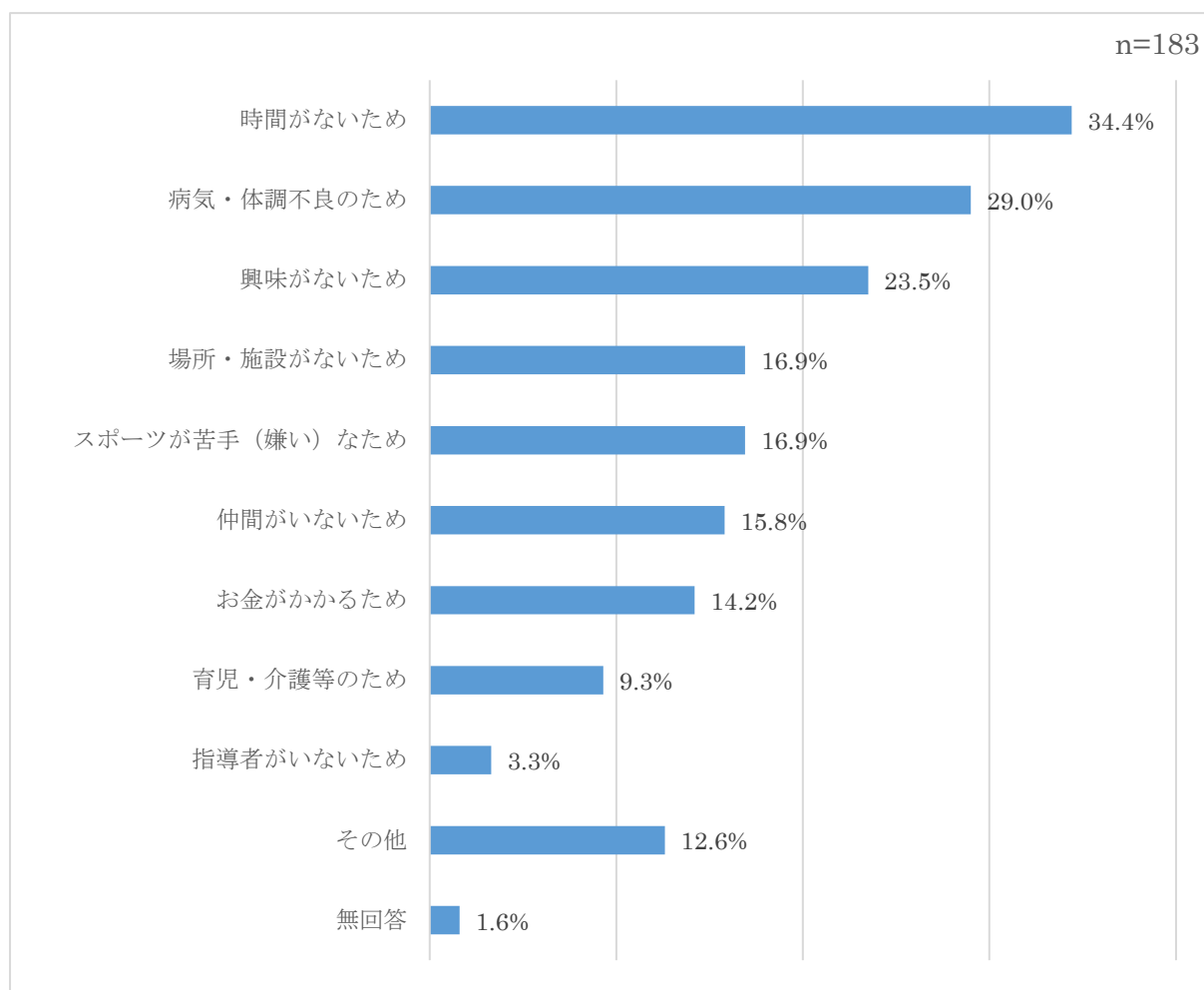
	男性	女性	無回答	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
	n=96	n=142	n=4	n=4	n=11	n=29	n=28	n=42	n=34	n=48	n=46
仕事・家事	37.5%	45.8%	50.0%	25.0%	45.5%	93.1%	60.7%	57.1%	35.3%	27.1%	8.7%
育児	4.2%	16.2%	25.0%	0.0%	9.1%	62.1%	25.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
病気・ケガ	18.8%	19.7%	0.0%	0.0%	18.2%	3.4%	3.6%	14.3%	29.4%	20.8%	37.0%
体力・健康	11.5%	15.5%	0.0%	0.0%	9.1%	10.3%	14.3%	14.3%	17.6%	12.5%	15.2%
きっかけ	21.9%	22.5%	0.0%	25.0%	9.1%	20.7%	21.4%	35.7%	26.5%	16.7%	15.2%
身近に場がない	12.5%	19.7%	25.0%	25.0%	27.3%	6.9%	14.3%	28.6%	17.6%	10.4%	17.4%
一緒にする仲間	11.5%	8.5%	25.0%	25.0%	27.3%	6.9%	14.3%	9.5%	5.9%	12.5%	4.3%
指導者がいない	3.1%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	6.5%
お金に余裕がない	10.4%	17.6%	0.0%	0.0%	27.3%	13.8%	28.6%	23.8%	8.8%	6.3%	8.7%
運動・スポーツが嫌い	7.3%	9.9%	25.0%	50.0%	18.2%	24.1%	7.1%	11.9%	5.9%	2.1%	4.3%
面倒・煩わしい	16.7%	14.1%	0.0%	25.0%	27.3%	27.6%	14.3%	19.0%	5.9%	12.5%	8.7%
コロナの影響	5.2%	4.2%	0.0%	0.0%	9.1%	3.4%	3.6%	9.5%	5.9%	2.1%	2.2%
熱中症など	1.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.9%	2.1%	0.0%
特に理由はない	13.5%	9.2%	25.0%	0.0%	0.0%	3.4%	14.3%	7.1%	11.8%	18.8%	13.0%
その他	6.3%	9.9%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	11.8%	10.4%	10.9%
無回答	4.2%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	6.3%	6.5%

「仕事・家事が忙しいから」「育児に手がかかるから」は、男性がそれぞれ 37.5%、4.2%に対して、女性は 45.8%、16.2%と割合が高く、結果に差があります。

年齢別では、「30 歳代」「40 歳代」「50 歳代」は、「仕事・家事が忙しい」の割合が高くなっています。

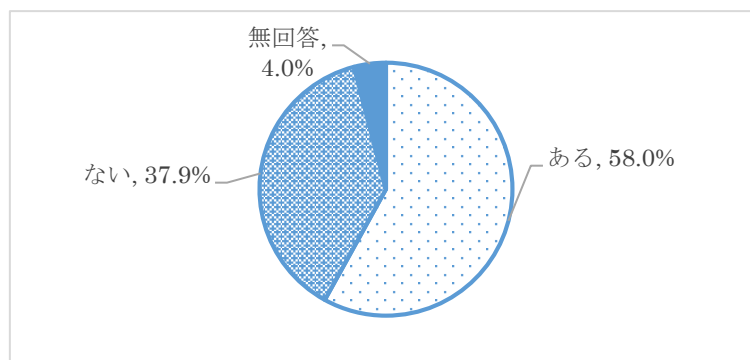
年齢層が上がるにつれ、「病気・ケガ」「体力・健康」を理由に運動・スポーツをやらない傾向が高くなることがうかがえます。

参考: 前回調査結果



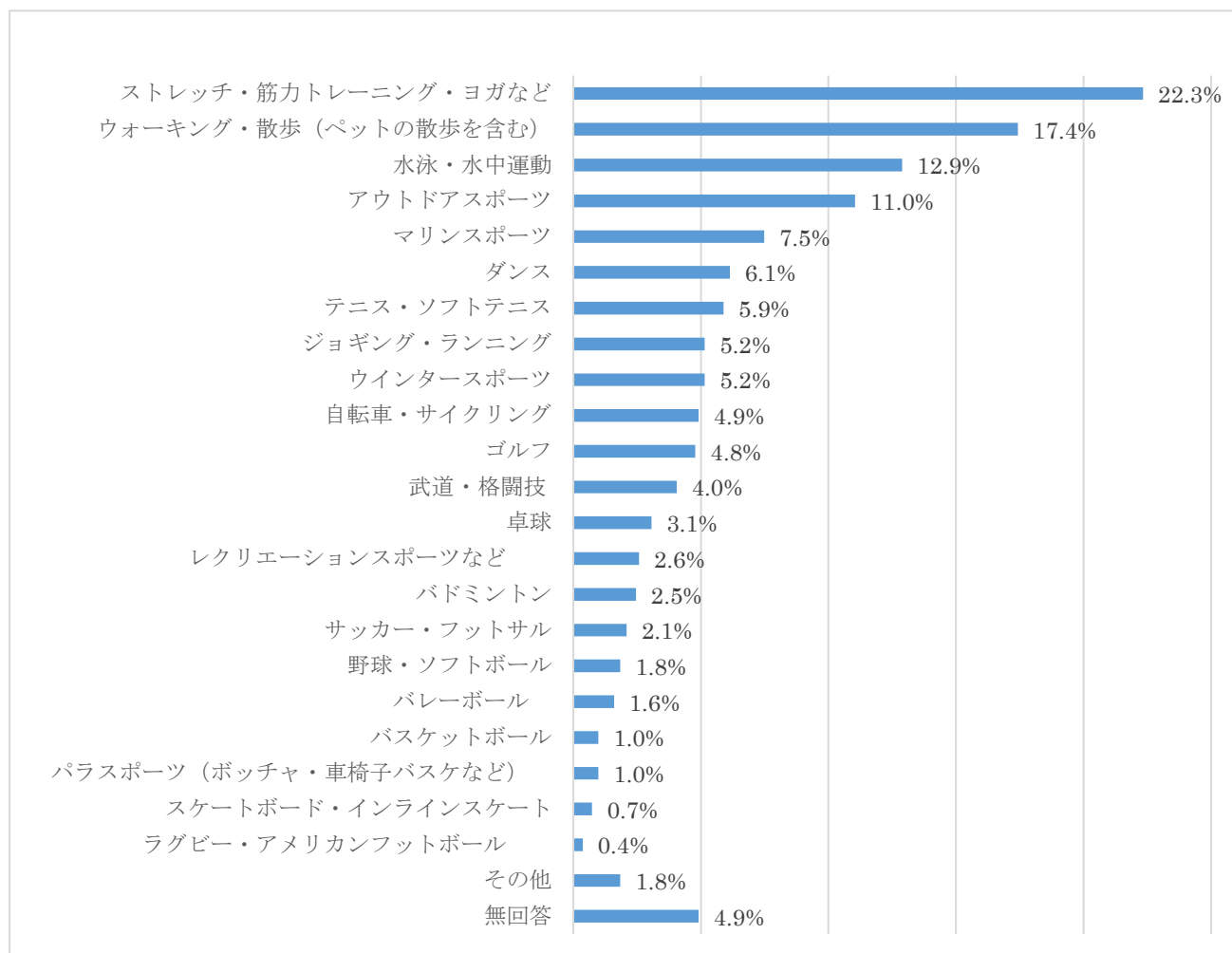
問8 今後行ってみたい運動・スポーツがありますか。

N=815



問8-1 あなたが今後行ってみたい運動・スポーツがあれば、次の中から当てはまるものを選んでください。(回答は3つまで)

n=815

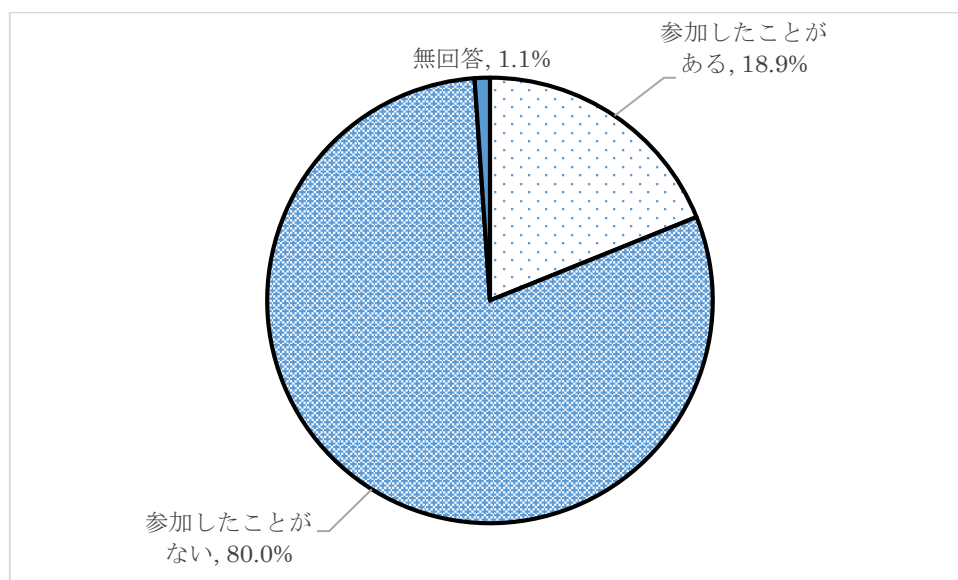


「ストレッチ・体操・筋力トレーニング・ヨガなど」が22.3%と最も高く、次いで「ウォーキング・散歩 (ペットの散歩を含む)」が17.4%、「水泳・水中運動」が12.9%と続いています。

スポーツとの関わり方について

問9 あなたは過去に、鎌倉市（鎌倉市スポーツ協会なども含む。）主催のスポーツ競技会、スポーツ教室などのスポーツイベントに参加したことはありますか。（n=815）

「参加したことがある」が18.9%、「参加したことがない」が80.0%となっています。前回調査では、「参加したことがある」人は26.4%であり、参加率が減少していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、一定の間、イベントなどの開催が行われていなかったことなどがその背景にあると考えられます。



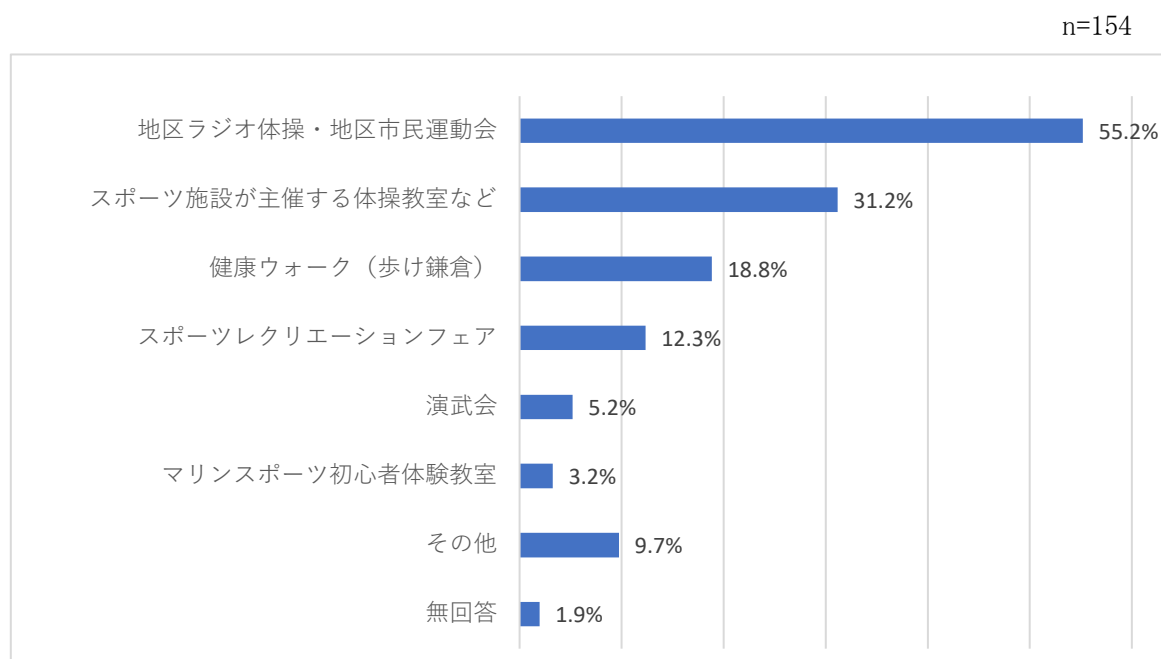
【性別・年代別】

性別では、「参加したことがある」女性は21.7%と、男性の15.7%を6%上回っています。

年代別では、「10 歳代」「20 歳代」と「70 歳代」「80 歳代以上」の参加率は高い一方、「30 歳代」～「50 歳代」の年齢層の参加率は低くなっています。

		参加したことがある	参加したことがない	無回答
男性	n=357	15.7%	83.5%	0.8%
女性	n=452	21.7%	77.0%	1.3%
10歳代	n=15	26.7%	73.3%	0.0%
20歳代	n=45	24.4%	75.6%	0.0%
30歳代	n=84	10.7%	89.3%	0.0%
40歳代	n=114	13.2%	86.8%	0.0%
50歳代	n=166	15.1%	84.9%	0.0%
60歳代	n=104	18.3%	80.8%	1.0%
70歳代	n=165	23.6%	74.5%	1.8%
80歳代以上	n=122	26.2%	69.7%	4.1%

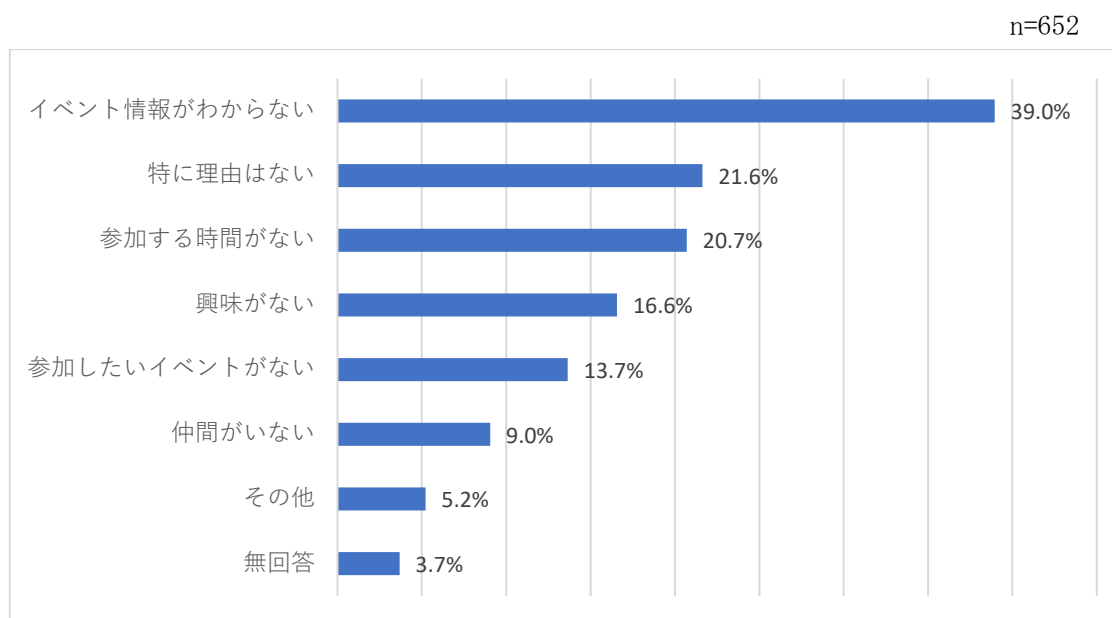
問9—1 あなたが参加したスポーツイベントは何ですか。(複数回答可)



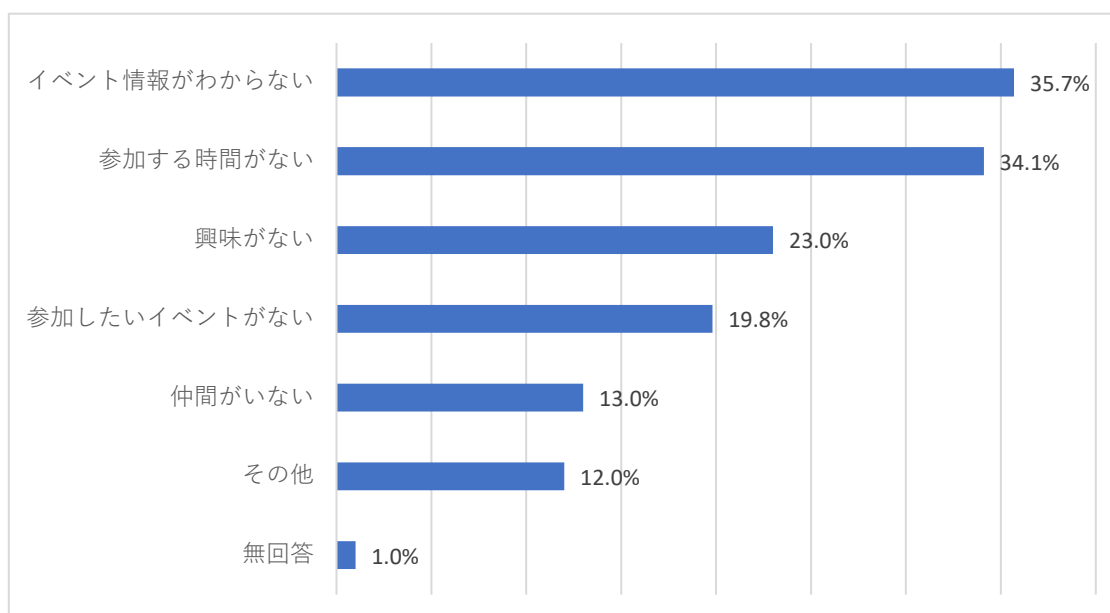
参加イベントでは、「地区ラジオ体操・地区市民運動会」が55.2%と最も高くなっています。

問9—2 参加をしない理由を教えてください。(複数回答可)

参加しない理由については、前回調査（平成 25 年 5 月）と同様、「イベント情報がわからないから」が 39.0%と最も高くなっています。



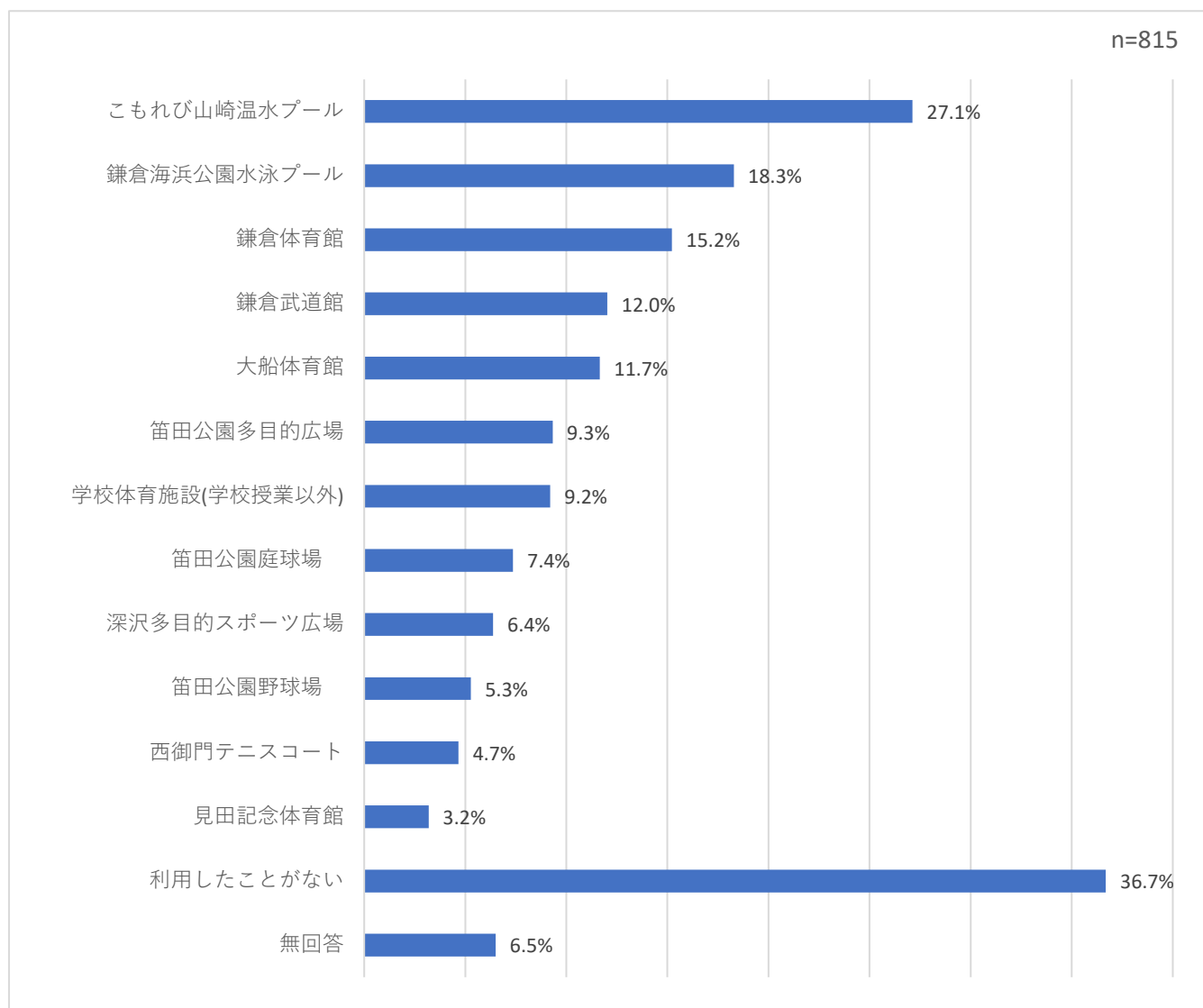
参考: 前回調査結果 (n=499)



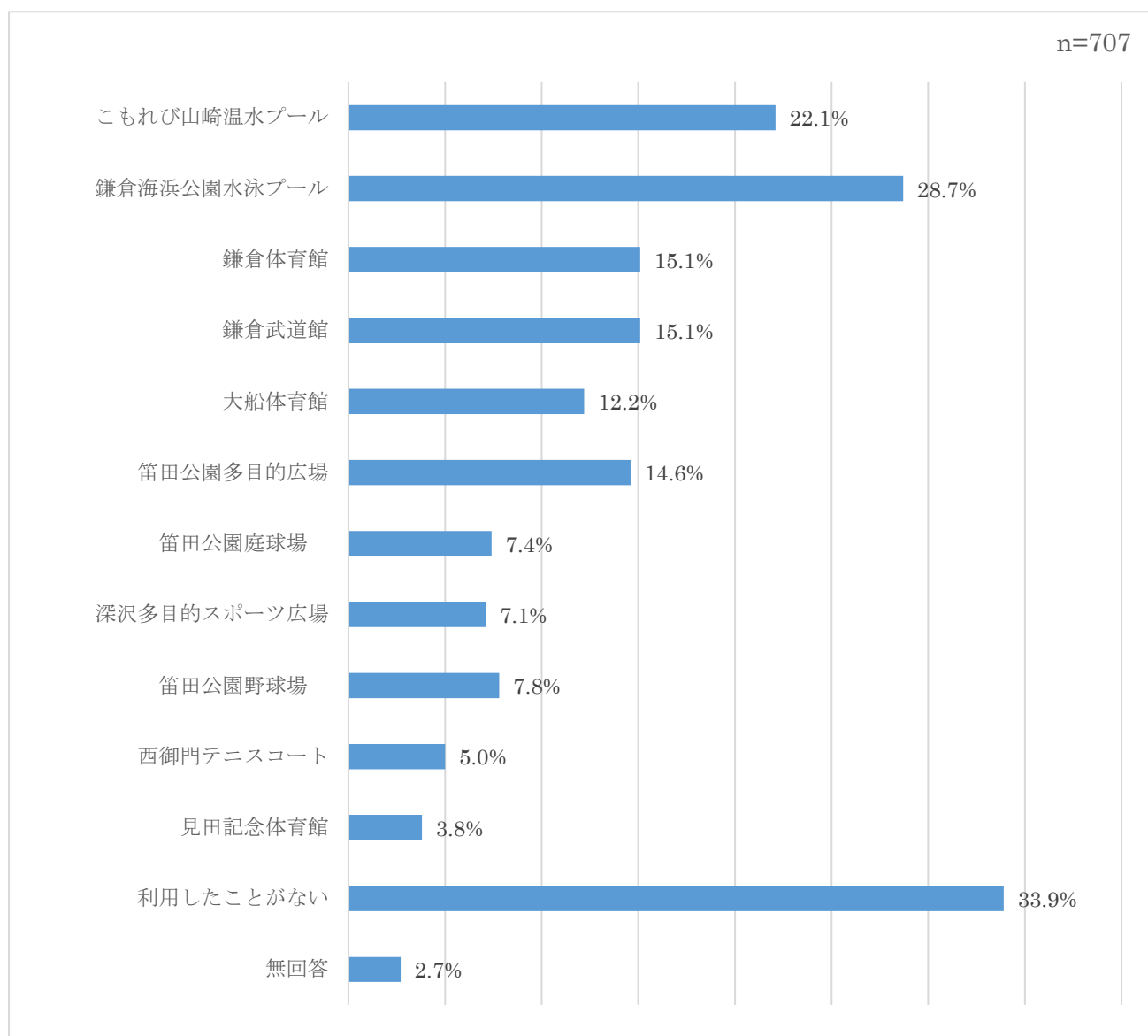
問10 あなたが過去にスポーツ利用をしたことがある施設を教えてください。(複数回答可)

「こもれび山崎温水プール」が27.1%で最も高くなっており、次いで「鎌倉海浜公園水泳プール」が18.3%、「鎌倉体育館」が15.2%と続いています。

なお、「利用したことがない」という回答が3分の1(36.7%)を超えており、前回調査(33.9%)よりも約3%高くなっています。

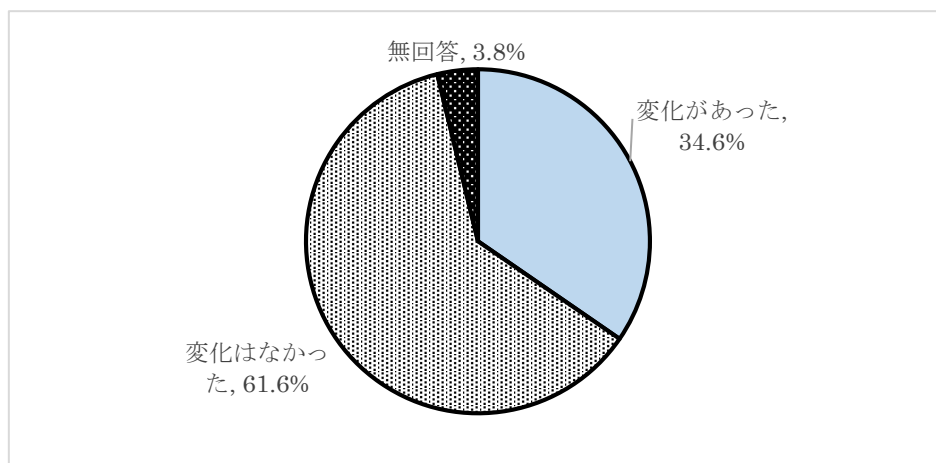


参考: 前回調査結果



問11 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、あなたの運動・スポーツ習慣の変化はありましたか。(n=815)

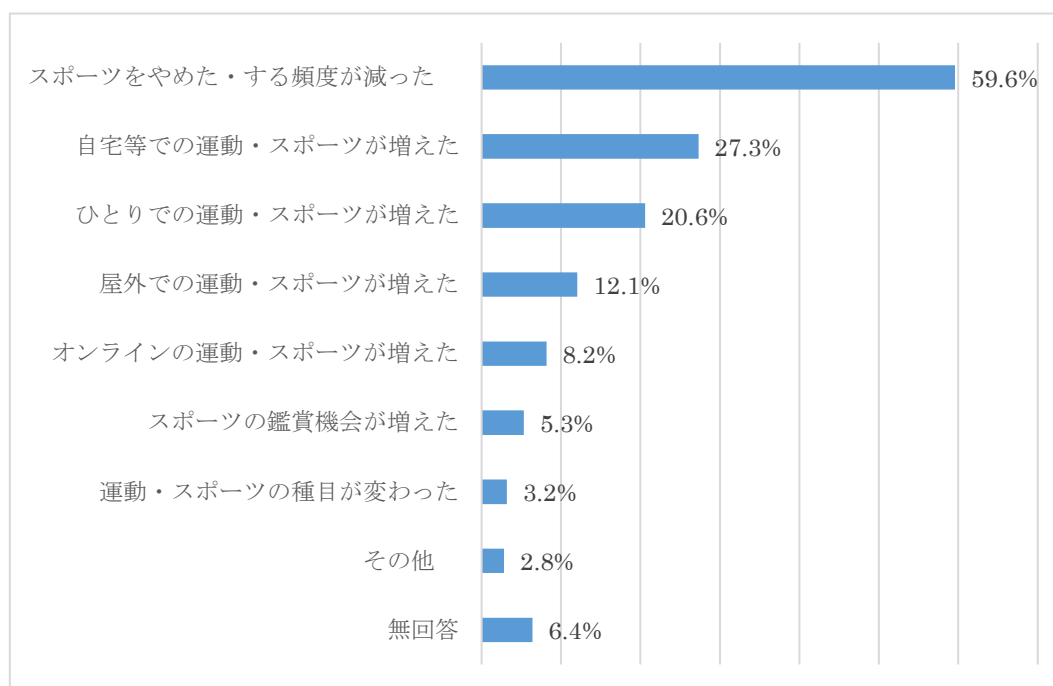
運動・スポーツ習慣の変化は、「変化があった」が 34.6%、「変化はなかった」が 61.6%となっています。



問11-1 具体的にどのような変化がありましたか。(複数回答可)

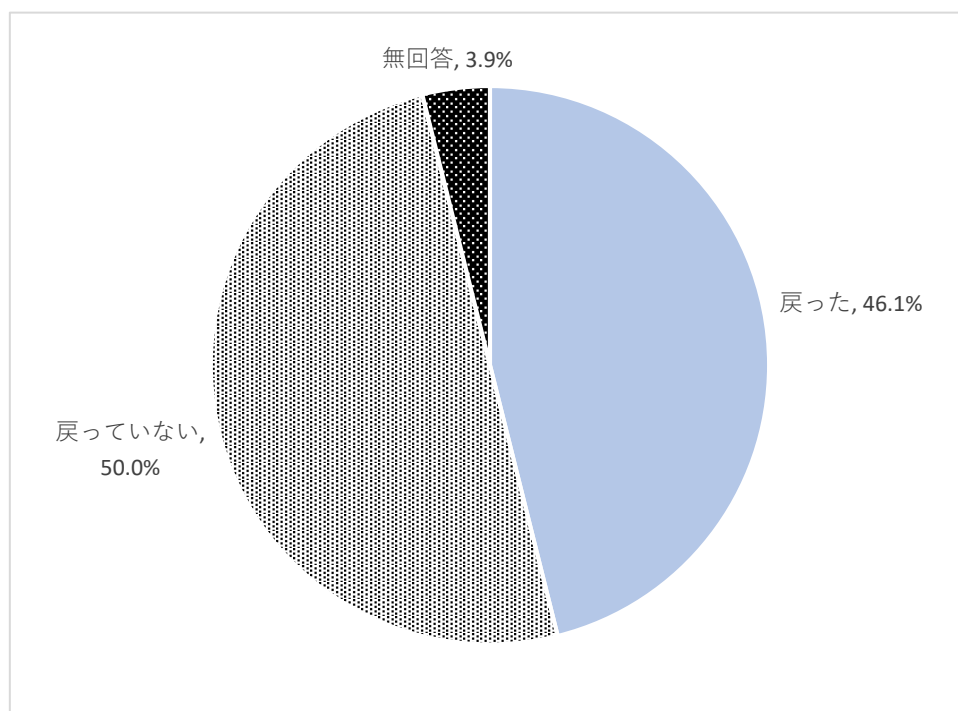
「それまで実施していたスポーツをやめた・する頻度が減った」が 59.6%と最も高く、次いで「自宅等で運動・スポーツをすることが増えた」が 27.3%、「ひとりで運動・スポーツをすることが増えた」が 20.6%となっています。

n = 282



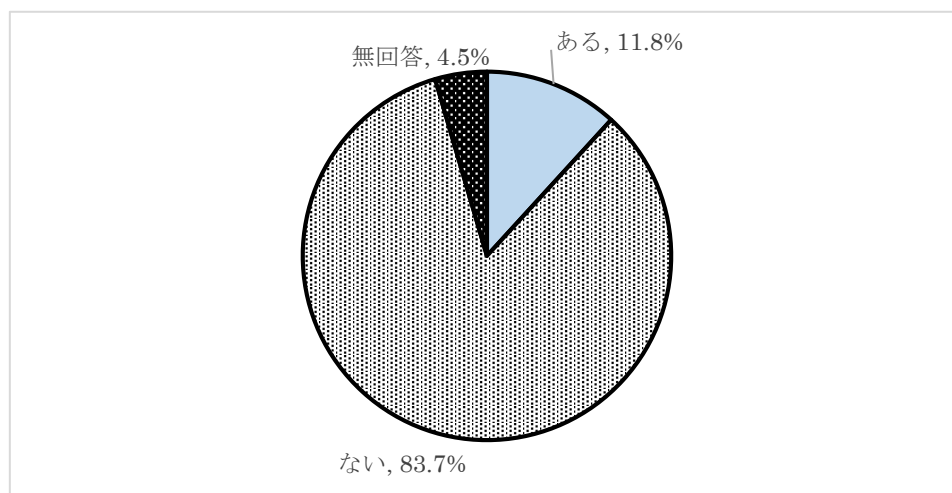
問11—2 新型コロナ感染症の5類感染移行後、あなたの運動・スポーツ習慣はコロナ前の状況に戻っていますか。(n=282)

新型コロナ感染症の影響を受けて「運動・スポーツ習慣の変化があった」と回答した人の半数が、新型コロナ感染症の5類感染移行後も、運動・スポーツ習慣がコロナ前の状況には「戻っていない」と回答しています。



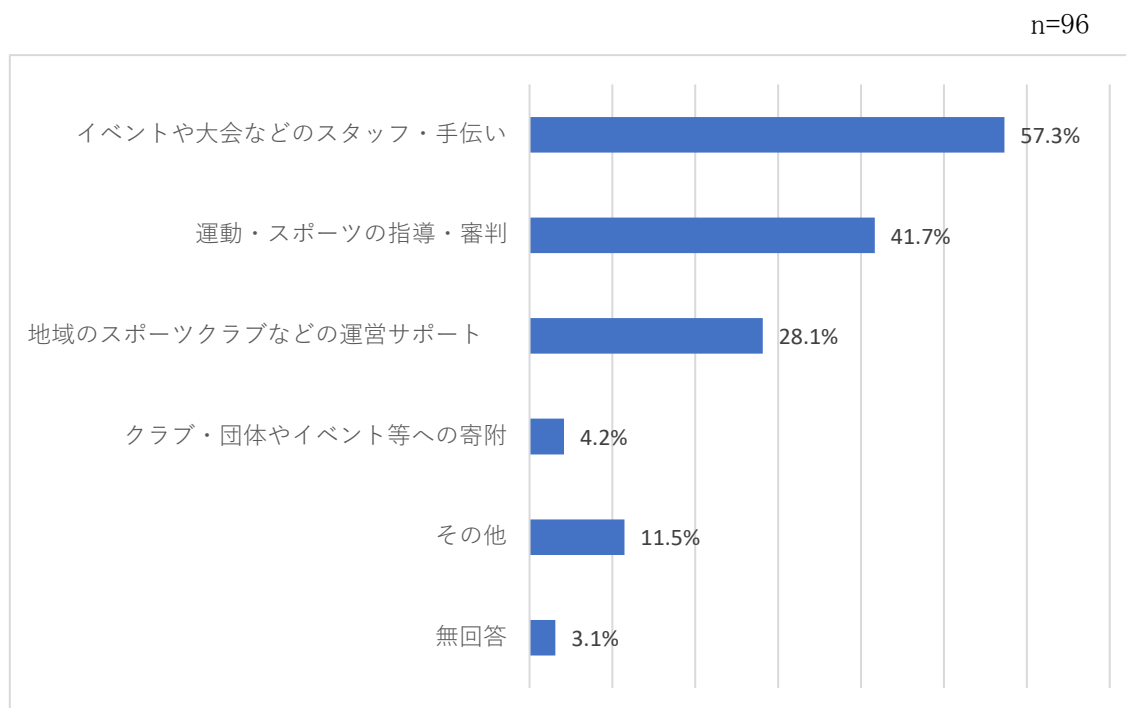
問12 あなたは、これまでスポーツに関する指導や協力、大会運営などスポーツボランティア活動を行ったことがありますか。(n=815)

スポーツボランティア活動については、「ない」が83.7%と8割を超えています。



問12—1 問12で「ある」と回答した方について、主にどのような活動ですか。(複数回答可)

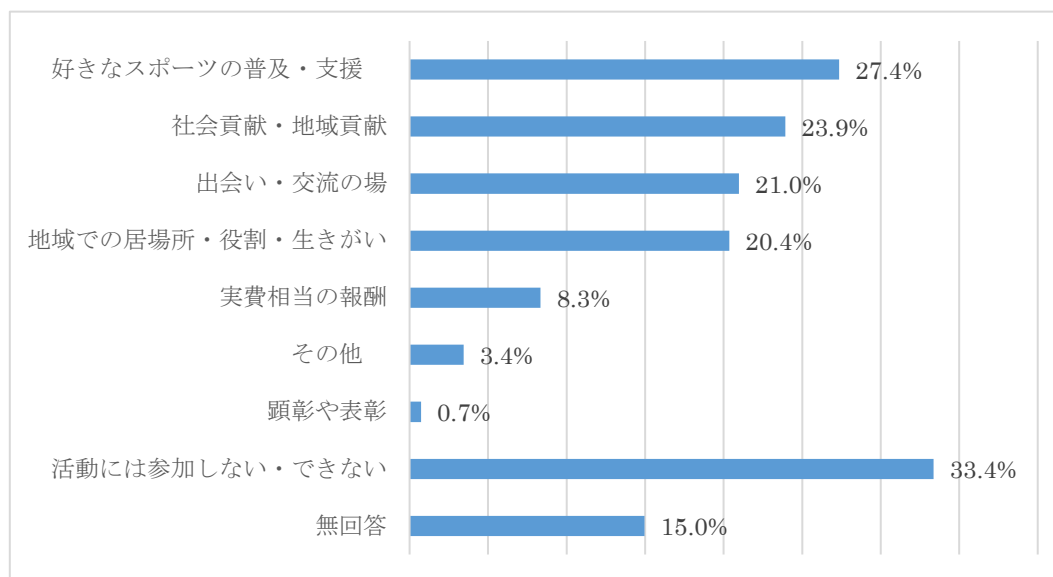
「イベントや大会などのスタッフ・手伝い」が57.3%と最も高く、次いで「運動・スポーツの指導・審判」41.7%となっています。



問13 あなたは、今後どのようなきっかけや動機づけがあれば、スポーツに関するボランティア活動に参加又は継続すると思いますか。(複数回答可)

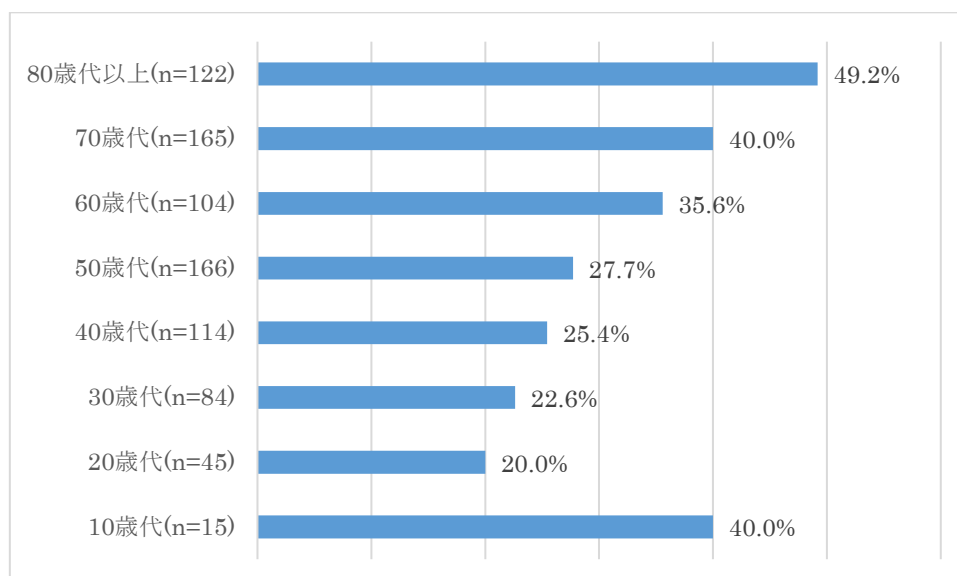
「好きなスポーツの普及・支援」が27.4%と最も高く、次いで「社会貢献・地域貢献」が23.9%、「出会い・交流の場」が21.0%となっています。
一方で、「活動には参加しない・できない」は33.4%と、3分の1を超えています。

n = 815



【年代別】

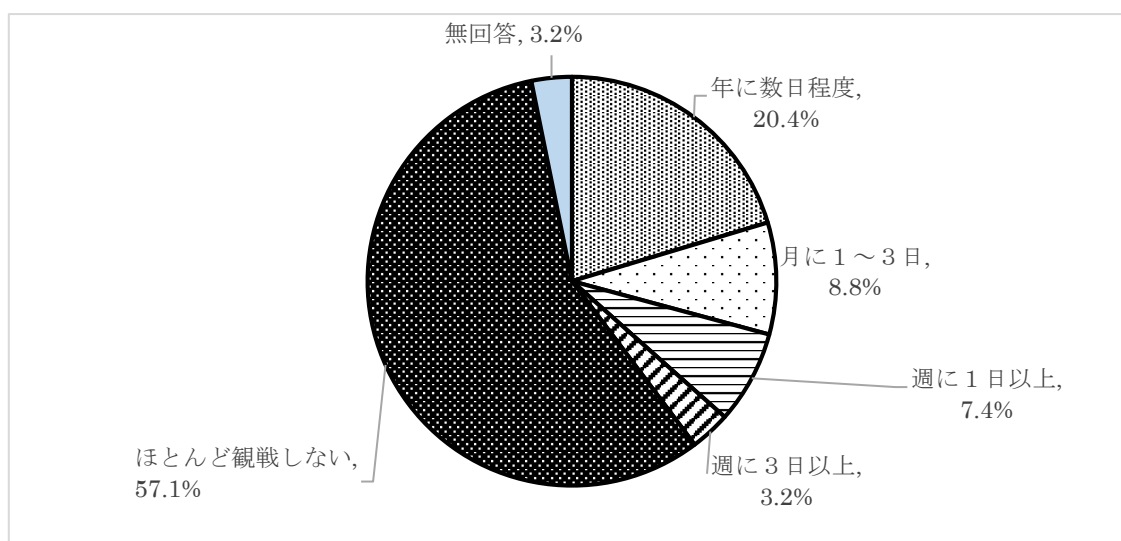
年代別では、10歳代を除き、年齢層が上がるにつれ「参加しない・できない」とする回答率が増えています。



「みる」スポーツについて

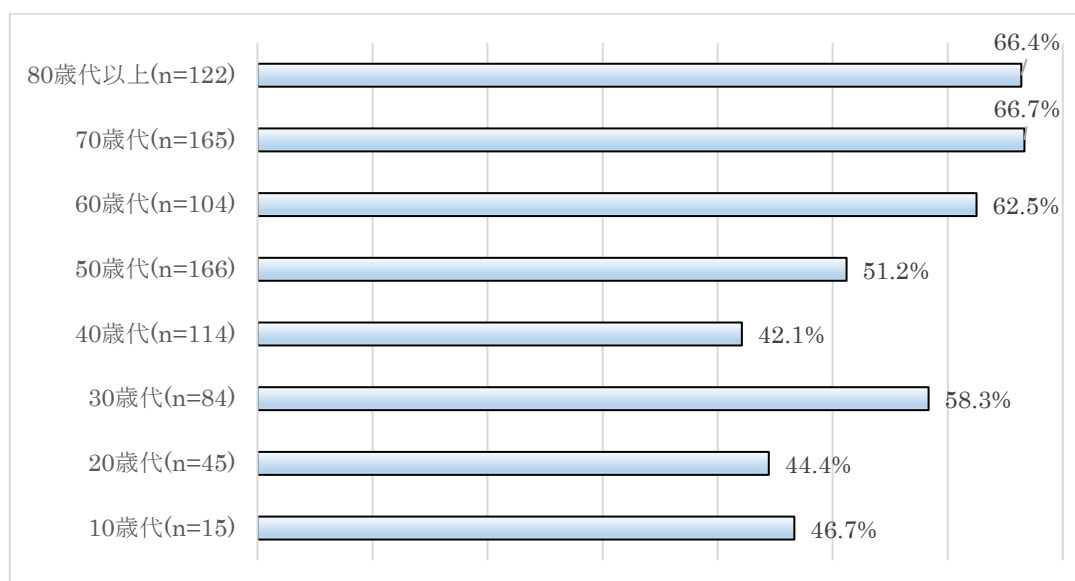
問 1 4 あなたは、スポーツ観戦（試合・競技会・練習など。テレビでの観戦は除く。）をどの程度していますか。（n=815）

スポーツ観戦の頻度（テレビ観戦を除く）では、「ほとんど観戦しない」が 57.1%と 6 割近くを占めており、次いで「年に数日程度」が 20.4%、「月に 1～3 日」が 8.8%と続いています。



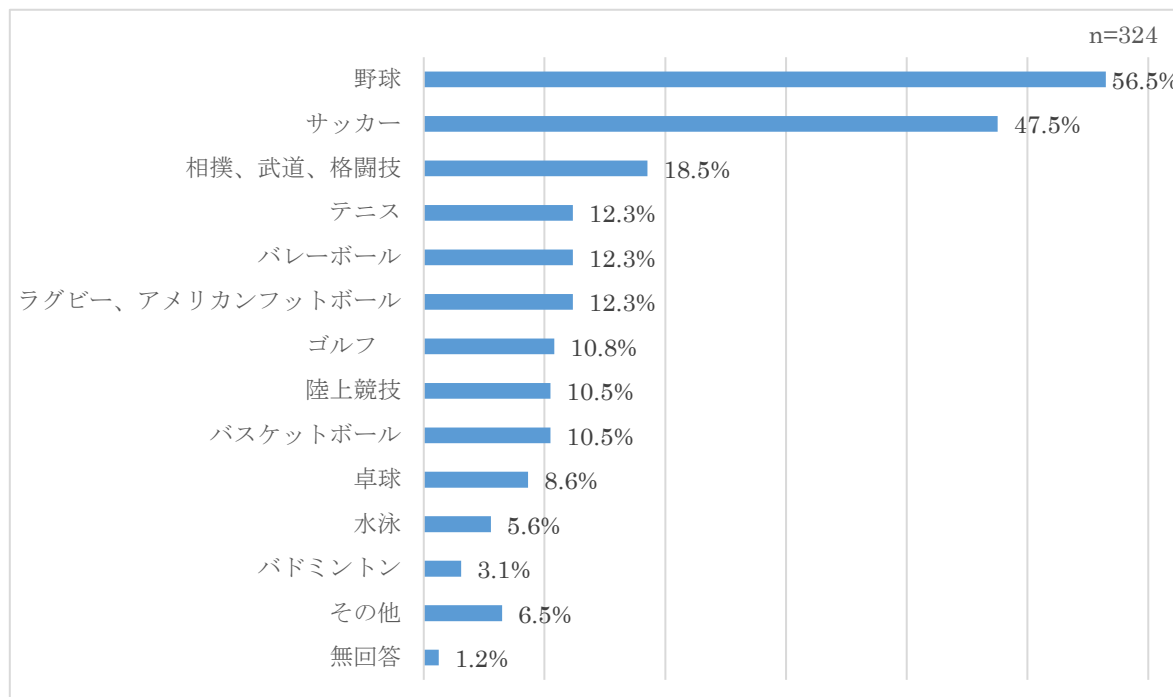
【年代別】

年代別では、60 歳代以上のうち、6 割以上の方が「ほとんど観戦しない」と回答しています。



問14—1 よく観戦するスポーツは何ですか。(複数回答可)

観戦されているスポーツの種目については、「野球」が56.5%と最も高く、次いで「サッカー」が47.5%、「相撲・武道・格闘技」が18.5%と続いています。

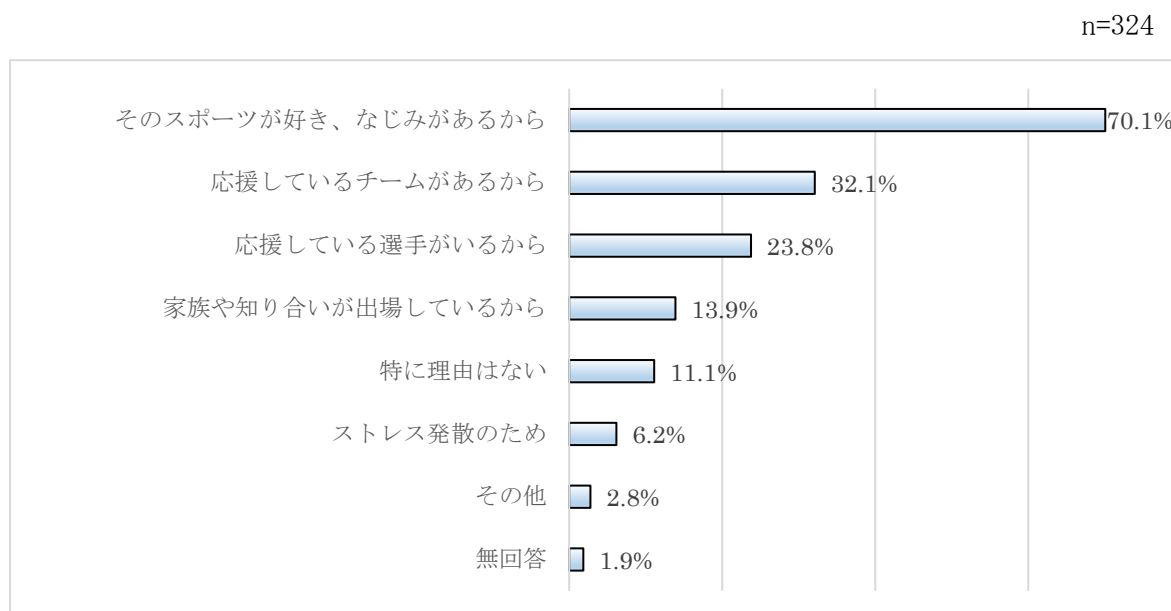


参考・【年代別】 上位6種目

		野球	サッカー	相撲、武道、格闘技	テニス	バレーボール	ラグビー、アメリカンフットボール
10歳代	n=8	37.5%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
20歳代	n=25	56.0%	28.0%	0.0%	16.0%	16.0%	8.0%
30歳代	n=33	51.5%	60.6%	9.1%	6.1%	12.1%	12.1%
40歳代	n=65	53.8%	50.8%	13.8%	10.8%	10.8%	10.8%
50歳代	n=81	56.8%	51.9%	14.8%	7.4%	9.9%	12.3%
60歳代	n=37	56.8%	45.9%	27.0%	5.4%	13.5%	13.5%
70歳代	n=48	62.5%	33.3%	27.1%	20.8%	14.6%	14.6%
80歳代以上	n=27	63.0%	55.6%	48.1%	25.9%	18.5%	18.5%

問14—2 スポーツ観戦をする理由・目的は何ですか。(複数回答可)

「そのスポーツが好き、なじみがあるから」が70.1%と最も多く、次いで「応援しているチームがあるから」が32.1%、「応援している選手がいるから」が23.8%となっています。

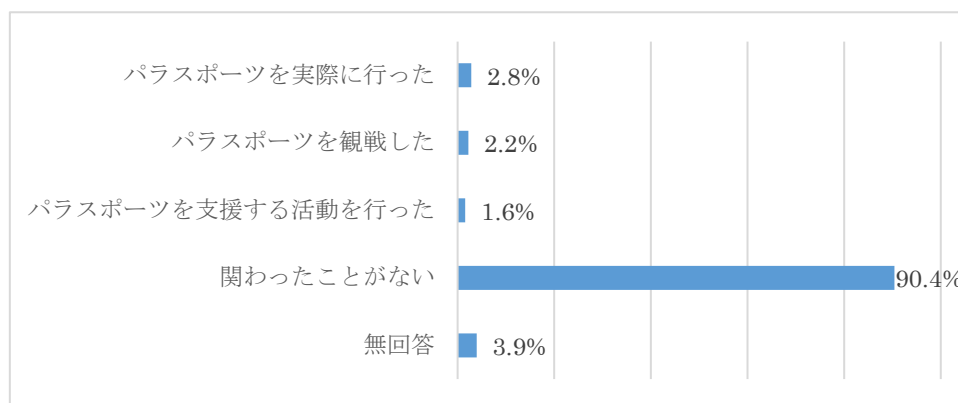


パラスポーツについて

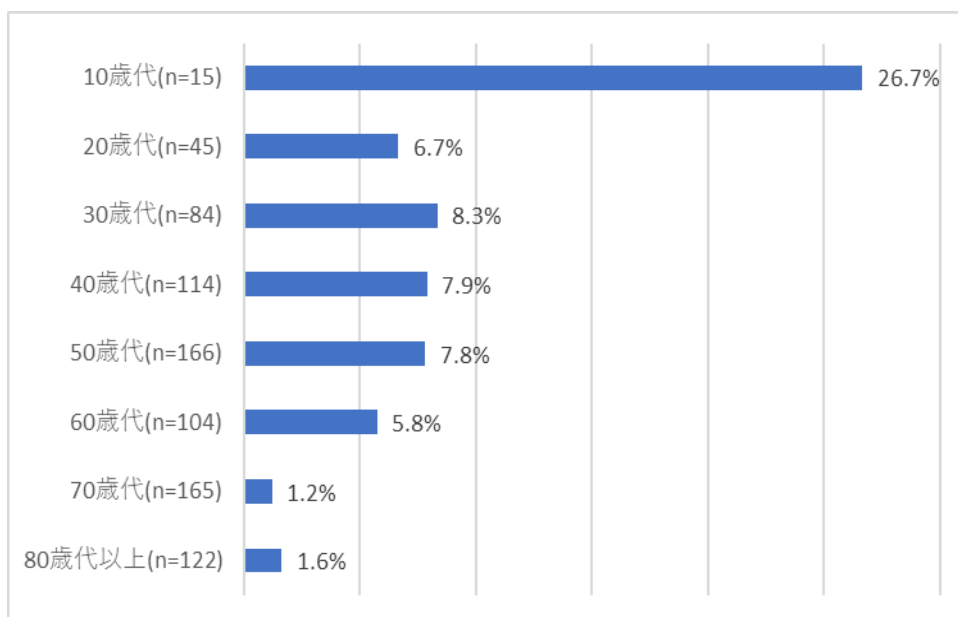
問 1 5 あなたはパラスポーツに関わったことがありますか。(複数回答可)

「関わったことがない」が 90.4%と最も多く、「パラスポーツを実際に行った」、「パラスポーツを観戦した」、「パラスポーツを支援する活動を行った」は、いずれも 3%を下回っている状況である。

n = 815

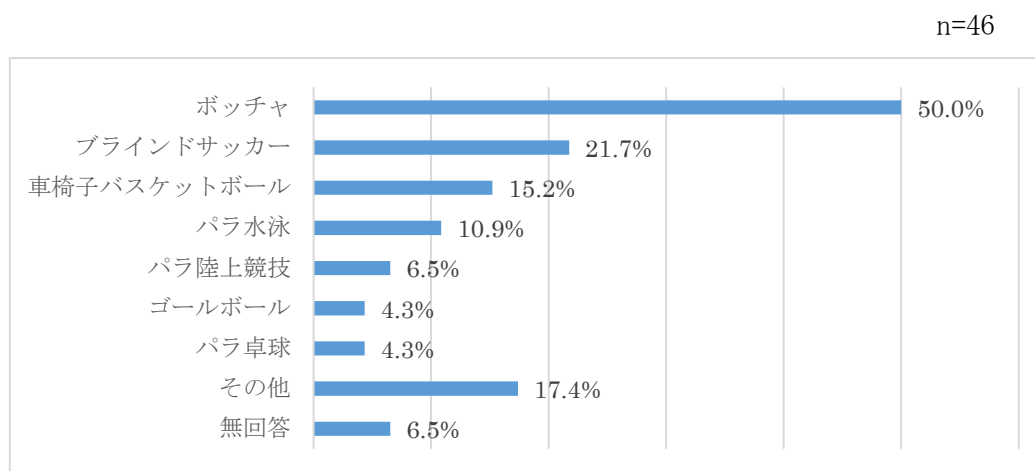


「パラスポーツに関わったことがある」と回答した方の、年齢別回答状況は次のとおりですが、10歳代の回答率が、すべての年齢層の中で突出して高くなっています。



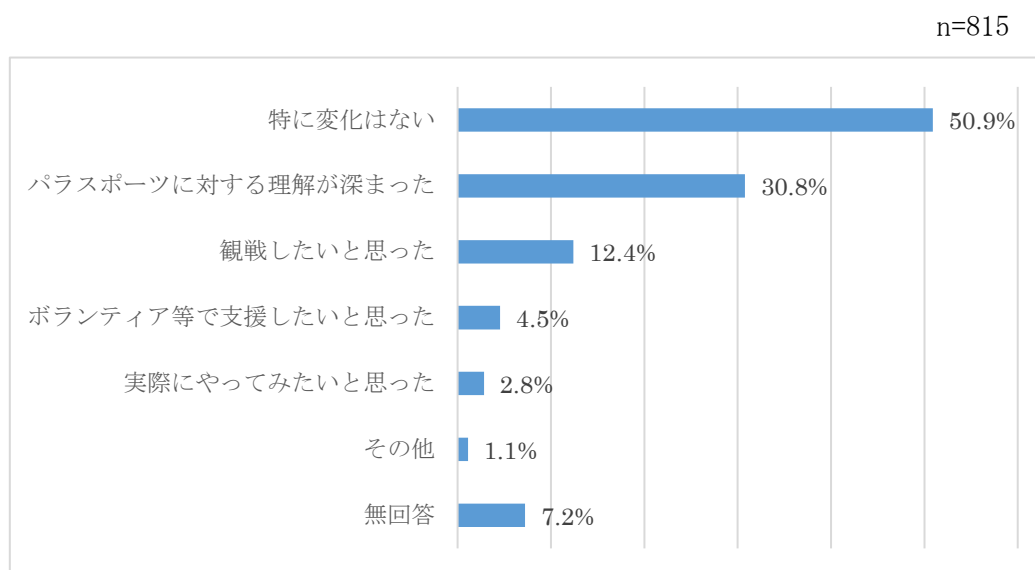
問15—1 問15で「関わったことがない」以外を選ばれた方について、
どのような競技に関わりましたか。（複数回答可）

「ボッチャ」が50.0%と最も多く、次いで「ブラインドサッカー」が21.7%、「車椅子バスケットボール」が15.2%となっています。



問16 東京2020パラリンピック等をきっかけに、パラスポーツに対する関心の変化はありましたか。（複数回答可）

「特に変化はない」が50.9%と最も多く、次いで「パラスポーツに対する理解が深まった」が30.8%、「観戦したいと思った」が12.4%となっています。



【性別・年代別】

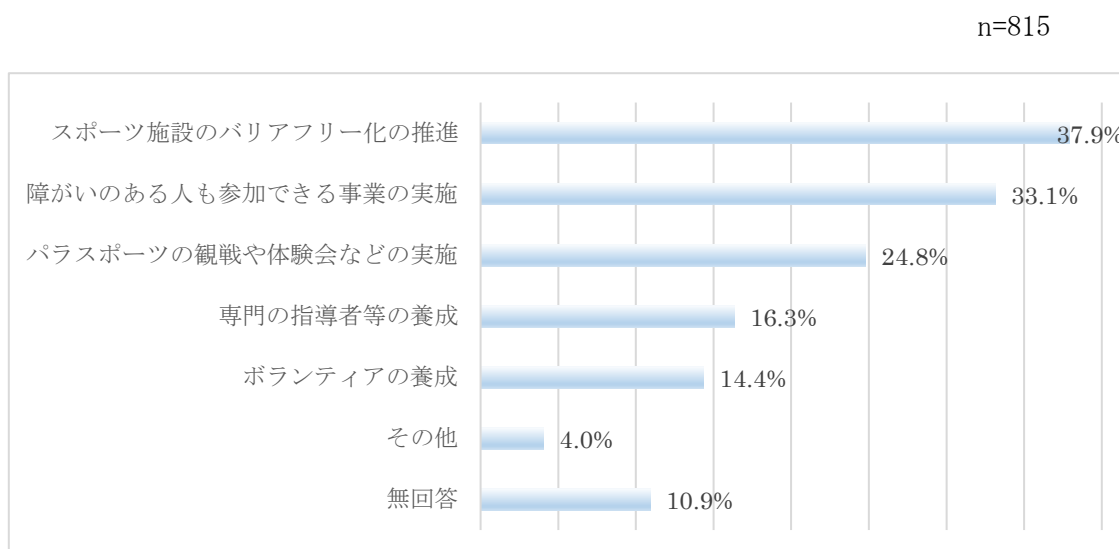
東京2020パラリンピック等をきっかけに、「パラスポーツに対する理解が深まった」との回答は男性よりも女性の方が多く、また、「実際にやってみたいと思った」、「観戦したいと思った」などの参加意欲も女性の方が男性よりも高い傾向がうかがえます。

年齢別では、40歳代以上の「パラスポーツに対する理解が深まった」が30%を超えています。

		実際にやって みたいと思っ た	観戦したいと 思った	ボランティア 等で支援した と思った	パラスポーツ に対する理解 が深まった	特に変化はな い	その他	無回答
男性	n=357	2.0%	10.9%	3.1%	26.3%	58.8%	0.8%	5.6%
女性	n=452	3.3%	13.5%	5.5%	34.5%	44.5%	1.3%	8.6%
10歳代	n=15	13.3%	13.3%	6.7%	13.3%	66.7%	0.0%	0.0%
20歳代	n=45	0.0%	11.1%	4.4%	24.4%	62.2%	0.0%	4.4%
30歳代	n=84	6.0%	14.3%	3.6%	17.9%	64.3%	1.2%	4.8%
40歳代	n=114	4.4%	15.8%	7.9%	30.7%	50.9%	0.9%	2.6%
50歳代	n=166	1.8%	11.4%	6.0%	35.5%	53.6%	0.0%	1.8%
60歳代	n=104	1.9%	12.5%	6.7%	32.7%	50.0%	4.8%	3.8%
70歳代	n=165	2.4%	12.1%	2.4%	35.2%	43.0%	0.0%	12.1%
80歳代以上	n=122	1.6%	9.8%	0.8%	30.3%	43.4%	1.6%	18.9%

問17 パラスポーツや障がいのある人の運動・スポーツの普及・振興のために最も必要なことは何だと思いますか。

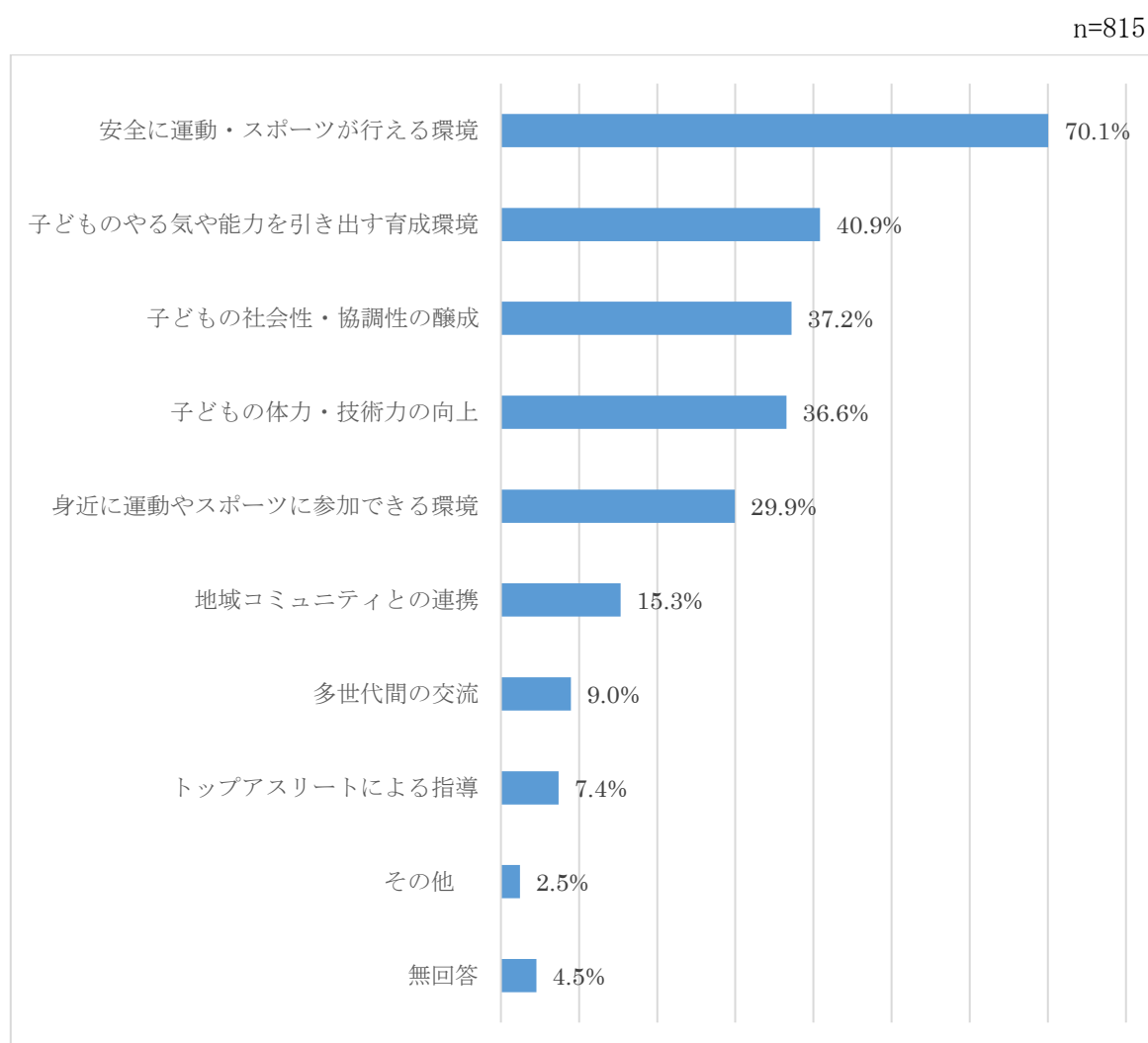
「スポーツ施設のバリアフリー化の推進」が37.9%と最も高く、次いで「障害のある人も参加できる事業の実施」が33.1%、「パラスポーツの観戦や体験会などの実施」が24.8%となっています。



子どもの運動・スポーツについて

問 18 子どもの運動・スポーツ環境にどのようなことを求めますか。(回答は3つまで)

「安全に運動・スポーツが行える環境」が70.1%と最も高く、次いで「子どものやる気や能力を引き出す育成環境」が40.9%、「子どもの社会性・協調性の醸成」が37.2%となっています。



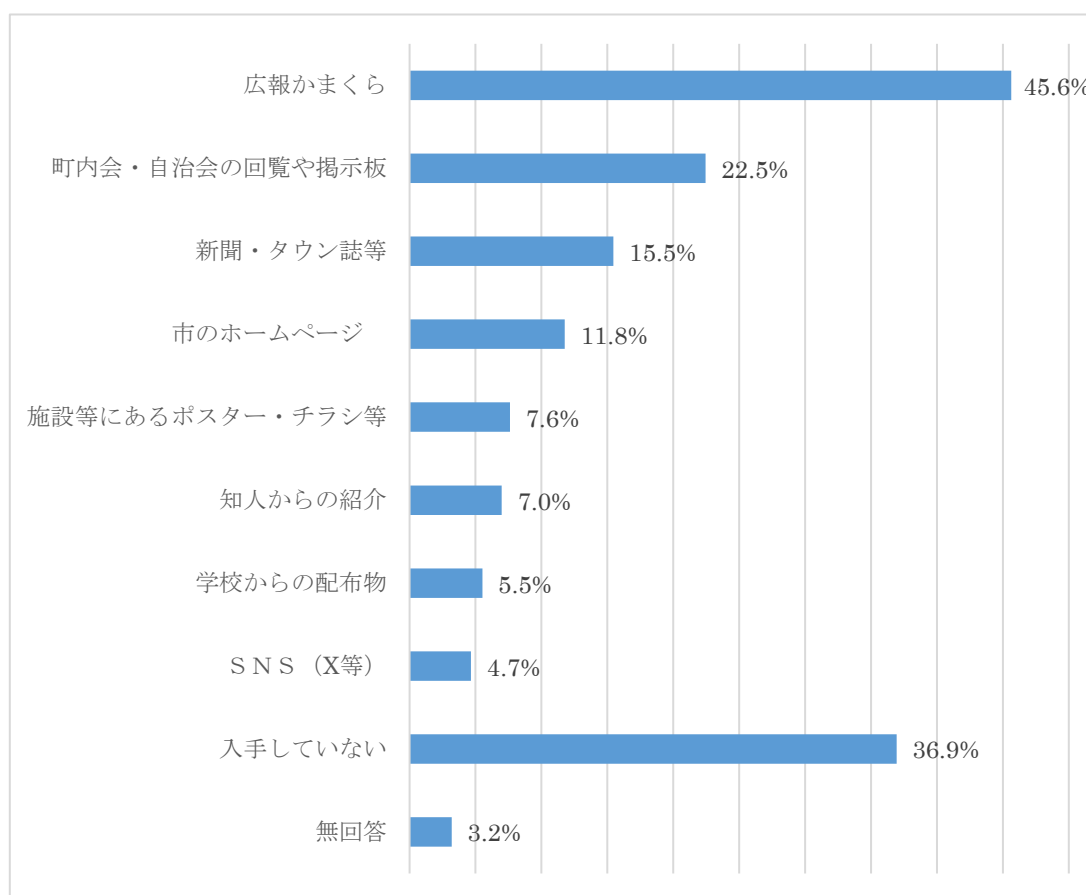
鎌倉市におけるスポーツの推進について

問 19 鎌倉市のスポーツ情報をどこから入手していますか。(回答は機会が多い上位3つまで)

「広報かまくら」が45.6%と最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧や掲示板」が22.5%、「新聞・タウン誌等」が15.5%と続いています。

一方で、3分の1以上の方が「入手していない」と回答しています。

n=815



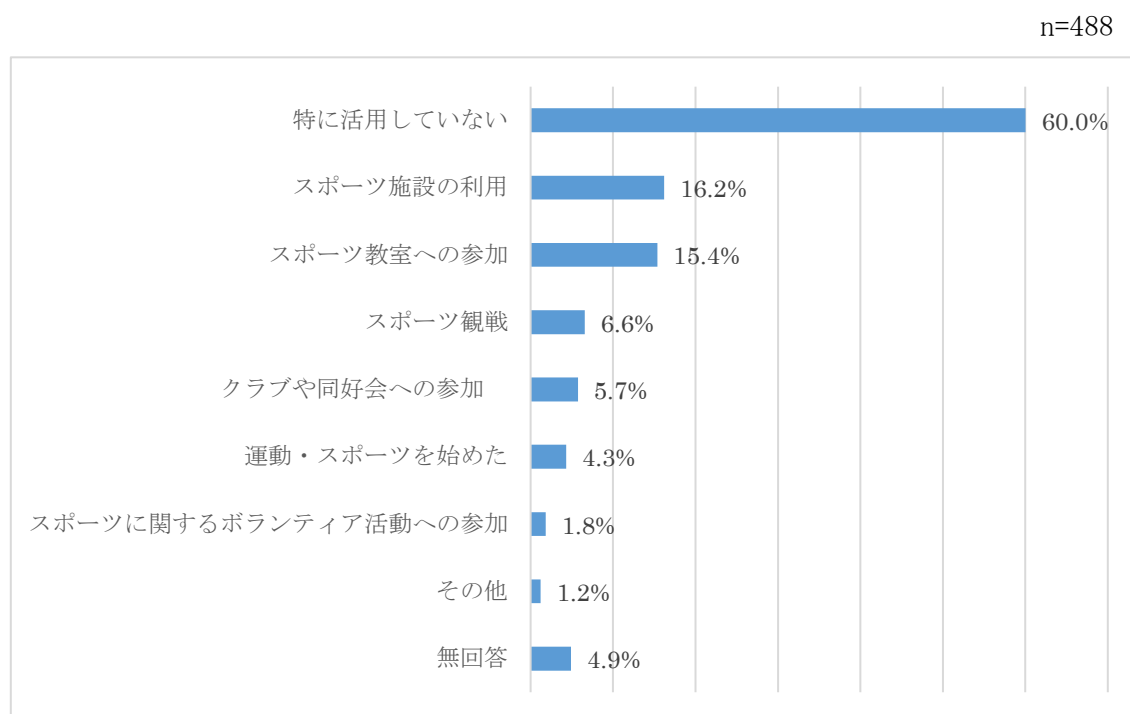
【性別・年代別】

年齢層が上がるにつれ、鎌倉市のスポーツ情報を「入手していない」という割合は低くなっていますが、30歳代以下では、半数を超える方が「入手していない」と回答しています。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
	n=15	n=45	n=84	n=114	n=166	n=104	n=165	n=122
市のホームページ	0.0%	4.4%	10.7%	6.1%	10.2%	14.4%	10.9%	23.0%
広報かまくら	13.3%	11.1%	23.8%	37.7%	46.4%	51.9%	60.6%	58.2%
新聞・タウン誌等	0.0%	2.2%	6.0%	11.4%	12.0%	20.2%	22.4%	23.8%
SNS(X等)	0.0%	2.2%	11.9%	9.6%	5.4%	5.8%	0.6%	0.0%
知人からの紹介	20.0%	8.9%	11.9%	11.4%	5.4%	2.9%	3.6%	7.4%
町内会・自治会の回覧や掲示板	13.3%	2.2%	13.1%	17.5%	22.3%	18.3%	29.1%	36.9%
学校からの配布物	13.3%	2.2%	9.5%	22.8%	4.2%	0.0%	0.6%	0.0%
施設等にあるポスター・チラシ等	0.0%	11.1%	7.1%	8.8%	7.8%	5.8%	10.3%	4.1%
入手していない	60.0%	64.4%	53.6%	41.2%	39.2%	35.6%	23.6%	24.6%
無回答	6.7%	4.4%	2.4%	1.8%	0.6%	2.9%	4.8%	5.7%

問19—1 入手したスポーツ情報をどのように活用しましたか。(複数回答可)

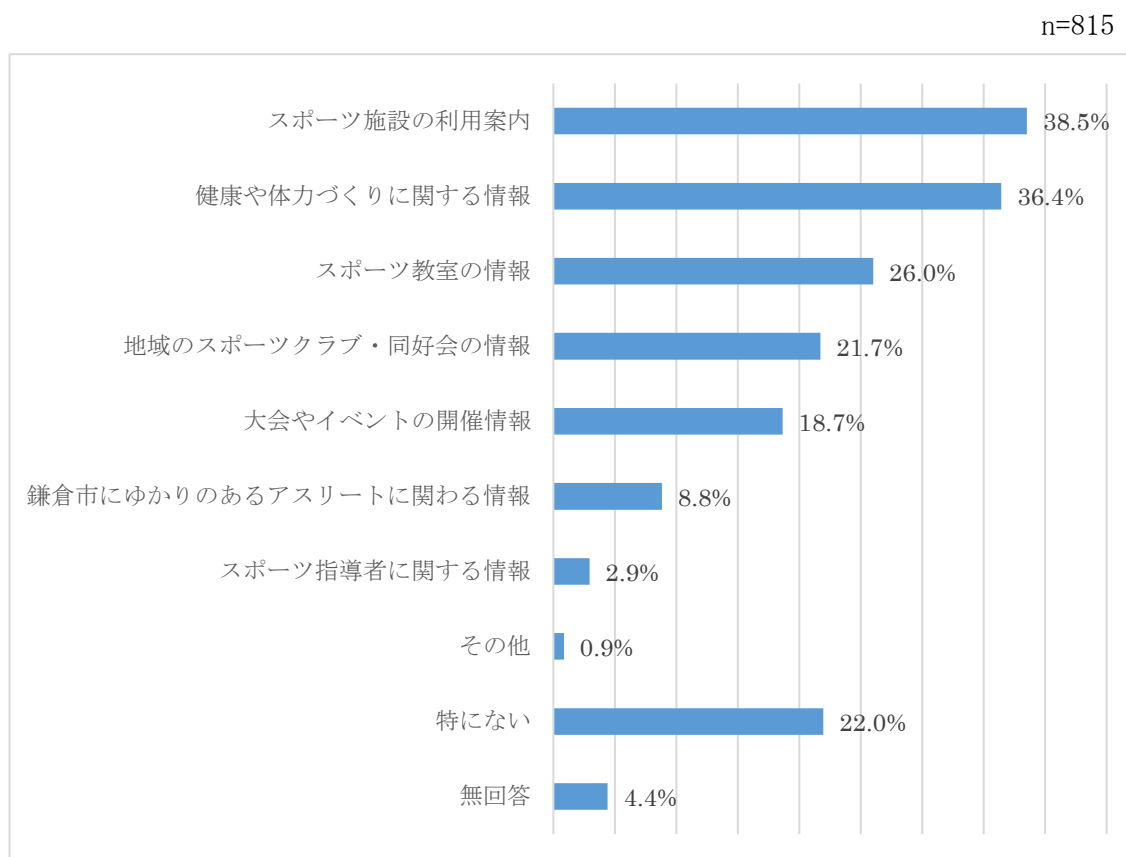
「特に活用していない」が60.0%と最も多く、活用としては「スポーツ施設の利用」16.2%、「スポーツ教室への参加」が15.4%と続いています。



問 2 0 鎌倉市のスポーツ情報について、どのような情報を知りたいですか。（回答は3つまで）

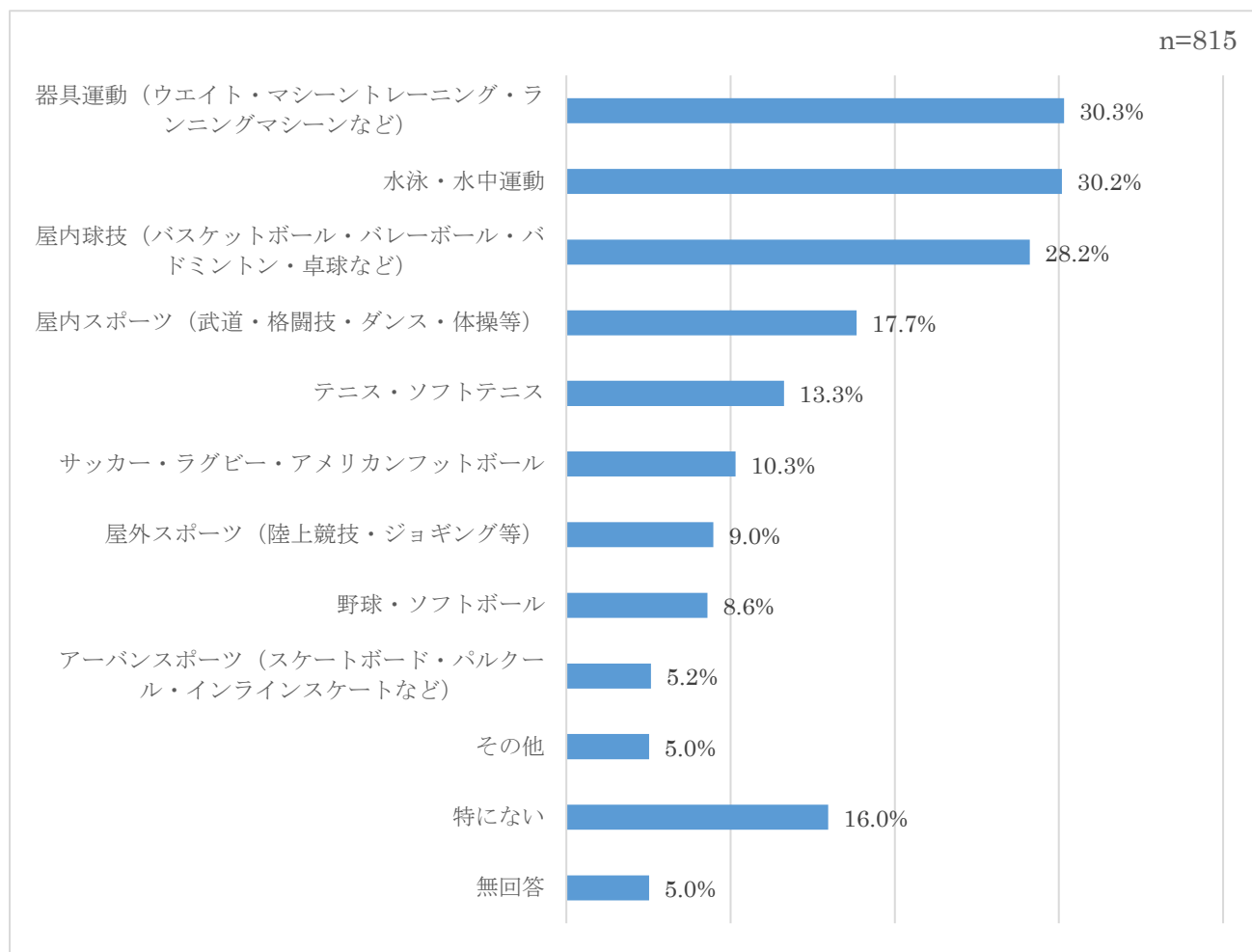
「スポーツ施設の利用案内」が 38.5%と最も多く、次いで「健康や体力づくりに関する情報」が 36.4%、「スポーツ教室の情報」が 26.0%と続いています。

「特にない」との回答は 22.0%となっています。



問 2 1 あなたは身近にどんな運動・スポーツができる場があればいいと思いますか。次の中から当てはまるものを選んでください。(回答は3つまで)

「器具運動（ウェイト・マシントレーニング・ランニングマシンなど）」が 30.3%と最も多く、次いで「水泳・水中運動」が 30.2%、「屋内球技（バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球など）」が 28.2%となっています。



【年代別】

年代別では、すべての年齢層において、「屋内球技（バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球など）」と「器具運動（ウエイト・マシントレーニング・ランニングマシンなど）」が15%を超えています。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
	n=15	n=45	n=84	n=114	n=166	n=104	n=165	n=122
屋内球技	60.0%	40.0%	47.6%	36.0%	28.3%	20.2%	20.0%	17.2%
サッカー・ラグビー等	40.0%	13.3%	17.9%	13.2%	14.5%	4.8%	4.2%	4.9%
野球・ソフトボール	6.7%	11.1%	10.7%	9.6%	12.7%	4.8%	3.6%	9.8%
テニス・ソフトテニス	46.7%	17.8%	19.0%	16.7%	12.0%	10.6%	9.1%	9.8%
水泳・水中運動	20.0%	33.3%	44.0%	36.0%	30.7%	32.7%	28.5%	14.8%
器具運動	20.0%	40.0%	31.0%	30.7%	41.6%	40.4%	21.2%	15.6%
屋内スポーツ	13.3%	15.6%	25.0%	20.2%	16.3%	19.2%	15.2%	16.4%
屋外スポーツ	6.7%	11.1%	7.1%	12.3%	10.8%	7.7%	7.9%	6.6%
アーバンスポーツ	6.7%	6.7%	9.5%	13.2%	7.2%	1.9%	0.0%	0.8%
その他	6.7%	6.7%	3.6%	7.9%	6.0%	4.8%	2.4%	4.1%
特にない	6.7%	4.4%	7.1%	7.0%	10.8%	17.3%	24.2%	30.3%
無回答	0.0%	2.2%	1.2%	0.9%	0.6%	5.8%	9.1%	13.1%

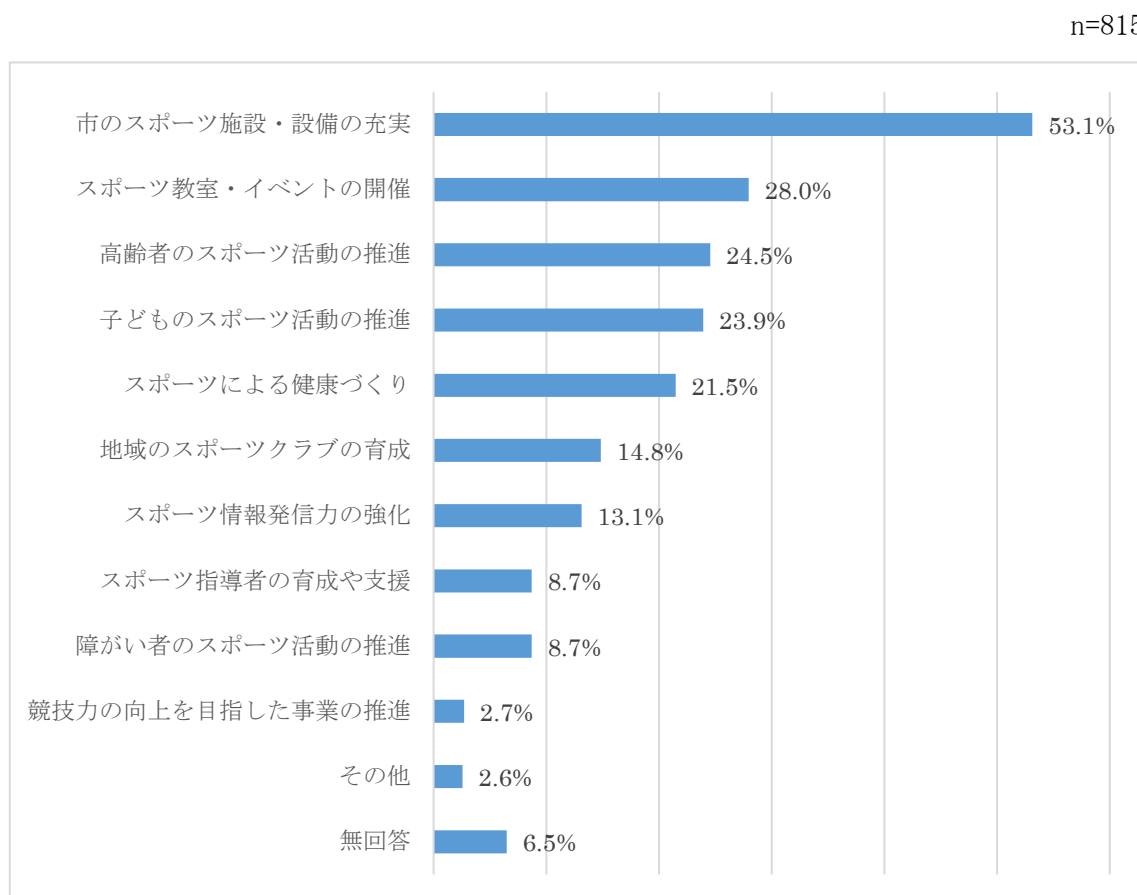
【地区別】

地区別で、それぞれ最も高い割合の「あればいいと思う運動・スポーツの場」は、鎌倉地区では「水泳・水中運動」、腰越地区は「器具運動」、深沢地区では「屋内球技」、大船地区では「屋内球技」、玉縄地区では「水泳・水中運動」となっています。

	鎌倉地区	腰越地区	深沢地区	大船地区	玉縄地区
	n=282	n=102	n=121	n=202	n=100
屋内球技	24.5%	32.4%	28.1%	33.7%	25.0%
サッカー・ラグビー等	7.1%	11.8%	14.0%	11.9%	10.0%
野球・ソフトボール	8.2%	7.8%	9.1%	10.4%	6.0%
テニス・ソフトテニス	11.3%	15.7%	9.1%	13.4%	21.0%
水泳・水中運動	35.1%	27.5%	26.4%	24.8%	32.0%
器具運動	30.5%	34.3%	21.5%	33.2%	31.0%
屋内スポーツ	16.3%	18.6%	13.2%	21.8%	17.0%
屋外スポーツ	10.6%	7.8%	7.4%	8.4%	9.0%
アーバンスポーツ	4.6%	8.8%	3.3%	5.9%	4.0%
その他	3.9%	4.9%	4.1%	6.4%	5.0%
特にない	17.0%	13.7%	21.5%	13.9%	13.0%
無回答	4.6%	2.0%	5.8%	5.0%	9.0%

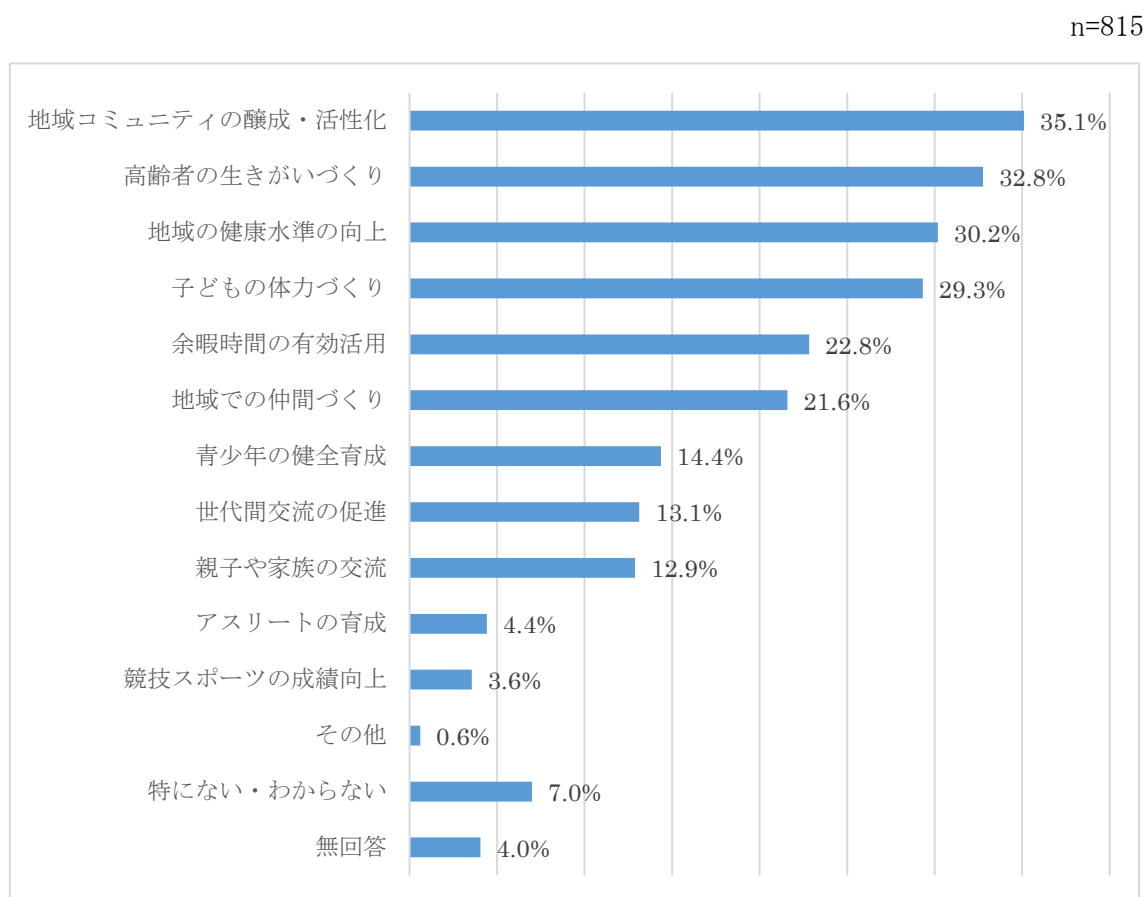
問 2 2 あなたは、鎌倉市のスポーツの推進のために、鎌倉市は特にどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。（回答は3つまで）

「市のスポーツ施設・設備の充実」が 53.1%と最も高く、次いで「スポーツ教室・イベントの開催」が 28.0%、「高齢者のスポーツ活動の推進」が 24.5%、「子どものスポーツ活動の推進」が 23.9%と続いています。



問 2 3 あなたはスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。(回答は3つまで)

「地域コミュニティの醸成・活性化」が 35.1%と最も高く、次いで「高齢者の生きがいづくり」が 32.8%、「地域の健康水準の向上」が 30.2%、「子どもの体力づくり」が 29.3%となっています。



【性別・年代別】

年代別では、10歳代から40歳代までは「子どもの体力づくり」が、50歳代から60歳代では「地域コミュニティの醸成・活性化」が、70歳代から80歳代以上では「高齢者の生きがいづくり」が、それぞれ最も高くなっています。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
	n=15	n=45	n=84	n=114	n=166	n=104	n=165	n=122
地域コミュニティの醸成・活性化	26.7%	33.3%	27.4%	30.7%	45.2%	41.3%	29.7%	34.4%
地域の健康水準の向上	26.7%	33.3%	25.0%	24.6%	33.7%	42.3%	26.7%	27.9%
親子や家族の交流	20.0%	13.3%	29.8%	21.9%	13.9%	7.7%	5.5%	4.9%
世代間交流の促進	20.0%	2.2%	13.1%	9.6%	13.9%	14.4%	18.8%	9.8%
子どもの体力づくり	33.3%	37.8%	54.8%	47.4%	23.5%	21.2%	24.8%	12.3%
青少年の健全育成	13.3%	8.9%	13.1%	19.3%	10.8%	10.6%	15.8%	18.9%
高齢者の生きがいづくり	13.3%	15.6%	15.5%	18.4%	29.5%	29.8%	42.4%	60.7%
地域での仲間づくり	13.3%	17.8%	25.0%	28.9%	24.7%	19.2%	14.5%	22.1%
余暇時間の有効活用	26.7%	28.9%	21.4%	21.9%	26.5%	32.7%	18.8%	13.1%
アスリートの育成	6.7%	2.2%	4.8%	8.8%	7.2%	0.0%	3.6%	1.6%
競技スポーツの成績向上	6.7%	2.2%	3.6%	7.0%	6.0%	1.9%	1.2%	1.6%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.2%	1.0%	0.0%	0.8%
特にない・わからない	6.7%	13.3%	8.3%	5.3%	6.6%	2.9%	9.1%	6.6%
無回答	0.0%	4.4%	1.2%	2.6%	0.6%	2.9%	6.1%	10.7%

問 10－1（抜粋）

利用した施設について特に感じたことや、ご意見、ご提案等があれば、ご自由に記述してください。

鎌倉海浜公園水泳プール

プールを早く使えるようにしてほしい（鎌倉地区在住）

海浜公園水泳プール（50m）を早く使えるようにしてほしい（大船地区在住）

監視員が常にきちんと見張ってくれていることが安心感につながっている（鎌倉地区在住）

大変古く、崖の下にあるため怖くて子供を送ることができない（鎌倉地区在住）

海浜公園プールが新しければよい（鎌倉地区在住）

衛生的に不満を感じた。衛生管理を徹底してほしい（鎌倉地区在住）

使用できないプールがあり困る（大船地区在住）

日陰が少なく、履物なしでは熱くて歩けない（大船地区在住）

鎌倉海浜公園水泳プールには満足している（鎌倉地区在住）

施設が古い感じがする（大船地区在住）

全体的に老朽化している感じがあった（玉縄地区在住）

日陰になる場所がもう少し多いとよい（玉縄地区在住）

崖崩れのため一部プールが使用できなくなっている。整備をお願いしたい（鎌倉地区在住）

古いため子どもは行きたがらない（鎌倉地区在住）

設備が古い（腰越地区在住）

リニューアルした方がよい（深沢地区在住）

子どものころからあり、青春の一つの施設であるため、今後も残してほしい（鎌倉地区在住）

施設が古すぎて清潔感がまったくない（鎌倉地区在住）

一部利用できなくなったのは残念である（鎌倉地区在住）

鎌倉海浜公園水泳プール（50m）の早期再稼働を望む（深沢地区在住）

改修、リニューアルをお願いしたい（鎌倉地区在住）

山側のプール2ヶ所を使えるようにしてほしいです（鎌倉地区在住）

いつになったらプールの修理は行われるのですか（鎌倉地区在住）

この2年程、崖崩れの為に子供プールと50mプールが閉鎖されています。閉鎖は絶対せず継続使用をしてください。ただでさえ公園など、子供達が遊べる場所が鎌倉地区にはないので、唯一の夏の子供達の遊び場です（鎌倉地区在住）

使える範囲がどんどん狭くなっていたり、売店がなくなったり、空気入れが借りられなくなったりしているのは残念です。ぜひ引き続き楽しく使えるようにしていただきたいです（鎌倉地区在住）

海浜公園水泳プールは是非残してほしい。屋内プールだけではなく屋外プールは必要だと思う（深沢地区在住）

こもれび山崎温水プール

意外ときれいだった（大船地区在住）

交通の便がもう少し良いと通えるが、杖歩行者にはかなり困難（腰越地区在住）

交通の便が悪く続けられなかった（大船地区在住）

人が多くて泳ぎづらい（玉縄地区在住）
とてもよかった（玉縄地区在住）
1人でも気楽に利用できることがよい。また水中ウォーキングができるのもよい（玉縄地区在住）
多目的更衣室が狭い（鎌倉地区在住）
髪がぬれてもシャンプーが使えない（玉縄地区在住）
清掃も行き届いていてきれいだった（腰越地区在住）
常連者が独占している印象があった（深沢地区在住）
更衣室は着替えにくい（無回答）
安くて便利（深沢地区在住）
交通アクセスが不便（大船地区在住）
料金も安く利用しやすい（玉縄地区在住）
フリーレーンだが、グループで占領されていて自由に泳げない（玉縄地区在住）
アクセスもよく、ジムとプールの両方があり、雰囲気も明るく気軽に行けるので好感を持っている（深沢地区在住）
一年中気候を気にすることなくプール利用ができてよい（玉縄地区在住）
公的な施設としては良いと思う（玉縄地区在住）
駐車場は無料にしてほしい。料金ももう少し安くてもよいのでは（深沢地区在住）
開館時間をもう少し延ばしてほしい（大船地区在住）
少しだけ広いスペースが利用できればよい（深沢地区在住）
ジムが改修され利用しやすくなった（鎌倉地区在住）
子供や子育て世代のための施設であり、シルバーの健康維持施設ではない（鎌倉地区在住）
自由レーンをもっと多くしてほしい（大船地区在住）
管理が良く行き届いている。スタッフの感じもよい（大船地区在住）
利用しやすくてとてもよかった（大船地区在住）
設備は充実している。利用料もリーズナブルである（深沢地区在住）
スタジオプログラムが会員限定になったので、行けないのが残念です（深沢地区在住）
施設がきれいに管理されていて、設備もよい（大船地区在住）
気軽に利用できてよいが、駐車場が混んでいることが多くて困った（大船地区在住）
使用料が安いですが、その料金に見合った充実度だと思いました（玉縄地区在住）
駐車場利用方法の手続きが煩雑かつ、ナンバープレート読み取り式にしてほしいです（玉縄地区在住）
こもればプール、とてもいい（大船地区在住）
値段も安く、快適に使えるので、もっと他の地区にも増やしてほしい（鎌倉地区在住）
駐車場、駐輪場があり、行きやすい。施設がきれい（大船地区在住）
利用中寒いので、水温を上げるか、室温あげてほしい（大船地区在住）
プール施設は良いが、駐車場代 500 円が高い（鎌倉地区在住）
綺麗で使いやすい（大船地区在住）

鎌倉武道館

設備がよい（玉縄地区在住）

武道館は、武道の種目、時間ともにもっと多くした方がよい（深沢地区在住）

剣道大会で使用。最高にぜいたくな施設です。これ以上何を求めるのか？（腰越地区在住）

近年の温暖化を考えて鎌倉武道館の剣道場、柔道場に空調（エアコン）設備を付けて欲しい（大船地区在住）

鎌倉体育館

駅から離れているので駐車場の問題が発生している（腰越地区在住）

指定管理になってから管理的になってしまった（鎌倉地区在住）

暗い寒いを改善してほしい（鎌倉地区在住）

古いため建て替えをした方がよい。怪我をする可能性もありえる（鎌倉地区在住）

照明設備が暗い（深沢地区在住）

古臭い感じがする（鎌倉地区在住）

設備が古く汚い。利用したい気持ちになれない（鎌倉地区在住）

老朽化している（腰越地区在住）

鎌倉体育館には満足している（鎌倉地区在住）

照明が暗く建物が古くて安全に利用できるか不安がある。清潔感もあればよい（鎌倉地区在住）

マシンはきれいになったが、イスがガムテープでぐるぐるまきになっており汚い（鎌倉地区在住）

そろそろ建て替えの時期に来ていると思う（腰越地区在住）

シャワー室は冬期は寒く利用困難でした。夜間の女性ロッカー室、シャワー室利用がセキュリティー面で少々不安でした（腰越地区在住）

綺麗で使いやすいと思った（大船地区在住）

施設・設備が古い（鎌倉地区在住）

とても古くて地震の時、怖い。低層でも崩れそう（鎌倉地区在住）

ちょっと狭いと思う（鎌倉地区在住）

マシンが充実していて満足しているが、更衣室のロッカーを新しくして欲しい。シャワールームもできれば改修して欲しい（鎌倉地区在住）

トレーニングルームに入場するときに既に登録カードがあるのに、それに加えて毎回利用者申請書を出すので、出来れば登録カードのみで入場出来るようにして欲しい（玉縄地区在住）

大船体育館

冷房がないため辛い（大船地区在住）

トレーニングの器具があればよい（腰越地区在住）

ラケットや羽根などの貸し出しがあれば嬉しい（大船地区在住）

大船体育館にジムを作って欲しい（大船地区在住）

見田記念体育館

とてもきれいだった（鎌倉地区在住）

各体育館共通

施設自体は悪くないが、古いせいかどこも陰気な感じがした。トイレは和式ではない物に取り換えてほしい（鎌倉地区在住）

温調設備があればいいと思う（深沢地区在住）

設備を新しくしてもらえると嬉しい（鎌倉地区在住）

楽しく使っているが、冬はとても寒い（玉縄地区在住）

エアコン設備がないため対応調整が難しく、高齢者は体調を崩すことがある（大船地区在住）

どの施設ももう少し駐車場が広がったらよいが、大会など大人数が集まる時に、特に駐車場問題が悩みになる（鎌倉地区在住）

冬の寒さは耐えられるが、夏の暑さはとても厳しい（深沢地区在住）

団体利用ではほぼ埋まっている。個人利用枠を増やしてほしい（深沢地区在住）

利用希望者が多く取れないことが多い（鎌倉地区在住）

トイレだけでもきれいになればよい。和式は若い人は使用できない（鎌倉地区在住）

個人利用の空き情報をスマホなどで簡単にチェックできるようにしてほしい（鎌倉地区在住）

老朽化が気になる。天井からの雨漏りや競技場の明かりが切れている箇所がある（大船地区在住）

老朽化している。トイレが使いにくい（玉縄地区在住）

駐車スペースが少ない（大船地区在住）

深沢多目的スポーツ広場

水はけが悪く草むしり等の管理もできていない（鎌倉地区在住）

素晴らしい貴重な場所であるため存続させてほしい（深沢地区在住）

本当によかった（深沢地区在住）

笛田公園

笛田公園庭球場は前もっての抽選が必要であり4コートしかない（大船地区在住）

笛田公園の管理者はとても好意的で接してくれ気持ちよく利用させてもらっている（深沢地区在住）

笛田公園は抽選申し込みができる土日の時間枠が少なすぎる。せっかく当選しても雨に弱いコートなので、全天候型のコートの増設を望む（玉縄地区在住）

笛田テニスコートの練習場（壁打ちコート）の路面整備をお願いしたい（鎌倉地区在住）

笛田公園に遊具があれば子供も遊べるが（大船地区在住）

笛田野球場の電動スコアボードが部分的に故障してはばかりしい思いをする（大船地区在住）

笛田公園庭球場は雨ですぐに使いなくなるのでオムニコートにしてほしい（腰越地区在住）

笛田公園には更衣室がない（大船地区在住）

気持ちのよい公園だった（鎌倉地区在住）

天候に左右されるため、クレイコートだけでなく、ハードコートまたはオムニコートに変更してほしい（大船地区在住）

テニスコートに関して、公営のコート面数があまりにも少なすぎるのでは（深沢地区在住）

笛田公園広場は環境が不十分過ぎてスポーツ利用する施設とは思えませんでした（鎌倉地区在住）

笛田公園庭球場の予約が大変だった記憶があります（大船地区在住）

テニスコートに空きがない。夜でもできるようにしてほしい（大船地区在住）

笛田公園広場のトイレをもう少し広く使いやすく改修してほしい（鎌倉地区在住）

西御門テニスコート

車が入れず、また、全天候型ではないため使用できない日が多い（鎌倉地区在住）

コートはよかったが駐車場がない（腰越地区在住）

駐車場がないのが不便（鎌倉地区在住）

学校体育施設

学校体育施設は、いつでも、どこでも、誰でもが気軽に参加できる雰囲気が欲しい（玉縄地区在住）

学校開放プールは、皆、明るく親切である（大船地区在住）

学校体育館のトイレが古すぎる。早急に改修してほしい（深沢地区在住）

その他

各施設に駐車場があればよい（腰越地区在住）

各施設のトイレが不衛生（鎌倉地区在住）

トイレは小さめの規模の建物になるほど念入りに掃除されていない印象（腰越地区在住）

古い建物が多く、お手洗いなどの設備が充実していない印象。また駅から離れている場所が多く不便に思う（深沢地区在住）

自由記述（抜粋）

鎌倉市のスポーツ施策に関してご意見やご提案がありましたら、自由にご記入ください。

施設整備について

浄明寺に住んでいるが、鎌倉体育館は遠いため、二階堂など身近な場所に気楽に運動できる所を作ってほしい（鎌倉地区在住）

深沢多目的スポーツ広場と同程度のグラウンドを市内で確保してほしい。できれば人工芝を望む（腰越地区在住）

テニスコートは雨でもできるオムニコートにしてほしい（大船地区在住）

テニスコートの数が少ない（鎌倉地区在住）

スポーツ施設のトイレの洋式化、更衣室の設置を希望する（大船地区在住）

鎌倉はテニスコートがクレイコートが多いのでオムニコートにして欲しいです（大船地区在住）

鎌倉の市営ジムは玉縄からは行くだけでも時間がかかり、また男性が多く、目も気になるので、女性専用のジムが大船地区にあるとよい（玉縄地区在住）

芝のサッカーグラウンドが少ない。増やしてほしいです（玉縄地区在住）

他の市に比べ、施設が乏しい。もっと充実させてほしい（鎌倉地区在住）

アクセスに不便を感じない場所への施設整備（鎌倉地区在住）

大船地区にもスポーツ施設（屋内プール、ジム、体育館等）を作してほしい（大船地区在住）

地区に自由に軽度の運動を行える屋内施設を設けてほしい。特定集団の集中的専門的な訓練の場と化すことのないような運用を心がけてほしい（大船地区在住）

子どもたちや若年層が気軽に使える場所が市内にあればと考えている（腰越地区在住）

器具運動ができるジムを作って、希望する人に安価で使用させてほしい（腰越地区在住）

公共施設のトレーニングジム、プールそして障害者・弱者に対する無料施設（深沢地区在住）

バスケットボール、テニスができる施設が欲しい（大船地区在住）

体力づくりには施設が必要。施設の拡充をお願いしたい（大船地区在住）

旧鎌倉のスポーツ施設をもう少し整えてほしい（鎌倉地区在住）

スケートボード施設を作してほしい。競技人口が増えているのに練習できる場所が少ない。だから道路などで練習し、事故や騒音トラブルの原因になってしまっている（腰越地区在住）

バスケができる場所も少ない。体育館だけではなく、3on3 などができる場所があってほしい（腰越地区在住）

浄明寺に住んでいるが、近くに公共の建物がない。歩いて行ける場所に大きくなくてもいいので体育館プラス図書館が欲しい（鎌倉地区在住）

鎌倉地区にも自由に使えるスポーツ施設（プール、ヨガ）を希望する（鎌倉地区在住）

十二所、浄明寺、二階堂、西御門などに体を動かす場所がない。小さくてもよいので作ってほしい（鎌倉地区在住）

老いた者が気軽に利用できる自由な広場などができればいい。あまり管理的な施設は不具合だと思う（鎌倉地区在住）

気軽に利用できる施設が近くにあると嬉しい（玉縄地区在住）

高齢者が活動しやすい場所を作ってあげた方がいい。子どもたちが学校終わりにたくさん遊べる場所も

作ってあげた方がいい（鎌倉地区在住）

市民が使用できる施設が少ない（陸上トラック、サッカーグラウンド、野球場など）（深沢地区在住）

地区ごとに軽い運動を行う場所をつくり、そこでゆっくり会話できる施設を作してほしい（鎌倉地区在住）

山崎浄化センタースポーツ広場に下記事項を要望する。①グラウンドゴルフのホールポスト等の準備

②用具の保管倉庫の設置 ③ベンチ設置（深沢地区在住）

鎌倉地区の屋内プールを作してほしい（鎌倉地区在住）

自転車専用遊歩道の新設。市民の自転車憩いの場として利用したい（玉縄地区在住）

子どもと犬、高齢者等、共に気軽に過ごせる施設が増えるとよい（大船地区在住）

アクセスのしやすい場所にテニスコートなどの施設があればよい（鎌倉地区在住）

40代、50代が通えるようなスポーツレッスンスタジオを作してほしい

テニスコートが他市に比べて少ない。充実してほしい（玉縄地区在住）

ボルダリングができる場所があれば、登山客の集客、子どもたちの体力づくりにもよい（大船地区在住）

一年中使える屋内プールを作してほしい（鎌倉地区在住）

屋外の施設・設備（ジョギングコース、サイクリングコースなど）が整っていないので、整備を要望する（大船地区在住）

ダーツ、吹き矢ができる施設がほしい（腰越地区在住）

鎌倉市も他市と同等の施設が整備できると生涯スポーツを楽しめる（腰越地区在住）

病気で障害を持ったため、スポーツ施設のバリアフリー化、トイレの充実した広さをお願いしたい（鎌倉地区在住）

屋内テニスコート施設を作してほしい（腰越地区在住）

ウォーキングをしているが道路、歩道が狭い。安全安心にウォーキングができる整備をしてほしい（大船地区在住）

未来を担う子どもの体力増進、高齢者の健康増進に寄与する施設の充実を（玉縄地区在住）

地域ごとに市民誰もが参加できる体育館があればと思う（鎌倉地区在住）

玉縄地区にスポーツジムを作してほしい（玉縄地区在住）

陸上競技場の新設（大船地区在住）

深沢地区の施設は嬉しいが玉縄地区には何もない。小さくてもよいので体を動かす場所があればよい。

公園や施設で歩行器や杖で歩けるフラットな所がほしい（玉縄地区在住）

安心して高齢者やベビーカーなどが歩ける公道の整備を優先すべき（玉縄地区在住）

高齢者が手軽に利用できるスポーツ施設の設置、開放（玉縄地区在住）

武道館のような高価な施設ではなく、気軽にどこでも使用できる安価な施設を多く作してほしい（大船地区在住）

屋内プールを増やしてほしい。特に市の南側（稲村ヶ崎、七里ガ浜、長谷方面）は屋内プールがないので、この地区にもあれば嬉しい（鎌倉地区在住）

天候に左右されずに通年利用できる屋内プールとトレーニングルームが、地域ごとにあるのが理想だが（玉縄地区在住）

鎌倉市は広大な土地がないので市外の土地を借りて陸上競技場などを整備してはどうか（大船地区在住）

自然豊かな環境なので、マウンテンバイクやトレッキングコースの整備など、アウトドア系のスポーツ環境を充実させればよいのでは（深沢地区在住）

他市のように雨の影響の少ないオムニコートを増やしてほしい（腰越地区在住）

鎌倉地区は小中学校プールがないので、安全で近代的、清潔なプールが必要である（鎌倉地区在住）

防犯や天候等の心配がなく、屋内でジョギングができる施設を多くの人が望んでいると思う（大船地区在住）

身近な所に健康器具を設置してある公園があればよい。外に出る回数が増えるよう、もっと公園やベンチを増やしてほしい（鎌倉地区在住）

子どものためのスポーツ施設の整備とともに公園を整備して遊具を設置してほしい（鎌倉地区在住）

テニスコートを増やしてほしい（鎌倉地区在住）

これからのまちづくりには是非、子供たちがのびのび遊べる遊具のある公園を取り入れていただきたいです（深沢地区在住）

アーバンスポーツができる場所が無いのでぜひ作ってください（腰越地区在住）

鎌倉には自然に恵まれたウォーキングやハイキングコースがあります。この環境(安全性向上、休憩場所の設置、トイレの設置、自然環境維持のためのルールづくり)の充実化を希望する（鎌倉地区在住）

小学校のプールを屋内プールとし、子ども達は1年を通じて水泳ができ、夜は大人に開放する（玉縄地区在住）

スポーツ施設の整備もいいが、鎌倉には豊かな自然があるので、それを活かした遊びとスポーツの融合した企画を充実させて欲しい（鎌倉地区在住）

スケートボードの施設ができると良いと思います（腰越地区在住）

バッティングセンターの設立を検討して欲しい（大船地区在住）

サッカーグラウンドが少ないので、増やしてほしいです（玉縄地区在住）

サイクリング用道路など交通環境を整備して欲しい（腰越地区在住）

鎌倉市で大会ができるサッカー場が欲しい（玉縄地区在住）

ボウリング場を作って欲しい！（腰越地区在住）

テニススクールや地元の学生たちが自由に使えるようなテニスコートがほしい。（大人も子供も平等に使えるように予約制にするなど）（深沢地区在住）

深沢の施設整備について

深沢にできたら、最寄駅からの送迎バスなどがあるとうれしい（鎌倉地区在住）

深沢地区に施設を作っても遠くて不便で、特に高齢者は行く気にならないと思います。（鎌倉地区在住）

深沢地区には老若男女が気軽に集える総合施設を検討してほしい。（遊具エリア、グラウンド、プール、体育館、ランニングコース、収容数の多いパーキング等）（腰越地区在住）

駐車場が欲しい（大船地区在住）

事前の予約をしなくても、免許証等の提示だけですぐに簡単に利用できる施設ならば歓迎です。事前予約の必要など制約が多いと足は遠のく。「身近で手軽で簡単」ならば、利用したい（鎌倉地区在住）

バスの乗り換えをしないと大船から深沢にはいけない。直接深沢地区に行くことができれば様々な活動に参加できる。せめて乗り換えがなくなれば交通費も助かり気楽に行動できるが（大船地区在住）

鎌倉市でも屋内プールが利用できると嬉しい（鎌倉地区在住）

こもれびよりも大きなプールを希望（深沢地区在住）

是非、屋内プール整備を（深沢地区在住）

深沢地区ではなく鎌倉地区に屋内プール施設を作ってほしい。小中学校にプールがないのは、ほかの地区と比較してもいかななものか（鎌倉地区在住）

サウナが併設されると嬉しい。深沢地区のスポーツ施設が楽しみ（鎌倉地区在住）

深沢地区には山崎こもれびがあるので、他の地区に住む市民にも参加しやすいよう配置を考えてほしい（鎌倉地区在住）

何時でも利用できるスポーツ施設（ランニングマシンや筋トレマシン）ができればよい。また民間施設より安く利用出来たら嬉しい（腰越地区在住）

交通の便が良い所が通いやすい（大船地区在住）

施設へ行くまでの足、駐車場の充実（腰越地区在住）

深沢地区のプールを楽しみにしている（深沢地区在住）

深沢地区の再開発にもかかわるだろうが、行政主導による施策（決定ありきの方向性）は予算の無駄遣いになりがちである。反対意見に耳を傾け、無理矢理の施策推進だけはしないでほしい（大船地区在住）

深沢地区にスポーツ施設が整備された場合、その場所へ通いづらい方への配慮が必要と感じます。無料シャトルバスとまでは言わないが、巡回バスがあればよい（鎌倉地区在住）

ふらっと行って利用できる場所、利用制約の少ない施設、競技をやってきた人ではなく一般市民を対象とした施設であってほしい（玉縄地区在住）

温水プールで水泳や水中歩行などに参加して、楽しく体力の維持ができればよい（玉縄地区在住）

運動不足解消に水中歩行をしている障害者は多い。深沢に新しいプールができるのは大歓迎である（鎌倉地区在住）

深沢地区に緑に囲まれた安全な散歩道路がほしい。型にはまったスポーツの前にまず歩けることから（深沢地区在住）

予約なしで気軽に使用できる屋内プールがあればうれしい（鎌倉地区在住）

市役所の跡地にも屋内プールを含めたスポーツ施設を整備してほしい。深沢地区は交通の便が悪く、鎌倉地区から遠い（鎌倉地区在住）

スポーツ施設に浴室があれば、運動とリラックスが同じ場所で完結でき便利（大船地区在住）

不必要に豪華なものにせず、災害時の避難所としても機能するなど多目的かつバリアフリーな建物にすることを望む（玉縄地区在住）

個人が日常的に楽しめる気軽なスポーツ・運動が苦手な子供も遊べるスポーツ施設も構想に入れてほしい（鎌倉地区在住）

どの世代でも遠慮することなく安心して利用できるスポーツ施設を整備してほしい。施設だけではなく高齢者の教室なども積極的に取り組んでほしい（大船地区在住）

深沢地区でスポーツ施設（テニス、野球、サッカー等）を推進すべき（鎌倉地区在住）

深沢地区のスポーツ施設では、①使用料、交通手段の費用が高くないこと、②男女別の多機能トイレ、③管理員の常駐、④休憩場所、喫茶コーナー、⑤電話機の設置、⑥図書館の併設、⑦囲碁、将棋等ができる場所、など（深沢地区在住）

仕事帰りでも寄れるように遅い時間まで開館してほしい（深沢地区在住）

屋内プールや体育館のような大それたものよりも、いつでも立ち寄れる屋外の身近な所に気軽に使える運動器具を設置する、サイクリングロードを整備する、ドッグランをつくる、などの方が、スポーツが身近になり、地域の人が集い、地域の活性化にもつながるのでは（大船地区在住）

深沢地区にはスポーツ施設の他に、高齢者がくつろげる芝生の公園を作してほしい（深沢地区在住）

高齢者が増えてくるので、最寄駅から近い、階段ではなくエレベーター等、施設までのアプローチも不便ないようにしてほしい。施設を取り巻く環境も高齢者に優しいものに（玉縄地区在住）

深沢地区のスポーツ施設にパラスポーツ施設を作してほしい（大船地区在住）

一カ所集中ではなく分散的に施設があるとよい。一カ所集中であれば駐車場を整備してほしい（鎌倉地区在住）

ゴルフ練習場を併設してほしい。平日は夜遅くまで利用できれば会社員としては助かる（鎌倉地区在住）

使用料は安くしてほしい。事務やプールは平日17時以降も気軽に行ける時間まで営業してほしい。駅まで無料送迎バスがあるとよい（玉縄地区在住）

深沢地区は何か催しがあると大渋滞になる（深沢地区在住）

屋内プールの建設に当たっては、規模、更衣室、観覧席、駐車場等、十分な広さの確保をお願いしたい（深沢地区在住）

車で気軽に行ける施設がよい（鎌倉地区在住）

施設内のエアコン・空調設備の充実をお願いしたい（大船地区在住）

バリアフリー、ジェンダーフリーな施設、運動が苦手な人でも気楽に立ち寄れる雰囲気のある施設、小さな子供が自由に遊べて、親が見守るスペースのある施設、障害のある子とそうでない子が一緒に遊べるスペースのある施設（鎌倉地区在住）

今後、施設の維持管理費などの問題が出てくる中、新施設ができることは素晴らしいが、負の施設とならないように、将来設計を踏まえた計画を望む（鎌倉地区在住）

施設建設にあたって要望はいろいろある（景観、交通渋滞、駐車場）が、市民に対して十分な説明をすることが最重要である（玉縄地区在住）

プールには水中ウォーキングのレーンを設けてほしい（玉縄地区在住）

中高年～高齢者が気軽に一人で立ち寄って軽い運動ができる施設ができると有り難い。運動へのハードルが下がり、散歩や買物がてら健康づくりができる施設であればと思う（深沢地区在住）

深沢地域のスポーツ施設は、できれば遊具があり子どもも大人も楽しめる施設であってほしい（大船地区在住）

深沢地域のスポーツ施設は駐車場を余裕をもって作してほしい（玉縄地区在住）

玉縄地区にも整備をしてほしい。玉縄地区の遅れが疑問（玉縄地区在住）

暑さ対策をしてほしい（深沢地区在住）

幅広い世代で利用できる施設を作してほしい。また施設の運営は外部に委託せず、市に専任部局を設置し市民サービスの向上に寄与してほしい（大船地区在住）

より費用対効果の優れた施策に血税を効率的に使ってほしい（大船地区在住）

深沢に新たな施設が整備された後、鎌倉体育館がなくなってしまうたら困るので残してほしい（鎌倉地区在住）

深沢地区の整備では、景観を大切にしてほしい（大船地区在住）

フットサルやダンスができる体育館が欲しい。夜間帯も使えるジムゾーンがあればよい（腰越地区在住）
屋内プールの需要はある程度見込めるので、様々な地域のプールを参考にして居心地がよく、かつ機能的な施設を目指してほしい（深沢地区在住）

テニスコートやフットサルコートがほしい（玉縄地区在住）

市の施設は老朽化が進んでいるので早期に新しい施設ができることを望む。利用料も安いことを望む（腰越地区在住）

鎌倉体育館は大事な場である。深沢地区にどんなに立派な体育館ができて市民が手軽に利用できなくては無意味である（鎌倉地区在住）

屋内プールを含めた体育館などのスポーツ施設や様々な種目に対応する施設の設置を望む（大船地区在住）

観覧席・観客席を設けてほしい。屋外競技場にも観覧席等を設ければ、利用範囲が広がる（大船地区在住）

プール建設は嬉しい。子どもの自転車の練習ができる公共の場があれば（鎌倉地区在住）

鎌倉市におけるプール及び体育館等の建設には反対する。現在ある施設を利用しやすくすべきである（鎌倉地区在住）

バレエ、ダンスの発表会ができる会場なども深沢地区にほしい（鎌倉地区在住）

地震の際に、避難場所として、避難した人が困らない工夫を施した施設にしてほしい（鎌倉地区在住）

まずは居住者を増やし、税収を増やし、そういう環境を整えてからスポーツ施設を考えるべき（深沢地区在住）

団体だけでなく個人が気軽に利用できる施設がほしい。子供と大人で利用区分を分けたプールを整備してほしい。広い駐車場がほしい（駐車料金も考慮を）（鎌倉地区在住）

若い人たちの今後のことも考慮し、利用者にある程度の負担をしてもらうこと（腰越地区在住）

スポーツ施設を利用するのは限られた一部の人だけなので、公園や並木道などを整備してほしい（大船地区在住）

バレーの試合で4面ほどコートがとれる広さがほしい（大船地区在住）

深沢地区は車に乗らない人にとっては不便なので、今ある施設を継続して利用できれば嬉しい（大船地区在住）

多くの人ができるよう器具運動を多く設置し、またプール、体育館を広くとってほしい（大船地区在住）

新たな施設を建設する必要はないと思う。それを望む市民は少数と思う（鎌倉地区在住）

深沢のスポーツ施設は公共交通でアクセスしやすい場所にしてほしい（大船地区在住）

鎌倉地区から深沢地区は遠くて行く気になれない。無料送迎バスを出してほしい（鎌倉地区在住）

プールに温泉施設、スパなどが併設してあれば嬉しい（深沢地区在住）

深沢地区のスポーツ施設整備では、プール、体育館以外にテニスコート（砂入りオムニコート）の設置をお願いしたい（鎌倉地区在住）

深沢地区にスポーツ施設を整備してもアクセスが悪く利用しづらい。少し考えた方がよい（大船地区在住）

鎌倉地区の居住者として、深沢地区での整備は交通の便等から疑問に思う。鎌倉地区を重要視してほし

い（鎌倉地区在住）

多世代が集えるスポーツのイベントや交流ができるよう、インクルーシブな設計の施設整備を（大船地区在住）

広い駐車場の整備、施設利用時の混雑緩和策、スマホなどから簡単に利用予約出来る方法の具備（腰越地区在住）

現在でも、藤沢鎌倉線の渋滞、深沢の交差点の渋滞は酷いです。さらにスポーツ施設ができ、いろんな施設ができるとなると、さらに渋滞が酷くなるのは必至で、住民にとっては大問題です。道路拡張などの環境整備が第一で、その問題が解消しないと、余暇（スポーツ）どころではない。と考えます（深沢地区在住）

体育館などはすでにありますし、今更増やす必要はないかと、（深沢地区在住）

深沢地区に施設を設けるならば、子供が自然と集まりたくなるような、難しい利用システムのない施設が良いと思います。近代的で、バリアフリーでおしゃれな施設が全てではないと思います（深沢地区在住）

Jリーグが試合のできるスタジアム（腰越地区在住）

屋内プロスポーツ（バスケやバレーボール）の開催が可能な体育館を作ってください（腰越地区在住）

子どもたちが気兼ねなくできる環境があると良いと思います。鳩スタのような地域で盛り上げられるようなスポーツ以外のイベント（オクトーバーフェスト、ライブなど）などができ、誰もが気軽に使える施設であると良いと思います（深沢地区在住）

プール、体育館、野球やサッカーができるグラウンドがあると良いと思います（大船地区在住）

深沢地区は道があまり広くなく、施設が集中すると必ず渋滞が起こると思います。その点にも注視しながら考えていただきたいと思います（大船地区在住）

旧鎌倉エリアからは、深沢には通えない。そのようなところに大規模な施設を整備しないで、旧鎌倉エリア、とくに駅の東側に子供が普通に遊べる程度の公園を整備してほしい（鎌倉地区在住）

体育館やプール等への小型バスの運行（腰越地区在住）

勤労者が利用しやすい施設を望みます（深沢地区在住）

初めて利用する者が利用しやすい施設にして欲しい（腰越地区在住）

格安で利用でき、温泉やサウナの設備などがあるといいと思います（大船地区在住）

小さい子ども(オムツを履いている子)でも利用できる温水プールがこもれび以外にも欲しい。滑り台とか遊べる要素も兼ね備えた感じのプールもあり、料金もこもれびくらいだったら嬉しい（深沢地区在住）

いわゆるアリーナ規模の総合施設を構築して頂きたい（鎌倉地区在住）

車を所有しない利用者が足を運びやすいよう、駅も経由するコミュニティバスの運行を検討ください（鎌倉地区在住）

こもれび山崎温水プールに近いのに深沢地域に屋内プールを作る必要はないと思います（鎌倉地区在住）

高齢者や車がない世帯は、交通が便利な立地でないと利用しづらいので、バリアフリー化も含めて利便性を重視してほしい（大船地区在住）

とにかく広くて綺麗な施設になることを期待したいです。手狭なところだったら施設を利用する人は限られてくると思います。もっと広々と開けたエリアができるとシームレスな交流にもつながると思います（深沢地区在住）

深沢地区には屋内プールは山崎こもれびプールがあり、体育館は武道館があるので、必要性を感じない。それよりも市内にはない、ランニング、ウォーキングしやすい運動しやすい広々としたフラットな公園と夜間にも使える人工芝のサッカーコート、フットサルコートを作ってほしい（玉縄地区在住）
市が運営する施設であれば利用料金もそこまで高くなく、利用しやすくなることを期待します（鎌倉地区在住）

施設建設に頼らなくても海や山など地形を活かし、子供からご年配の方まで年齢の境なく健康づくりが出来る土地だと考える。施設建設に掛かる費用を人材育成やボランティア活動費(具体的には低登山やトレッキング、マリンスポーツ事業を行う活動家)に回す事により世代を超えて持続可能な健康都市づくりが出来るのではないかと（腰越地区在住）

スケートボード場があると利用者は多いのかなと思いました（鎌倉地区在住）

スポーツ施設までの乗り合いバスなどをつくってほしい。運転をしないと施設に行くまでが大変（大船地区在住）

駅から近いほうが利用しやすいです。仕事帰りでも使えるような時間帯もあったほうがいいと思います（深沢地区在住）

子どものためのアスレチックなどがある公園や室内があればいいと思います（深沢地区在住）

スポーツ施設は環境配慮型に移行していくのが良いと思う。環境に配慮した施設設計が求められる時代が近づいているからこそ将来を見据えた施設作りが大事だと思う（大船地区在住）

スポーツ事業について

鎌倉地区に魅力を感じるプログラムが少ない。大船地区に集中していて、アクセスが不便（鎌倉地区在住）

初心者向けのスポーツをもっと紹介してほしい（玉縄地区在住）

元気なお年寄りに圧倒され居場所がない感じになる。一人でも体力をつけやすいように、リーズナブルで、パーソナルトレーナーをつけて受けれるレッスンが多いと助かる（鎌倉地区在住）

教室は年寄りの集まりのイメージが強く入りづらい印象を受ける。写真などで教室の雰囲気がわかると入りやすい。幅広い年齢層の方が刺激があり、いろいろと学べていい（腰越地区在住）

情報発信も弱く、高齢者向けの施策メインで若い層からすると他人事のように感じるのでは。ラインなどを活用し、イベント情報が定期的に届くなどの仕組みになれば、変わるのでは（腰越地区在住）

サッカー、野球などの有名なスポーツ以外に活動しているクラブを動画で紹介してもらえると子どもたちも興味を持ちやすくなる。その動画を学校貸し出しの i-pad へ定期的に配信しては（大船地区在住）

地区活性化を望むなら、プロスポーツの誘致、サッカー、バスケ、ラグビー等プロ側も地区密着を望んでいると思う（大船地区在住）

子どものダンススクールやバスケのクラブチームを作してほしい（鎌倉地区在住）

80 歳過ぎて大病すると気力、体力が減退する。それを回復する企画・施設・指導員の充実を（腰越地区在住）

老人の筋肉量を増やし病気になるのを防いで。高齢化社会でも寝たきり老人や痴呆老人の減少を目指してほしい（大船地区在住）

いろいろな参加しやすい教室を始めてほしい（大船地区在住）

公園、広場又はスポーツ施設で誰でもフラッと立ち寄り参加できる機会があればよい。ゆるく参加できるものが増え、楽しければ多くの人が続けて健康になれるかもしれない（鎌倉地区在住）

気軽に手ごろな料金で、誰もが利用できるジムを開いてほしい（深沢地区在住）

高齢者にも生きがいができる健康に促進プログラムの体操などができる場所がほしい（深沢地区在住）

高齢者が健康で過ごせるように体力向上のための体操教室などを頻繁に開催してほしい（鎌倉地区在住）

障害者は学校卒業後、運動をする機会が激減する。まずはスポーツ・運動に触れる機会として障害者が参加できるイベントを実施してほしい。さらに障害者が気軽に運動ができる施設や対応できる人材を育成してほしい（鎌倉地区在住）

老人のための無料の公設設備がほしい（腰越地区在住）

共働き世帯が増えてる中、子どもたちのためには立派な施設の建設ではなく、適切な指導者の育成が最も大切である。次代を担う子どもたちを地域全体で見守り育てることができる環境づくりを進めてほしい（鎌倉地区在住）

高齢化が進んでいるので、体力づくりなどのイベントや地域の活動があればよい（玉縄地区在住）

ウォーキング等の誰でも参加しやすいスポーツの機会を増やしてほしい（玉縄地区在住）

各スポーツ施設で誰でも利用し参加できる機会をつくってほしい（腰越地区在住）

高齢者でも気楽に参加できるサークルや団体の紹介を（鎌倉地区在住）

健康づくりの基礎となるスポーツをもっと手軽に楽しめる場や情報がほしい（鎌倉地区在住）

鎌倉の神社仏閣めぐり等のハイキング散歩などの定期的な催しがあると嬉しい（玉縄地区在住）

友人と鎌倉の史跡めぐりをしているが、高齢者はこの分野に関心を持っている人が多いので行政としても取り組んでどうか（深沢地区在住）

地域のスポーツクラブの無料体験会を定期的に実施すること。顧客満足度と施設の充実性がつり合うように、低コストでより多くの競技などを作れば関心度も上がるのではないかと（大船地区在住）

イベントに特化した地域のアプリがあれば若年層も参加しやすいかと思います（鎌倉地区在住）

もっと気軽に楽しめるスポーツを各町内に宣伝するなどして欲しい（腰越地区在住）

競うスポーツではなく、みんなで身体を動かす楽しさを市民で共有し、健康につながる施策とともに実施する（玉縄地区在住）

競技成績の向上はにおいて、楽しく、歯をくいしばらず、健康向上を目的とした市民向けスポーツのきっかけ作りの体験教室と、スポーツ習慣を継続できるような営利を目的としないNPOなどのクラブ育成が活発になれば良いなとおもいます（腰越地区在住）

知ってもらうことが1番大切なので、どの世代に向けた情報かで発信方法を考えてみるべき（腰越地区在住）

その他

今ある施設はなるべく残してほしい（鎌倉地区在住）

鎌倉市は他市に比べ運動施設が整っていない。整えるだけでなく、多くの市民にたくさん活用してもらえらる事も同時に考えて行くことが大切（大船地区在住）

テニスコートや体育館を無料で開放してほしい（玉縄地区在住）

そもそもスポーツ施策のみを切り離して考える点が困難ではないだろうか？どのようなリスクにも行政

が健全な状態に対応できるように市政を推し進めてもらいたい（大船地区在住）

スポーツ＝良い事を当然のこととして予算、広報を使った押しつけはやめてほしい。プールや体育館を作る予算があるのなら、給水車やトイレ、食糧備蓄などに使った方がいい（大船地区在住）

公的施設は規制が多く、スタッフも無駄に多く料金も割高。施設によって器具や設備の偏りもある（大船地区在住）

鎌倉市のスポーツ施設は不便な場所にあるので循環バスなどがあると利用しやすい（大船地区在住）

公園ではキャッチボール禁止の所が多いが、キャッチボールくらいできる場所を提供したらどうか（玉縄地区在住）

市内の各スポーツ施設を巡回する無料のコミュニティバスのようなものがあれば、今度はこっちに行ってみよう、その次はあっちに行ってみたいと、スポーツ環境の選択肢を気楽に広げられる大きなきっかけになるのではと考えます（鎌倉地区在住）

運動・スポーツに関するアンケート調査
結果報告書
令和6年4月
鎌倉市

〒247-0066 鎌倉市山崎6 1 6 番地 6
健康福祉部スポーツ課
電話：0467-43-3419（直通）

